

令和 5 年 度

事業報告書
収支決算書

(自 令和 5 年 4 月 1 日)
(至 令和 6 年 3 月 31 日)

小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所

小田原箱根商工会議所の基本理念

- 小田原・箱根地域を世界に誇れる地域にします。
- 小田原箱根商工会議所は、この地域の活力を高めるために諸活動を通じて貢献する名誉を担います。
- 小田原箱根商工会議所は、すべての活動を通して、街づくり、人づくりに果敢に挑戦します。
- 会員と職員は、最善を尽くし、地域貢献することを喜び、誇りとします。

目 次

I	総括的概要	1
II	事項別状況	2
1.	定款及び規約等	2
2.	組 織	2
(1)	会 員	2
(2)	特 定 商 工 業 者	5
(3)	役 員	5
(4)	議 員	7
(5)	箱 根 支 部	10
(6)	部 会 長 等	10
(7)	委 員 長 等	11
3.	事 務 局	12
(1)	事 務 局 の 構 成	12
(2)	事 務 局 職 員	13
4.	庶 務	14
(1)	文 書	14
(2)	表 彰	14
(3)	受 章	17
(4)	受 彰	17
(5)	慶 弔 そ の 他	18
5.	会 議	20
(1)	議 員 総 会	20
(2)	正 副 会 頭 会 議	25
(3)	常 議 員 会	33
(4)	監 事 会	36
(5)	箱 根 支 部 会 議	36
(6)	部 会 会 議	37
(7)	そ の 他 の 会 議	43
(8)	委 員 会	44
(9)	創業・事業承継に関する会議・事業	46
(10)	リカレントスクール	46
(11)	タスクフォース	47
(12)	省エネお助け隊に関する会議・事業	48
(13)	副業人材（人財）活用事業	48
(14)	教育旅行に関する会議・事業	55

6. 事業	56
(1) 各種事業活動	56
(2) 意見活動	68
(3) 調査・研究	85
(4) 広報	86
(5) 証明・鑑定・検査	86
(6) 信用調査	87
(7) 各種行事	87
(8) 技術・技能の普及検定	89
(9) 取引紹介（照会を含む）あっせん	90
(10) 取引紛争のあっせん	90
(11) 相談・指導・あっせん等	90
(12) 会員の増強対策	90
(13) 経営改善普及事業（経営支援部）	91
7. 登録	99
(1) 法定台帳	99
(2) 任意台帳	99
8. 会館・事務所等	99
(1) 会館	99
(2) 旧会館	100
9. 関係団体への加入及び連携	100
(1) 日本商工会議所	100
(2) 関東商工会議所連合会	100
(3) 神奈川県商工会議所連合会	101
10. 研修	101
(1) 経営指導員・補助員研修	101
(2) 職員研修等	102
11. 関係団体	104
令和5年度収支決算書	105

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

I 総括的概要

新型コロナウイルス感染症が収束に向かいつつある中、引き続き、緊急避難的な支援は必要に応じて続けるも、コロナで起こった社会意識の変化を捉え、コロナで気づいたことや学んだことを活かす必要性を重視し、POSTコロナを見据えた事業の再構築と新しいチャレンジの促進へと支援の主軸を徐々に移してきた。

世界各地で起こる紛争、不安定な国際情勢と円安によるエネルギーコストや原材料価格の高騰の影響で利益が出にくい状況が続いている。人手不足は安定的な事業運営に支障を生じ、積極的な事業展開の足かせになっている。

適正な金利を負担し、賃上げという社会的な責任を果たしつつ、適正な利益が出せる経営環境の整備に資する政策を期待したが、実現は遠い。

地球規模で経済活動に大きな影響を及ぼす気候変動は決して大企業やグローバル企業だけの問題ではない。環境と経済が一体化する時代において、脱炭素への取り組みは、当所の会員の多くを占める地域の中小企業、小規模事業者にとっても避けて通ることができない大きな経営課題である。

経済活動の大前提は平和な暮らしであるという当たり前の事実、そして、好む好まざるに関係なく、今、全ての企業は規模の大小や業種業態を超えて、グローバルな世界のサプライチェーンに取り込まれているという事実を認識し、地域経済団体としてやるべきことを進めていく。

その具体的取り組みの一部を例示する。起業スクールによる創業支援、事業承継支援として新たなオープンネームによる仕組みを加えたマッチングプラットフォーム「襷をつなぐ」の展開拡充、会員企業への副業人材の導入支援、会員企業の脱炭素の取り組みを啓発、支援すべく「第2回小田原箱根気候変動アワード」の開催と省エネ診断の実施。スポーツを通じたまちづくりの一環としての人材育成事業と地域課題解決への取り組み、海を活かしたまちづくりの模索、加速化するデジタル化社会への対応の促進、当所の運営面では、会員企業へ示す実例モデルとするべく当所の人事制度の見直しや広報活動の刷新を進めてきた。

今後とも地域の中小企業は経済活動を通じて地域の暮らしを下支えしているという自負を持ちつつ、地域での経済循環を基本姿勢として、地域経済の課題と個々の企業の課題の解決に全力で取り組んでいく。

経済という仕組み、道具を使って持続可能で豊かな地域を作っていくのが、地域の総合経済団体としての使命と認識し、関係する全てのステークホルダーの皆さんの知恵を集め、力を合せ、お互いを活かしあう、そんな「つながり」を大切にする小田原箱根商工会議所を目指し、今後も「議論して 行動して 結果を問う」姿勢で活動を展開していく所存である。

小田原箱根商工会議所
会 頭 鈴 木 悌 介

Ⅱ 事項別状況

1. 定款及び規約等

令和5年度における諸規定の変更はなし。

2. 組 織

(1) 会 員

ア 会員数（令和6年3月31日現在）

（ア）会員数

区 分	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
個 人	630	79	89	620
法 人	2,308	76	27	2,357
団 体	52	3	1	54
計	2,990	158	117	3,031

年 度 別 会 員 入 退 会 者 明 細

年 度 (4/1～3/31)	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
平成 16	3,360	141	157	3,344
17	3,344	226	142	3,428
18	3,428	122	150	3,400
19	3,400	143	172	3,371
20	3,371	135	170	3,336
21	3,336	108	163	3,281
22	3,281	138	122	3,297
23	3,297	143	152	3,288
24	3,288	157	139	3,306
25	3,306	122	185	3,243
26	3,243	116	221	3,138
27	3,138	108	141	3,105
28	3,105	135	132	3,108
29	3,108	132	141	3,099
30	3,099	190	127	3,162
令和 元	3,162	125	170	3,117
2	3,117	116	115	3,118
3	3,118	171	97	3,192
4	3,192	129	331	2,990
5	2,990	158	117	3,031

(イ) 業種別会員数

業 種 別	会員数	業 種 別	会員数	業 種 別	会員数
商 業		観光飲食		信 用 組 合	1
小 売	403	ホ テ ル ・ 旅 館	110	質 屋	2
卸	185	土 産 品 店	44	貸 金 業	0
新 聞 販 売	0	飲 食 店	280	証 券 業	5
木 材 建 材	18	寿 司	12	生 命 保 険	13
カ メ ラ 店	4	喫 茶	18	損 害 保 険	5
理 容	8	弁 当 製 造	5	保 険 代 理 業	22
美 容	50	団 体	18	事 業 組 合	6
遊 技 場	7	そ の 他	69	税 務 事 務 所	42
浴 場	0	計	556	法 律 事 務 所	19
貸 ビ ル	21	建設・不動産		医 師	38
ク リ ー ニ ン グ	13	土 木 ・ 建 築	240	団 体 ・ そ の 他	19
警 備 会 社	3	電 気 工 事	68	そ の 他	234
そ の 他	96	水 道 管 工 事	53	計	454
計	808	室 内 装 飾	24	交通運輸	
工業ものづくり		左 官	4	旅 客 輸 送	14
機 械 製 ・ 加 工	55	鉄 工 建 設	14	貨 物 運 輸 倉 庫	59
写 真 関 連	1	冷 暖 房 工 事	19	自 動 車 整 備	32
自動車部品製造	21	瓦 ・ タ イ ル	2	事 業 団 体	3
食 品	46	造 園 業	5	ガソリンスタンド	3
印 刷 ・ 製 本	15	塗 装 業	35	自 動 車 販 売	29
電 気 ・ 電 子	19	不 動 産 業	88	そ の 他	26
製 紙 ・ 紙 器	12	測 量 ・ 設 計	30	計	166
鉄 工 ・ 鋼 材	12	建 具	6	合 計	3,031
化 学 ・ 光 学	9	石 材	11		
薬 品 ・ 化 粧 品	10	ビ ル ・ 清 掃	22		
精 密 機 械	21	団 体 ・ そ の 他	87		
繊 維 ・ 寝 具	0	計	708		
公 共 事 業	8	金融庶業			
木 製 品 ・ 加 工	41	普 通 銀 行	18		
そ の 他	69	信 託 銀 行	1		
計	339	信 用 金 庫	29		

(ウ) 地域別・部会別会員

地区 \ 部会	商 業	工 業 ものづくり	観 光 飲 食	建 設	金 融 業 務	交 通 運 輸	合 計
栄 町	172	13	102	38	74	6	405
浜 町	21	11	9	8	8	10	67
本 町	42	19	31	17	39	1	149
南 町	16	2	6	3	8	0	35
川 東 地 区	160	74	42	188	70	54	588
川 西 地 区	258	158	96	311	127	66	1,016
箱 根	80	12	256	77	21	9	455
湯 河 原	12	3	7	9	9	0	40
足 柄 上	18	23	3	29	16	10	99
南 足 柄 市	8	20	1	20	14	6	69
そ の 他	21	4	3	8	68	4	108
計	808	339	556	708	454	166	3,031

イ 委員会・協議会等（令和6年3月31日現在）

(ア) 委員会

委 員 会 名	委員数	活 動 内 容
会 員 増 強	21名	会員増強に関する事項並びに会員サービスの検討
D X 推 進	19名	会員事業所のデジタル化、D Xの推進による生産性の向上、事業再構築の機会をはかる
地 域 経 済 循 環	26名	地域経済を好循環させ地域資源を最大限に活かし、さまざまな角度から検証していく
防 災	25名	行政・自治体との連携した取組、BCPの啓発

(2) 特定商工業者

令和5年度特定商工業者（令和5年4月1日、基準日現在において6月以上引き続き当所管内である小田原市・箱根町に営業所等を有する商工業者のうち、地区内の営業所等で常時使用する従業員の数が20人〔商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については5人〕以上であるか、資本金額又は払込済出資総額が300万円以上の事業所）の数は次の通り。

区 分	特定商工業者数	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
個 人	16	16	0
法 人	1,893	1,797	96
計	1,909	1,813	96

(3) 役 員

ア 各役員の定数及び実数（令和6年3月31日現在）

区 分	定 数	実 数
会 頭	1名	1名
副 会 頭	4名	4名
専 務 理 事	1名	1名
常 議 員	30名	30名
監 事	3名	2名

イ 役員氏名、企業の名称および地位（令和6年3月31日現在）

役 名	議員 種類	氏 名	事 業 所 名	役 職 名	所 在 地
会 頭	2号	鈴木 悌 介	(株) 鈴 廣 蒲 鉾 本 店	取締役相談役	小田原市風祭245
副 会 頭	3号	鈴木 茂 男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	箱根町湯本211-1
副 会 頭	3号	遠 藤 康 弘	さ が み 信 用 金 庫	理 事 長	小田原市本町2-9-25
副 会 頭	2号	岩 瀬 忠 司	岩 瀬 不 動 産 (有)	代 表 取 締 役	小田原市鴨宮692
副 会 頭	3号	生 田 久 貴	(株) ミ ク ニ	代表取締役社長	小田原市久野2480
専務理事		山 本 博 文	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所	専 務 理 事	小田原市本町4-2-39
常 議 員	2号	米 山 典 行	(株) 小 田 原 魚 市 場	代表取締役社長	小田原市早川1-10-1
常 議 員	2号	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	代表取締役社長	小田原市扇町1-30-13
常 議 員	3号	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長	小田原市西酒匂1-3-54
常 議 員	3号	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2267
常 議 員	2号	横 山 佳 右	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長	小田原市栄町2-7-36
常 議 員	3号	水 上 秀 博	箱 根 登 山 鉄 道 (株)	代表取締役社長	小田原市城山1-15-1
常 議 員	3号	神 戸 洋 一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-8
常 議 員	2号	丸 田 茂 晴	小 田 原 市 商 店 街 連 合 会	会 長	小田原市本町4-2-39
常 議 員	2号	小 西 正 宏	(株) 中 村 屋	取 締 役 会 長	小田原市栄町1-5-22
常 議 員	2号	船 水 宣 邦	(株) ダ イ ド ー フ ォ ワ ー ド	代表取締役副社長	小田原市中里208

役 名	議員 種類	氏 名	事 業 所 名	役 職 名	所 在 地
常 議 員	2号	高 橋 台 一	(株) 菜 の 花	取 締 役 会 長	小田原市南町1-5-22
常 議 員	2号	清 康 夫	(株) フ ジ ミ	会 長	小田原市鬼柳184-5
常 議 員	2号	鈴 木 大 介	ゼ ロ ワ ン (株)	代 表 取 締 役	小田原市寿町1-1-12
常 議 員	1号	田 嶋 政 嗣	ヤ オ マ サ (株)	代表取締役社長	小田原市前川183-13
常 議 員	1号	高 橋 眞 己	万 葉 倶 楽 部 (株)	取 締 役 副 社 長	小田原市栄町1-14-48
常 議 員	3号	植 松 健 二	富士フイルム(株)神奈川事業場	神奈川事業場長	小田原市扇町2-12-1
常 議 員	3号	古 川 剛 士	(株) 古 川	代表取締役社長	小田原市寿町1-2-32
常 議 員	3号	宮 崎 美 孝	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場	事業場代表・ 小田原工場長	小田原市寿町5-3-28
常 議 員	2号	内 田 治 光	相 洋 産 業 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野111
常 議 員	2号	市 川 聡	サ ン ネ ッ ト (株)	代表取締役社長	小田原市栄町1-6-1
常 議 員	2号	江 島 賢	(株) 丸 江	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-13-6
常 議 員	1号	川 村 豊 彦	Meiji Seika ファルマテック(株)	代表取締役社長	小田原市鴨宮1056
常 議 員	3号	勝 俣 伸	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代表取締役社長	箱根町宮ノ下359
常 議 員	3号	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代 表 取 締 役	小田原市成田939
常 議 員	2号	譲 原 彰	譲 原 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市小八幡3-12-23
常 議 員	2号	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代 表 取 締 役	小田原市本町1-13-6
常 議 員	2号	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-11-8
常 議 員	2号	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代 表 取 締 役	箱根町宮ノ下111-5
常 議 員	2号	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	取 締 役 会 長	小田原市扇町4-7-30
常 議 員	1号	奥 山 恵 子	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫	代表取締役会長	小田原市成田480-5
監 事		大 田 和 俊 彦	大 田 和 俊 彦 事 務 所	公認会計士・税理士	小田原市本町2-3-24
監 事		古 川 武 法	(株) 栄 弘	代表取締役会長	小田原市寿町1-2-32
名誉会頭		原 義 明			
顧 問		秋 葉 勝 彦			
顧 問		久 津 間 康 允			
相 談 役		山 岡 弘			

(4) 議 員

ア 各号議員の定数および実数（令和6年3月31日現在）

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	46	46
2 号 議 員	31	31
3 号 議 員	13	13
計	90	90

イ 各号議員の氏名、企業の名称、企業上の地位（令和6年3月31日現在）

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
1号	田 嶋 政 嗣	ヤ オ マ サ (株)	代表取締役社長	小田原市前川183-13
1号	高 橋 眞 己	万 葉 倶 楽 部 (株)	取 締 役 副 社 長	小田原市栄町1-14-48
1号	川 村 豊 彦	Meiji Seika ファルマテック(株)	代表取締役社長	小田原市鴨宮1056
1号	奥 山 恵 子	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫	代表取締役会長	小田原市成田480-5
1号	長 谷 川 豊	小田急箱根ホールディングス(株)	専 務 取 締 役	小田原市城山1-15-1
1号	瀬 戸 互	(株) 小 田 原 ジ ム キ	代 表 取 締 役	小田原市浜町1-2-5
1号	井 島 章 博	(有) 井 島 商 店	代 表 取 締 役	箱根町湯本637
1号	保 科 真 史	平 安 レ イ サ ー ビ ス (株)	冠 婚 統 括 次 長	小田原市扇町4-8-28
1号	久 津 間 裕 行	久 津 間 製 粉 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2358
1号	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役	小田原市浜町1-1-42
1号	鈴 木 志 卓	(有) 小 田 原 タ ウ ン サ ー ビ ス	代 表 取 締 役	小田原市早川1-6-1
1号	田 村 洋 一	(株) 田 む ら 銀 か つ 亭	代 表 取 締 役	箱根町強羅1300-573
1号	原 眞 示	(株) 小 田 急 リ ゾ ー ツ	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-25
1号	川 田 俊 介	(有) 川 田 製 作 所	代 表 取 締 役	小田原市中新田294-1
1号	杉 崎 尚 人	(有) お む ろ ・ ア カ デ ミ ー	代 表 取 締 役	小田原市蓮正寺124-2
1号	杉 崎 勝 成	(株) 杉 崎 工 務 店	代 表 取 締 役	小田原市寿町4-9-26
1号	太 田 忠	(株) 太 田 機 械	代 表 取 締 役	小田原市寿町4-2-24
1号	三 宅 常 公	(株) ア ベ ス ト ミ ヤ ケ	代表取締役会長	小田原市本町1-4-4
1号	小 川 正 文	(有) ケ ー オ ー ハ ウ ジ ン グ	取 締 役	小田原市南鴨宮1-11-13
1号	櫻 井 泰 行	(有) タ イ コ ー	代 表 取 締 役	小田原市中町1-15-13
1号	加 藤 雅 巳	文 化 堂 印 刷 (株)	取締役経理部本部長	小田原市寿町1-10-20
1号	山 口 徹	日本新薬(株)小田原総合製剤工場	工 場 長	小田原市桑原676-1
1号	石 塚 順 一	(株) 相 州 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-4-5
1号	杉 山 雅 明	小 田 原 蒲 鉾 協 同 組 合	理 事 長	小田原市本町3-4-17
1号	高 橋 康 徳	小 田 原 紙 器 工 業 (株)	代表取締役社長	小田原市久野150
1号	里 見 昌 宏	(株) 稲 妻 屋	代表取締役社長	小田原市寿町2-5-20
1号	中 村 正 実	(株) ダ イ ト 一 建 設 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栢山506-1
1号	杉 崎 正 章	西湘ビルメンテナンス協同組合	代 表 理 事	小田原市南鴨宮3-19-8

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
1号	阿 部 正 弘	(株) 阿 部 製 作 所	取 締 役 会 長	小田原市成田941
1号	山 岸 功 治	山 岸 (株)	代 表 取 締 役	小田原市鬼柳203-18
1号	藪 田 直 秀	ヤ ブ タ 塗 料 (株)	代 表 取 締 役	小田原市本町2-4-18
1号	青 山 恵 美	(株) ハ イ ・ テ ッ ク	代 表 取 締 役	小田原市西酒匂2-7-17
1号	飯 塚 章 洋	富士フイルムビジネスイノベーション(株) 竹 松 事 業 所	竹 松 事 業 所 長	南足柄市竹松1600
1号	平 林 達 樹	(株)ジェイコム湘南・神奈川西湘局	局 長	小田原市栄町1-5-17
1号	秋 山 隆 一 郎	(株) 秋 山 設 計	代 表 取 締 役	小田原市下新田220-3
1号	赤 松 卓	ラ イ オ ン (株) 小 田 原 工 場	工 場 長	小田原市田島100
1号	白 仁 隆 文	(有) レ ン ト オ ー ル 小 田 原	代 表 取 締 役	小田原市鬼柳172-14
1号	浅 野 達 也	(有) 浅 野 商 店	専 務 取 締 役	小田原市東町1-13-33
1号	露 木 清 勝	(株) 露 木 木 工 所	代 表 取 締 役	小田原市早川2-2-15
1号	和 田 理 恵 子	日 本 通 運 (株) 神 奈 川 西 支 店	支 店 長	伊勢原市下糟屋1521
1号	牧 野 澄 世	ア ヴ ィ (株)	代 表 取 締 役	小田原市早川1-15-4
1号	鈴 木 達 之	司 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市北ノ窪452
1号	丹 治 淳 子	(株) N T T 東 日 本 一 南 関 東 神 奈 川 事 業 部 神 奈 川 西 支 店	神奈川西支店支店長	藤沢市朝日町1-6
1号	樋 口 敦 士	H a m e e (株)	代 表 取 締 役 会 長	小田原市栄町2-12-10
1号	金 宮 弘 文	カ ナ ミ ヤ 食 品 (株)	代 表 取 締 役	小田原市鬼柳184-6
1号	高 井 哲 也	(株) マ ル ク	代 表 取 締 役	開成町牛島59-1

以上、1号議員46名

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
2号	鈴 木 悌 介	(株) 鈴 廣 蒲 鉾 本 店	取 締 役 相 談 役	小田原市風祭245
2号	岩 瀬 忠 司	岩 瀬 不 動 産 (有)	代 表 取 締 役	小田原市鴨宮692
2号	米 山 典 行	(株) 小 田 原 魚 市 場	代 表 取 締 役 社 長	小田原市早川1-10-1
2号	丸 田 茂 晴	小 田 原 市 商 店 街 連 合 会	会 長	小田原市本町4-2-39
2号	小 西 正 宏	(株) 中 村 屋	取 締 役 会 長	小田原市栄町1-5-22
2号	船 水 宣 邦	(株) ダ イ ド ー フ ォ ワ ー ド	代 表 取 締 役 副 社 長	小田原市中里208
2号	高 橋 台 一	(株) 菜 の 花	取 締 役 会 長	小田原市南町1-5-22
2号	清 康 夫	(株) フ ジ ミ	会 長	小田原市鬼柳184-5
2号	鈴 木 大 介	ゼ ロ ワ ン (株)	代 表 取 締 役	小田原市寿町1-1-12
2号	中 戸 川 洋	(株) 中 戸 川	代 表 取 締 役	小田原市栄町1-16-5
2号	足 立 和 壇	(株) イ ト ー ヨ ー カ 堂 小 田 原 店	店 長	小田原市中里296-1
2号	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	代 表 取 締 役 社 長	小田原市扇町1-30-13
2号	内 田 治 光	相 洋 産 業 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野111
2号	市 川 聡	サ ン ネ ッ ト (株)	代 表 取 締 役 社 長	小田原市栄町1-6-1

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
2号	江 島 賢	(株) 丸 江	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-13-6
2号	峠 千 秋	(株) 峠 製 作 所	取 締 役 会 長	小田原市寿町4-2-2
2号	高 橋 健 一	三 菱 ガ ス 化 学 (株) 山 北 工 場	工 場 長	山北町岸950
2号	川 口 龍 一	東京電力パワーグリッド(株)小田原支社	小 田 原 支 社 長	小田原市本町1-9-25
2号	宮 地 博 篤	(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド	箱根地区総支配人	箱根町元箱根144
2号	石 村 隆 生	奥 箱 根 観 光 (株)	代表取締役社長	箱根町仙石原1251
2号	新 田 栄 一	(有) だ る ま 料 理 店	特 別 顧 問	小田原市本町2-1-30
2号	譲 原 彰	譲 原 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市小八幡3-12-23
2号	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代 表 取 締 役	小田原市本町1-13-6
2号	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-11-8
2号	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代 表 取 締 役	箱根町宮ノ下111-5
2号	勝 俣 徳 彦	(株) 勝 俣 組	代 表 取 締 役	箱根町宮城野913
2号	三 上 誠 司	(株) 三 上 工 業	取 締 役 会 長	小田原市寿町1-14-16
2号	横 山 佳 右	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長	小田原市栄町2-7-36
2号	江 成 健 一	税 理 士 法 人 エ ナ リ	社 員 税 理 士	小田原市城山3-25-23
2号	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	取 締 役 会 長	小田原市扇町4-7-30
2号	杉 本 功	伊豆箱根鉄道(株)大雄山線管理所	管 区 長	小田原市栄町1-1-5

以上、2号議員31名

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
3号	鈴 木 茂 男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	箱根町湯本211-1
3号	遠 藤 康 弘	さ が み 信 用 金 庫	理 事 長	小田原市本町2-9-25
3号	生 田 久 貴	(株) ミ ク ニ	代表取締役社長	小田原市久野2480
3号	神 戸 洋 一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-8
3号	植 松 健 二	富士フイルム(株)神奈川事業場	神奈川事業場長	小田原市扇町2-12-1
3号	古 川 剛 士	(株) 古 川	代表取締役社長	小田原市寿町1-2-32
3号	宮 崎 美 孝	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場	事 業 場 代 表 ・ 小 田 原 工 場 長	小田原市寿町5-3-28
3号	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長	小田原市西酒匂1-3-54
3号	勝 俣 伸	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代表取締役社長	箱根町宮ノ下359
3号	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代 表 取 締 役	小田原市成田939
3号	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2267
3号	水 上 秀 博	箱 根 登 山 鉄 道 (株)	代表取締役社長	小田原市城山1-15-1
3号	土 屋 了 介	学 校 法 人 国 際 学 園 星 槎 大 学	理 事 長	箱根町仙石原817-255

以上、3号議員13名

ウ その他参考事項 年度内における異動（職務執行者変更）

役職名	企業の名称	新役員・議員	旧役員・議員	変更月日
常 議 員	箱 根 登 山 鉄 道 (株)	水 上 秀 博	抱 山 洋 之	4 月 1 日
議 員	(株)ジェイコム湘南・神奈川西湘局	平 林 達 樹	矢 端 雅 子	4 月 1 日
議 員	(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド	宮 地 博 篤	関 文 昭	4 月 1 日
議 員	三 菱 ガ ス 化 学 (株) 山 北 工 場	高 橋 健 一	堺 谷 ひ さ し	6 月 1 日
議 員	東京電力パワーグリッド(株)小田原支社	川 口 龍 一	岩 村 佳 紀	6 月 22 日
議 員	富士フイルムビジネスイノベーション(株) 竹 松 事 業 所	飯 塚 章 洋	鈴 木 千 秋	7 月 21 日
議 員	(株) N T T 東 日 本 一 南 関 東 神 奈 川 事 業 部 神 奈 川 西 支 店	丹 治 淳 子	泉 安 理	10 月 1 日

(5) 箱根支部（令和6年3月31日現在）

役 名	氏 名	企 業 の 名 称	地 位
支 部 長	鈴 木 茂 男	箱 根 温 泉 旅 館 ホ テ ル 協 同 組 合	理 事 長
副支部長	井 島 章 博	(有) 井 島 商 店	代表取締役社長
副支部長	田 村 洋 一	(株) 田 む ら 銀 か つ 亭	代 表 取 締 役

(6) 部会長等（令和6年3月31日現在）

部 会	役 名	氏 名	企 業 の 名 称	地 位
商 業 部 会	部 会 長	米 山 典 行	(株) 小 田 原 魚 市 場	代表取締役社長
	副部会長	神 戸 洋 一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長
	〃	丸 田 茂 晴	小 田 原 市 商 店 街 連 合 会	会 長
	〃	中 戸 川 洋	(株) 中 戸 川	代 表 取 締 役
工 業 ものづくり部会	部 会 長	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	代表取締役社長
	副部会長	植 松 健 二	富 士 フ イ ル ム (株)	神奈川事業場 神奈川事業場長
	〃	川 村 豊 彦	Meiji Seikaファルマテック(株)	代表取締役社長
	〃	内 田 治 光	相 洋 産 業 (株)	代 表 取 締 役
観 光 飲 食 部 会	部 会 長	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長
	副部会長	勝 俣 伸	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代表取締役社長
	〃	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代 表 取 締 役
	〃	宮 地 博 篤	(株) 西 武 ・ プ リ ン ス ホ テ ル ズ ワ ー ル ド ワ イ ド	箱 根 地 区 総 支 配 人
	〃	石 村 隆 生	奥 箱 根 観 光 (株)	代表取締役社長
	〃	新 田 栄 一	(有) だ る ま 料 理 店	特 別 顧 問
建 設 ・ 不 動 産 部 会	部 会 長	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役
	副部会長	譲 原 彰	譲 原 建 設 (株)	代 表 取 締 役
	〃	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代 表 取 締 役
	〃	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代 表 取 締 役
	〃	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代 表 取 締 役
金 融 庶 業 部 会	部 会 長	横 山 佳 右	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長
	副部会長	土 屋 了 介	学 校 法 人 国 際 学 園 星 槎 大 学	理 事 長
	〃	江 成 健 一	税 理 士 法 人 エ ナ リ	社 員 税 理 士
	〃	平 林 達 樹	(株)ジェイコム湘南・神奈川西湘局	局 長

部 会	役 名	氏 名	企 業 の 名 称	地 位
金融庶業部会	副部長	松 崎 英 一	さ が み 信 用 金 庫	常 務 理 事
交通運輸部会	部 会 長	水 上 秀 博	箱 根 登 山 鉄 道 (株)	代表取締役社長
	副部長	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	取 締 役 会 長
	〃	杉 本 功	伊豆箱根鉄道(株)大雄山線管理所	管 区 長
	〃	和 田 理 恵 子	日 本 通 運 (株) 神 奈 川 西 支 店	支 店 長
	〃	奥 山 恵 子	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫	代表取締役会長
	〃	長 谷 川 豊	小田急箱根ホールディングス(株)	専 務 取 締 役
	〃	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役

(7) 委員長等

ア 委員会（令和6年3月31日現在）

委 員 会 名	委員長名	企 業 の 名 称	地 位
会 員 増 強	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役
防 災	鈴 木 達 之	司 建 設 (株)	代 表 取 締 役
地 域 経 済 循 環	横 山 佳 右	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長
D X 推 進	市 川 聡	サ ン ネ ッ ト (株)	代 表 取 締 役 社 長

イ 小規模事業者経営改善資金融資審査会（令和6年3月31日現在）

役 名	氏 名	役 職 名
委 員 長	岩 瀬 忠 司	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 副 会 頭
委 員	飯 沼 寛 雄	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 常 議 員
〃	江 成 健 一	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 議 員
〃	川 口 將 明	箱根温泉旅館ホテル協同組合事務局長
〃	山 本 博 文	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 専 務 理 事

ウ 青年部（令和6年3月31日現在）

役 名	氏 名	企 業 の 名 称	住 所
会 長	北 村 徳 宏	(株) プ レ ミ ア ム	大井町金子1027
専務理事	菊 川 鉄 也	菊 川 運 送 (有)	箱根町湯本706
副 会 長	石 綿 秀 規	小 田 原 電 機 (株)	小田原市栄町2-13-57
〃	稲 葉 潤	(株) ア ク ア サ ー ビ ス	箱根町宮城野1324-74
〃	椎 野 託 実	(株) E D E N	小田原市桑原194

エ 女性会（令和6年3月31日現在）

役 名	氏 名	企 業 の 名 称	住 所
会 長	鈴 木 智 恵 子	鈴 廣 か ま ぼ こ (株)	小田原市風祭245
副 会 長	鈴 木 ま が ね	フ ロ ン テ ィ ア 1 (株)	小田原市寿町1-1-12

オ タスクフォース（令和6年3月31日現在）

委 員 会 名	委員長名	企 業 の 名 称	地 位
気 候 変 動	秋 元 美 里	(株)まるだい運輸倉庫	代表取締役社長
スポーツによるまちづくり	鈴 木 聖	シ グ マ 精 器 (株)	代 表 取 締 役
E C H O	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	代表取締役社長

3. 事 務 局

(1) 事務局の構成

部課名	所 掌 事 務 の 概 要	職員数
総 務 課	○庶務、経理、管理、共済事業及び他の所掌に属さない業務 1. 国・県・市・町等に対する意見具申、建議要望に関する事 2. 定款・規約・組織等に関する事 3. 庶務・人事・文書の収受発送、儀典事務 4. 会員の加入脱退、議員の選挙に関する事 5. 会員表彰式等の開催に関する事 6. 会員大会の開催に関する事 7. 会計並びに物品発注に関する事 8. 会館の運営管理に関する事 9. 法定台帳の作成運用に関する事 10. 共済事業・労働保険事務組合の管理運営 11. 広報の編集・刊行 12. 貿易関係証明に関する事 ○議員総会、常議員会、委員会等の運営 ○商工技術検定業務に関する事 1. 検定試験の実施 2. 日本珠算連盟小田原支部の運営 ○県西地域経済懇話会に関する事 ○電算業務に関する事 1. 所内システムの管理運用 2. ホームページの管理運用に関する事 3. 業務の企画、調整、報告に関する事	10人
経営支援部	○経営改善普及事業の推進 1. 経営改善に関する講習会、研修会、講演会等の開催 2. 労働・福祉共済事業の運営 3. 経営革新支援・補助金申請支援 4. 原産地証明発給 ○小規模事業者経営改善資金融資に関する事 1. 小規模事業者経営改善資金融資推薦 2. 各種制度融資の斡旋 ○窓口相談・巡回指導 1. 経営相談員、専門相談員による相談指導 2. 窓口相談・巡回指導 ○商工業及び中小企業の振興対策、流通対策、調査研究 1. 商業、工業ものづくり、観光飲食、建設・不動産、金融庶業、交通運輸部会の運営 2. 箱根支部に関する事 3. 中心市街地活性化推進事業 4. 景気動向調査・流動客調査 5. 創業支援・事業承継事業 6. 雇用促進事業 7. 青年部・女性会の運営に関する事	8人

(2) 事務局職員

ア 令和6年3月31日現在における事務局職員18名（含む経営相談員7名）

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
事 務 局 長	古 川 正 治	経 営 支 援 部 部 長 (経 営 相 談 員)	井 上 經
総 務 課 課 長	松 下 智 子	経 営 支 援 一 課 課 長 (経 営 相 談 員)	飯 田 順 彦
総 務 課 係 長	山 口 圭	経 営 支 援 一 課 (経 営 相 談 員)	藤 田 遥
総 務 課	大 川 修 平	経 営 支 援 二 課 課 長 (経 営 相 談 員)	樋 口 裕 紀
総 務 課	岡 部 龍 一 郎	経 営 支 援 二 課 係 長 (経 営 相 談 員)	小 林 大 悟
総 務 課 (契 約)	池 谷 正 美	経 営 支 援 二 課 (副 経 営 相 談 員)	田 中 裕 之
総 務 課 (嘱 託)	長 田 圭 司	経 営 支 援 三 課 課 長 (経 営 相 談 員)	内 田 信 也
総 務 課 (パ ー ト)	平 井 喜 代	経 営 支 援 三 課 (経 営 相 談 員)	高 橋 進
総 務 課 (パ ー ト)	山 田 陽 子		
総 務 課 (パ ー ト)	酒 井 宏 美		

イ 職員数

区 分	専 任 職 員	経 営 相 談 員	副 経 営 相 談 員	計
男	6	6	1	13
女	4	1	0	5
計	10	7	1	18

ウ 非常勤嘱託

職 名	氏 名
弁 護 士	杉 崎 茂
弁 理 士	穂 坂 道 子

4. 庶 務

(1) 文 書

令和5年度の取扱いはこちら

発信文書数 171件

受信文書数 1,030件

(2) 表 彰 (順不同・敬称略)

ア 第71回神奈川県優良産業人表彰

表 彰 者 神奈川県知事、神奈川県商工会議所連合会会頭

表 彰 日 令和6年1月31日

神奈川県優良産業人被表彰者

氏 名	事 業 所 名
林 真 理 子	(株) 小 田 原 百 貨 店
木 山 真 弓	(株) 小 田 原 魚 市 場
高 槻 勲	ラ イ オ ン (株) 小 田 原 工 場
大 川 肇	大 川 木 工 所
今 野 勝 則	(有) ち ゃ い な ハ ウ ス
久 保 寺 吉 和	譲 原 建 設 (株)
藤 田 さ と み	さ が み 信 用 金 庫
坂 内 進	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫

イ 小田原市優良産業勤労者表彰

表 彰 者 小田原市長

表 彰 日 令和5年11月1日

小田原市優良産業勤労者被表彰者

No.	部 会	氏 名	事 業 所 名
1	商 業	志 村 正 道	小 田 原 中 央 青 果 (株)
2	商 業	渡 辺 浩 司	(株) 小 田 原 魚 市 場
3	商 業	府 川 桂 子	(株) 小 田 原 魚 市 場
4	商 業	土 屋 光 秀	(株) 古 川
5	商 業	飯 塚 泰 久	ス ズ ヒ ロ シ ー フ ー ズ (株)
6	商 業	川 口 好 一	(株) 小 田 原 百 貨 店
7	商 業	府 川 ト ヨ 子	(資) マ ル ク 洋 服 店
8	商 業	大 森 郁 枝	(株) 花 政
9	工業ものづくり	山 本 仁	(株) 山 本 産 業
10	工業ものづくり	廣 瀬 恵 子	Meiji Seikaファルマテック (株)
11	工業ものづくり	上 原 栄 成	ラ イ オ ン (株) 小 田 原 工 場
12	工業ものづくり	鷺 津 透	ラ イ オ ン (株) 小 田 原 工 場

No.	部 会	氏 名	事 業 所 名
13	工業ものづくり	石 川 桂 子	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場
14	工業ものづくり	川 口 尚 美	(株) 古 川
15	工業ものづくり	廣 石 仁 志	(株) 鈴 廣 蒲 鉾 本 店
16	工業ものづくり	鍵 和 田 浩	極 東 精 機 (株)
17	工業ものづくり	川 瀬 圭 司	小 田 原 ガ ス (株)
18	工業ものづくり	津 田 博 一	相 日 防 災 (株)
19	工業ものづくり	野 口 雅 紀	第一三共ケミカルファーマ(株)小田原工場
20	観 光 飲 食	田 村 元	鈴 廣 か ま ぼ こ (株)
21	観 光 飲 食	山 田 幸 弘	(株) し い の 食 品
22	観 光 飲 食	志 村 益 男	(株) 東 華 軒
23	観 光 飲 食	高 梨 佳 枝	(有) だ る ま 料 理 店
24	建設・不動産	秋 山 匠	(有) 匠 企 画
25	建設・不動産	工 藤 友 之	(株) 秋 山 設 計
26	建設・不動産	藤 生 安 子	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス
27	建設・不動産	前 三 盛 朋 枝	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス
28	金 融 庶 業	山 田 泰 廣	山 田 針 灸 院
29	金 融 庶 業	十 時 祥 宏	医療法人小林病院介護老人保健施設 水之尾
30	金 融 庶 業	岩 下 祐 三	税 理 士 法 人 エ ナ リ
31	交 通 運 輸	島 川 博 行	箱 根 登 山 鉄 道 (株)
32	交 通 運 輸	土 方 邦 生	小田原栄興自動車(株)(湘南鴨宮自動車学校)
33	交 通 運 輸	笠 間 優 治	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫
34	交 通 運 輸	岩 田 文 也	相 原 興 業 (株)
35	交 通 運 輸	竹 本 眞 奈 美	相 原 興 業 (株)

ウ 会員事業所優良従業員表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和5年10月25日

被表彰者 53事業所の従業員270名

優良従業員被表彰者勤続年数別一覧表

年 数	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上	合計
人 数	101	57	27	40	21	24	270

エ 小田原箱根商工会議所優良産業人表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和5年10月25日

No.	氏 名	事業所名並び所在地	業 種	営業年数
1	橋 上 朗	(有)日清亭 箱根町湯本703	飲食業	46
2	和 泉 直 人	ヘアースalon和泉 小田原市城山1-6-32	理容業	36
3	木 村 隆太郎	(有)リキ・コーポレーション 小田原市桑原867-13	菓子製造業	29

オ 小田原箱根商工会議所優良小売店舗表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和5年10月25日

No.	店 舗 名	所在地・電話	業 種
1	一膳飯屋 八起	小田原市栄町1-1-27 おだわら市民交流センターUMECO内 0465-24-5775	海鮮居酒屋
2	潮若丸	小田原市栄町1-4-4-2F 0465-22-8855	居酒屋
3	コスナサイクル	小田原市扇町4-7-3 0465-35-3720	自転車小売店
4	みやま橋本呉服店 小田原店	小田原市酒匂2-26-11 0465-47-6924	呉服小売店
5	I L B A C I O	小田原市栄町2-8-12 0465-22-8110	イタリアン料理店
6	箱根甘酒茶屋	箱根町畑宿二子山395-28 0460-83-6418	喫茶店
7	高杉商店	箱根町仙石原956-3 0460-84-7742	野菜小売店

カ 会員増強功労者表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和5年10月25日

No.	事 業 所 名
1	(株)鈮持塗料店
2	アヴィ(株)
3	(株)田むら銀かつ亭
4	F u R A T

キ 功労役員・議員特別表彰（事業所名及び役職名は退任時）

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和 5 年10月25日

No.	役 名	氏 名	事業所名・役職名
1	議 員	鈴木 千秋	富士フイルムビジネスイノベーション(株)竹松事業所 竹松事業所長

ク 第2回小田原箱根気候変動アワード表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和 5 年10月25日

賞	事業所名
大 賞	(株)凜門
特別賞	(株)しいの食品
特別賞	ヤブタ塗料(株)
特別賞	パナック工業(株)

(3) 受 章

ア 旭日双光章

受章者 古川 武法

小田原箱根商工会議所 元副会頭

(株)古川 取締役会長

受章日 令和 5 年11月 9 日

(4) 受 彰

ア 日本商工会議所会頭感謝状

受彰者 鈴木 千秋

富士フイルムビジネスイノベーション(株)竹松事業所 竹松事業所長

受彰日 令和 5 年10月25日付（小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達）

イ 関東商工会議所連合会長表彰

受彰者 古川 剛士

(株)古川 代表取締役

受彰日 令和 5 年10月25日付（小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達）

(5) 慶弔 その他

月 日	慶 弔 等 の 名 称
4 / 12	相原興業(株) 創立120周年祝賀会
4 / 13	Meiji Seika ファルマテック(株) 創立記念式典
4 / 21	神奈川県労務安全衛生協会総会
4 / 24	箱根ドールハウスリニューアル
4 / 25	HAKONATURE BASE 内覧会
4 / 26	足柄上商工会会長 鍵和田甲士郎氏 葬儀
5 / 14	箱根をどり
5 / 16	相模原商工会議所 創立50周年式典
5 / 23	小田原食品衛生協会総会
5 / 23	議員 瀬戸互氏 ご岳母様 葬儀
5 / 24	常議員 内田治光氏 傷病見舞
5 / 31	箱根湯本観光協会総会
6 / 9	東京地方税理士会小田原支部総会
6 / 11	鴨宮駅100周年記念式典
6 / 13	小田原青色申告会総会
6 / 21	小田原法人会総会
6 / 28	箱根小涌園 内覧会
6 / 29	小田原市観光協会総会
7 / 25	(株)東海リْنَレイ創立65周年記念・(株)東海ビルメンテナンス創立60周年記念 式典
7 / 31	箱根神社湖水祭・例大祭
8 / 3	太閤ひょうたん祭り
8 / 4	(株)ミクニ小田原事業所 納涼祭
8 / 5	芦ノ湖鳥居焼まつり
8 / 16	箱根強羅大文字焼き
9 / 4	横浜商工会議所会頭 上野孝氏 ご令弟様 葬儀
9 / 8	嘱託職員 長田圭司 ご岳父様 葬儀
9 / 13	副会頭 岩瀬忠司氏 ご母堂様 葬儀
9 / 18	箱根町仙石原観光協会 箱根仙石原すすき祭り
9 / 26	全国蒲鉾青年協議会総会
10 / 24	常議員 神戸洋一氏 ご母堂様 葬儀
11 / 3	箱根大名行列
11 / 27	専務理事 山本博文氏 傷病見舞
12 / 8	議員 (株)アベストミヤケ新事業所開所

月 日	慶 弔 等 の 名 称
12／21	星槎女子サッカー 全国大会出場祝賀会
1／5	小田原青年会議所 賀詞交歓会
1／5	小田原市内官公署等 新年交賀会
1／10	東京地方税理士会小田原支部 新年賀詞交歓会
1／11	箱根物産連合会 新年会
1／14	あしがら青年会議所 賀詞交歓会
1／16	小田原市観光協会 新年賀詞交歓会
1／19	小田原市社会福祉協議会 賀詞交歓会
1／22	小田原法人会 賀詞交歓会
1／23	小田原青色申告会 賀詞交歓会
1／24	小田原市土木建設協同組合 賀詞交換会
1／24	元副会頭 河野利光氏 葬儀
1／25	小田原蒲鉾協同組合 新年会
1／29	湯河原町経済三団体 新年合同賀詞交歓会
1／30	神奈川県宅地建物取引業協会小田原支部 賀詞交歓会
2／2	議員 (株)田むら銀かつ亭 箱根天空のテラス リニューアルオープン
2／5	職員 内田信也 ご尊父様 葬儀
2／14	小田原食品衛生協会 新年賀詞交歓会
2／21	みのさんを偲ぶ会
2／22	常議員 横山佳右氏 傷病見舞
3／20	職員 山口圭 ご岳父様 葬儀
3／27	小田原星野富弘花の詩画展

5. 会 議

(1) 議員総会

ア 通常議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和5年6月22日（木） 15：45～17：00

2. 開催場所 ホテル南風荘

オンライン会議

3. 出席者数（または出席者名）

(1) 議員

実出席者数 52名

委任状行使者数 25名

合 計 77名

議員定数 90名

(2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

(3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会 頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、生田久貴

専務理事 山本博文

(4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

(5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

令和5年6月2日、小田原箱根商工会議所において監事が山本専務理事、古川事務局長及び担当者立会いの上、令和4年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であることを認めた。

4. 議 題 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件

第2号議案 令和4年度収支決算承認の件

(1) 一般会計収支決算

(2) 会館管理特別会計収支決算

(3) 共済事業特別会計収支決算

(4) 特定退職金共済事業特別会計収支決算

(5) 運営資金積立金特別会計収支決算

(6) 退職給与資金特別会計収支決算

(7) 会館建設資金特別会計収支決算

5. 議事の概要

定刻（15：45）通り、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者52名、委任状行使者25名、計77名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案を上程>

冒頭、山本専務理事より令和4年度事業報告について事業報告書に基づき説明をした。その後、映像にて令和4年度の事業を振り返った。

議長は第1号議案について出席者に諮りたところ、異議なく賛成多数で承認された。

<議長、第2号議案を上程>

古川事務局長より、令和4年度収支決算について、一般会計・会館管理特別会計・共済事業特別会計・特定退職金共済事業特別会計・運営資金積立金特別会計・退職給与資金特別会計・会館建設資金特別会計について、別紙収支決算書に基づき説明した。

続いて、監事を代表して、古川監事から令和5年6月2日、小田原箱根商工会議所において行われた監事会について報告し、大田和監事、田中監事、古川監事の3名の監事が山本専務理事、古川事務局長及び担当者立会いのもと監査を行ない、令和4年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であったことを報告した。

議長は2号議案について出席者に諮りたところ、異議なく賛成多数で承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認された。

イ 臨時議員総会

1. 臨時議員総会が開催された日時

令和6年1月25日（木） 16：00～16：25

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 大会議室

オンライン会議

3. 出席者数（または出席者名）

（1）議員

実出席者数	45名
委任状行使者数	29名
合計	74名
議員定数	90名

（2）議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

（3）議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、岩瀬忠司、生田久貴

専務理事 山本博文

(4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

(5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

報告事項なし

4. 議 題 第1号議案 令和6年度能登半島地震義援金(復旧・復興に係る特別会費)の件

第2号議案 令和5年度補正予算(案)の件

(1) 一般会計

(2) 会館管理特別会計

5. 議事の概要

議案に入る前に、小田原市 企画部 ゼロカーボン・デジタルタウン推進課長小鷹氏より、小田原市ゼロカーボン・デジタルタウン基本構想について事業の進め方や公民連携によるまちづくりについて、協力のお願いがあった。

16:00より、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者46名、委任状行使者29名、計74名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案を上程>

松下課長から、日本商工会議所が令和6年能登半島地震義援金を募っていることを報告。ついては当所も義援金を取りまとめ日商に送金したいと説明を行った。義援金の募集方法として、会員事業所10口以上50口以内、議員事業30口以上100口以内を特別会費として賦課することについて審議を願った。

振込先を小田原箱根商工会議所の口座とし、義援金を取りまとめ、日商に送金したいと説明を行った。

議長は、第1号議案を出席者に諮りたところ、異議なく賛成多数で承認された。

<議長、第2号議案を上程>

古川事務局長より、令和5年度補正予算(案)(1)一般会計、(2)会館管理特別会計についてそれぞれ説明した。

(1) 一般会計について、収入は期中に採択となった補助金を計上。支出については期中採択補助金の支出科目として、商工振興費を積み上げるほか退職者2名の人件費を採用費用に充当する内容。

(2) 会館管理特別会計について、収入はテナント実費請求の電気料金の下方修正。支出は電気料金の下方修正と旧会館エレベーター保守料の値上げによる保守料の増加を補正する内容。

山本専務理事より、当初予算と大きく差異がある場合は、臨時議員総会で補正予算の承認を得てから、決算で報告するよう以前に大田和監事から助言があったと補足した。

議長は第2号議案について、出席者に諮りたところ、賛成多数により異議無く承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認された。

ウ 通常議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和6年3月21日（木） 15：45～17：00

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所

オンライン会議

3. 出席者数（または出席者名）

（1）議員

実出席者数	43名
委任状行使者数	35名
合計	78名
議員定数	90名

（2）議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木 悌介

（3）議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会 頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、岩瀬忠司

専務理事 山本博文

（4）議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

（5）法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

報告事項なし

- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| 4. 議 題 | 第1号議案 | 令和6年度事業計画（案）承認の件 |
| | 第2号議案 | 令和6年度収支予算（案）承認の件 |
| | 第3号議案 | 令和6年度借入限度額（案）承認の件 |
| | 第4号議案 | 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件 |

5. 議事の概要

定刻（15：45）通りに開会し、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者43名、委任状行使者35名、計78名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案 令和6年度事業計画（案）承認の件を上程>

井上部長から会頭所信と、重点施策、活動計画等を説明し、続いて箱根支部の鈴木支部長、商業部会の米山部会長、工業ものづくり部会の原部会長、観光飲食部会の飯沼部会長、建設・不動産部会の瀬戸部会長、金融産業部会の土屋副部会長、交通運輸部会的水上部会長の順に各部会の事業計画を説明した。

その後、建設不動産部会の芝副部会長より、公共工事に関して週休2日制が義務化されることにより、無理な短工期の工事受注が難しくなる事について補足の説明があった。

また、井上部長より4つの委員会（会員増強、防災、地域経済循環、DX推進）・3つのタスクフォース（気候変動、スポーツによるまちづくり、ECHO）の活動内容について説明した。

議長は第1号議案について、第2号議案の説明後、一括で承認をかけると説明し、次の議案に進んだ。

<議長、第2号議案 令和6年度収支予算（案）承認の件を上程>

古川事務局長から一般会計、会館管理特別会計等6会計についてそれぞれ説明した。

その後、人件費抜粋について、職員2名が退職したため経営支援事業費が減少しており、3名の新規採用予定の人件費については、一般会計管理費に予算計上していると報告した。

議長は第1号議案と第2号議案について、出席者に諮りたところ異議無く賛成多数で承認された。

<議長、第3号議案 令和6年度借入限度額（案）承認の件を上程>

松下課長から、令和6年度の借入限度額を例年通り2,000万円に設定させていただきたいと説明した。また、過去に借り入れをしたことはないと補足した。

議長は第3号議案について、出席者に諮りたところ、異議無く賛成多数で承認された。

<議長、第4号議案 特定商工業者負担金賦課の許可書の件を上程>

松下課長から、特定商工業者の概要について説明。商工会議所に作成義務のある法定台帳の作成、管理及び運用に要する経費をあてるため、特定商工業者に負担金を賦課することについて、2事業年度ごとに議員総会の決議を得た上で、神奈川県知事に許可申請を行う必要があること、また、令和6年、7年度の負担金について従前と同額の1事業者1,500円（年間）とさせていただきたいと説明した。

議長は、第4号議案を出席者に諮りたところ、異議なく賛成多数で承認された。

(2) 正副会頭会議

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第 1 回 4 月 13 日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第 1 号議案 新会員承認の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原警察署協議会 委員 (2) 小田原市防災会議 委員 第 3 号議案 (株)湘南ベルマーレフットサルクラブとの協定締結の件 (協議事項) 第 4 号議案 令和 5 年度会員大会の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更等について 2. 令和 4 年度小田原・箱根合同企業説明会について 3. 令和 5 年度小田原箱根合同入社式について
第 2 回 4 月 27 日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第 1 号議案 新会員承認の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 湘南地域雇用対策推進協議会 構成員 (追認) (2) 小田原市生活交通ネットワーク協議会会員 (3) (社福) 小田原市社会福祉協議会 理事 (4) (社福) 小田原市社会福祉協議会 評議員 (5) 共同募金会小田原市支会 委員 第 3 号議案 第 4 9 回景況調査結果 (令和 5 年 2 月実施) の件 II. 報告事項 1. 令和 4 年度会議所事業計画に対する自己評価について 2. 令和 5 年度会員大会について 3. その他
第 3 回 5 月 11 日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第 1 号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原地区高等学校定時制教育振興会 常任理事 (2) 令和 5 年度城下町おだわらツーデーマーチ 実行委員会 委員 (3) 箱根町健康増進計画・食育推進計画 (第 2 次) 後期計画策定委員会 委員 第 2 号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件 第 3 号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			(協議事項) 第4号議案 小田原市長・副市長・政策監と正副会頭との懇談会の件 II. 報告事項 1. 令和5年度神奈川県予算・政策に関する要望の回答について 2. 小田原箱根大博覧会について 3. その他
5月18日	会席「大清水」	5	正副会頭懇談会
第4回 5月25日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 箱根ジオパーク推進協議会 役員 (2) 小田原市みどりの審議会 委員 第3号議案 小田原市長・副市長・政策監と正副会頭との懇談会の件
第5回 6月8日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度収支決算承認の件 第3号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 美食のまち小田原推進協議会 会員 II. 報告事項 1. 通常議員総会について 2. 議員職務執行者変更について
第6回 6月22日	ホテル南風荘	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 神奈川県立吉田島高等学校 学校運営協議会 委員 (協議事項) 第3号議案 令和6年度神奈川県予算・政策に関する要望（個別要望）の件 第4号議案 令和6年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第5号議案 令和6年度箱根町予算・政策に関する要望の件 II. 報告事項 1. 公的融資相談会について 2. 小田原・箱根合同企業説明会報告について

月 日	開催場所	出席者数	内 容
7 月 6 日	商工会議所	17	小田原市長・副市長と正副会頭との懇談会
第 7 回 7 月 13 日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第 1 号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市人権施策推進委員会 委員 (2) 小田原市市民活動推進委員会 委員 (3) 箱根DMO 理事 (4) 美食のまち小田原推進協議会プロジェクト チーム メンバー (追認) (協議事項) 第 2 号議案 令和 5 年度会員表彰式の件 第 3 号議案 令和 6 年度神奈川県予算・政策に関する要望 (個別要望) の件 第 4 号議案 令和 6 年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第 5 号議案 令和 6 年度箱根町予算・政策に関する要望の件 II. 報告事項 1. 会員満足度調査結果報告について 2. 会員親睦ゴルフ大会について 3. 全国商工会議所青年部連合会 (商青連) 15 年度「20 周年大同窓会 in 小田原箱根」について 4. その他
第 8 回 7 月 27 日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第 1 号議案 新会員承認の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市文化財保存活用地域計画策定に係る懇話会 構成員 第 3 号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件 第 4 号議案 令和 6 年度神奈川県予算・政策に関する要望 (個別要望) の件 第 5 号議案 令和 6 年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第 6 号議案 令和 6 年度箱根町予算・政策に関する要望の件 (協議事項) 第 7 号議案 小田原市議会正副議長・常任委員長と正副会頭・部会長との懇談会の件 第 8 号議案 箱根町議会正副議長・常任委員長と正副会頭との懇談会の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更について 2. 会員増強の進捗について

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			3. その他
8月24日	商工会議所	20	小田原市議会正副議長と常任委員会正副委員長と正副会頭・部長との懇談会
第9回 9月14日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 街かど博物館認定委員会 委員 (追認) (2) 伊豆湘南道路シンポジウム実行委員会 監事 (追認) (協議事項) 第2号議案 箱根町長・副町長との懇談会の件 第3号議案 箱根町議会との懇談会の件 II. 報告事項 1. 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業補助金採択について 2. 事業承継マッチングプラットフォーム r e l a y 特設サイトについて 3. 副業人材活用事業 小田原市、みらいワークス (スキルシフト) との連携について 4. 第2回気候変動アワード結果について 5. 湘南ベルマーレフットサルクラブ 人材育成事業について 6. その他
9月25日	箱根町役場	7	箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会
第10回 9月28日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 箱根町総合計画審議会、まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員 第3号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件 第4号議案 会員表彰式被表彰者選考の件 第5号議案 副業人材活用事業 小田原市、みらいワークス (スキルシフト) との連携協定について 第6号議案 第50回景況調査結果の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更について 2. 会員親睦ゴルフ大会開催について 3. 第67回 (令和6年度) 関東商工会議所連合会総会について 4. 東京商工会議所 研修講座連携について

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			5. 新型コロナウイルス感染症に伴うマル経資金の取り扱いについて 6. 会員増強の進捗について 7. その他
10月10日	箱根町役場	10	箱根町議会正副議長と常任委員会委員長と正副会頭との懇談会
第11回 10月12日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 ECHOタスクフォース(仮称)設置の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) みかさんフォーラム実行委員会 委員 (2) 小田原市エリアブランディング構想策定事業に係る研究会メンバー、検討メンバー (協議事項) 第3号議案 小田原市長・副市長・政策監との懇談会の件 第4号議案 新年会員賀詞交歓会開催の件 II. 報告事項 1. 公的融資相談会報告について 2. 小田原箱根商工会議所DX委員会委員長、副委員長について 3. 親睦ゴルフ大会結果について 4. その他
第12回 10月26日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議員 小田原市民による富野由悠季氏顕彰事業への賛同の件 第3号議案 小田原市長・副市長・政策監との懇談会の件 (協議事項) 第4号議案 会員新年賀詞交歓会開催の件 第5号議案 今後の事業の件 (1) 令和5年度事業について (2) 令和6年度事業について II. 報告事項 1. 会員親睦ゴルフ大会結果について 2. 副業マッチングプラットフォーム「Skill Shift」掲載募集について 3. 小田原箱根大博覧会2023事業経過報告について 4. 令和5年度合同入社式同期会結果について 5. 副業人財活用事業 広報戦略プロジェクトについて 6. その他

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第13回 11月9日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件 II. 報告事項 1. 令和5年度秋の勲章受章について 2. 令和5年度上期事業評価について 3. 小田原市令和6年度予算・政策に関する要望の回答について 4. その他
第14回 11月22日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 臨時議員総会招集の件 (協議事項) 第3号議案 新年会員賀詞交歓会の件 II. 報告事項 1. 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情について 2. その他
第15回 12月14日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 正副会頭（部会長）との懇談会日程の件 (1) 牧島かれん衆議院議員との懇談会 (2) 小田原市長・副市長・政策監との懇談会 (3) 箱根町長・副町長との懇談会 第2号議案 令和6年度の事業の件 (1) 会員大会 (2) 通常議員総会 II. 報告事項 1. 令和6年の年始行事について 2. 令和5年度小田原政労使フォーラムについて 3. その他
12月20日	商工会議所	17	小田原市長・副市長と正副会頭との懇談会
第16回 1月5日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 関東商工会議所連合会長表彰「ベスト・アクション表彰」推薦の件 第2号議案 関東経済産業局長表彰推薦の件 (協議事項) 第3号議案 令和6年度会頭所信・スローガンの件 第4号議案 令和6年度会員大会の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			第 5 号議案 令和 6 年度スケジュールの件 II. 報告事項 1. 第 7 9 回小田原市主要商店街流動客調査結果（速報）について 2. その他
第17回 1 月 25 日	商工会議所	5	I. 議 案 （審議事項） 第 1 号議案 新会員承認の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 （1）小田原市民ホール指定候補者選定委員会委員 第 3 号議案 令和 6 年能登半島地震義援金（復旧・復興に係る特別会費）の件 第 4 号議案 令和 5 年度補正予算（案）承認の件 （1）一般会計 （2）会館管理特別会計 第 5 号議案 令和 6 年度会頭所信の件 （協議事項） 第 6 号議案 令和 6 年度重点施策の件 第 7 号議案 小田原箱根大博覧会 2 0 2 4 実行委員会の件 II. 報告事項 1. 議員事業所名変更について 2. ライオン㈱と連携した副業人材活用事業について 3. 第 7 9 回小田原市主要商店街流動客調査結果について 4. その他
第18回 2 月 8 日	商工会議所	4	I. 議 案 （審議事項） 第 1 号議案 小田原箱根大博覧会 2 0 2 4 実行委員会の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 （協議事項） 第 3 号議案 小田原市長・副市長・政策監と正副会頭・部会長との懇談会の件 第 4 号議案 箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会の件 第 5 号議案 令和 6 年度事業計画（案）の件
第19回 2 月 22 日	商工会議所	4	I. 議 案 （審議事項） 第 1 号議案 新会員承認の件 第 2 号議案 委員委嘱推薦の件 （1）酒匂川水系保全協議会 理事、監事 第 3 号議案 （特非）国際社会貢献センター（A B I C）との連携協力に関する協定の件 第 4 号議案 令和 6 年度部会予算配分の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			(協議事項) 第5号議案 令和6年度事業計画(案)の件 第6号議案 箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会の件 II. 報告事項 1. テクニカルショウヨコハマ2024出展について 2. その他
第20回 3月7日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 令和6年度事業計画(案)承認の件 第2号議案 令和6年度収支予算(案)承認の件 第3号議案 令和5年度借入限度額(案)承認の件 第4号議案 定款改訂の件 第5号議案 就業規則改訂の件 第6号議案 箱根町長・副町長との懇談会の件 II. 報告事項 1. 令和6年度スケジュールについて 2. その他
第21回 3月21日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件 II. 報告事項 1. 箱根町令和6年度予算・政策要望の回答について 2. 中小企業施策(最新)について 3. 小田原・箱根合同企業説明会について 4. 小田原箱根商工会議所の新人事制度について 5. その他
3月22日	商工会議所	22	小田原市長・副市長と正副会頭・部会長との懇談会
3月26日	箱根町役場	8	箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会

(3) 常議員会

▽第1回常議員会

1. 開催日時 令和5年4月27日(木) 13:30～14:45
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 21名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 (株)湘南ベルマーレフットサルクラブとの協定締結の件
5. 議事の概要 議案第1号～第2号は原案どおり承認された。

▽第2回常議員会

1. 開催日時 令和5年5月25日(木) 14:00～14:45
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 19名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件
第3号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第3回常議員会

1. 開催日時 令和5年6月8日(木) 14:00～15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 23名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 令和4年度事業報告承認の件
第2号議案 令和4年度収支決算承認の件
5. 議事の概要 議案第1号～第2号は原案どおり承認された。

▽第4回常議員会

1. 開催日時 令和5年6月22日(木) 15:00～15:30
2. 開催場所 ホテル南風荘・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 25名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認された。

▽第5回常議員会

1. 開催日時 令和5年7月27日(木) 14:00～15:30
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン

3. 出席者数 役員・議員 20名
4. 議 案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件
第3号議案 令和6年度神奈川県予算・政策に関する要望（個別要望）の件
第4号議案 令和6年度小田原市予算・政策に関する要望の件
第5号議案 令和6年度箱根町予算・政策に関する要望の件
5. 議事の概要 議案第1号～第5号は原案どおり承認された。

▽第6回常議員会

1. 開催日時 令和5年9月28日（木） 14:00～15:15
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 19名
4. 議 案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件
第3号議案 会員表彰式被表彰者選考の件
第4号議案 副業人材活用事業 小田原市、みらいワークス（スキルフト）との連携協定の件
5. 議事の概要 議案第1号～第4号は原案どおり承認された。

▽第7回常議員会

1. 開催日時 令和5年10月26日（木） 14:00～15:40
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 17名
4. 議 案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認された。

▽第8回常議員会

1. 開催日時 令和5年11月22日（水） 14:00～15:30
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 21名
4. 議 案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件（追認）
第3号議案 臨時議員総会招集の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第9回常議員会

1. 開催日時 令和6年1月25日（木） 15:00～15:50
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 22名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 令和6年能登半島地震義援金の件
第3号議案 令和5年度補正予算（案）の件
第4号議案 令和6年度会頭所信の件
【協議事項】
第5号議案 （特非）国際社会貢献センターとの連携協力に関する協定の件
5. 議事の概要 議案第1号～第4号は原案どおり承認された。
議案第5号は次回審議となった。

▽第10回常議員会

1. 開催日時 令和6年2月22日（木） 14:00～15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 20名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 （特非）国際社会貢献センター（A B I C）との連携協力に関する協定の件
第3号議案 令和6年度部会予算配分の件
【協議事項】
第4号議案 令和6年度事業計画（案）の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。
議案第4号は次回審議となった。

▽第11回常議員会

1. 開催日時 令和6年3月7日（木） 14:00～15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 21名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 令和6年度事業計画（案）の件
第2号議案 令和6年度収支予算（案）の件
第3号議案 令和6年度借入限度額（案）の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第12回常議員会

1. 開催日時 令和6年3月21日（木） 15:00～15:30
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 22名
4. 議 案 【審議事項】
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件
5. 議事の概要 議案第1号～第2号は原案どおり承認された。

(4) 監 事 会

1. 開催日時 令和5年6月2日（金） 15:25～16:50
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 特別会議室
3. 議 題 (1) 令和4年度一般会計及び特別会計監査執行の件
監事3名により令和4年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計及び諸特別会計について、諸帳簿、諸証拠書類に对照して精密に審査が進められ、正当と認められた。

(5) 箱根支部会議

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4/10	箱 根 D M O 戦 略 推 進 会 議	箱根町役場	17	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
5/26	箱 根 町 商 店 連 絡 協 議 会 正 副 会 長 会 議	箱 根 支 部	3	1. 令和4年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について 3. その他
6/12	箱 根 D M O 戦 略 推 進 会 議	箱根町役場	18	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
6/26	箱 根 町 商 店 連 絡 協 議 会 定 時 総 会	太 原	15	1. 令和4年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について 3. その他
7/11	箱 根 支 部 役 員 会	箱 根 支 部	14	1. (一財)箱根町観光協会 理事選任について 2. 県・町への要望の回答について 3. 箱根の今後について 4. その他
9/11	箱 根 D M O 戦 略 推 進 会 議	箱根町役場	15	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
9 / 26	ジオパーク特産品 開 発 委 員 会	箱 根 支 部	12	1. 認定特産品更新について 2. feel NIPPON 春2024出展について 3. 新たな特産品認定に伴う審査会 4. その他
11 / 16	箱 根 町 商 店 連 絡 協 議 会 正 副 会 長 会 議	箱 根 支 部	3	1. 視察会について 2. 役員会開催について 3. その他
12 / 11	箱 根 D M O 戦 略 推 進 会 議	箱根町役場	18	1. HOT21観光プラン パブリックコメント について 2. 箱根支部会員状況について 3. 情報共有
12 / 11	箱 根 町 商 店 連 絡 協 議 会 役 員 会	鮎 処 然 ～ZEN～	10	1. 視察会について 2. その他
12 / 25	箱 根 支 部 役 員 会	南 風 荘	14	1. HOT21観光プラン パブリックコメント について 2. 箱根支部会員状況について 3. 各種情報提供 （1）新年賀詞交歓会について （2）箱根支部事業報告 （3）各種支援策について 4. その他

(6) 部会会議

ア 商業部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 26	役 員 会	商工会議所 オンライン	17	1. 令和4年度会議・事業報告について 2. 令和4年度決算報告について 3. 令和5年度収支予算（案）について 4. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・ 政策に関する要望事項について 5. その他
5 / 17	監 事 会	商工会議所	2	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止 により事務局持ち回りにて実施】 令和4年度商業部会収支決算書等を監査
5 / 23	定 時 総 会	商工会議所 オンライン	24	1. 令和4年度会議・事業報告並びに収支 決算報告の件 2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支 予算（案）承認の件 3. その他

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7 / 6	会 員 委 員 会	商工会議所	4	1. 優良小売店舗表彰候補店について 2. 部会員親睦旅行会について 3. 役員視察会について 4. その他
7 / 6	役 員 会	商工会議所 オンライン	17	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. その他 小田原市の移住促進施策について小田原市 企画部企画政策課より説明
7 / 20	優良小売店舗表彰 審 査 会	商工会議所	5	以下7店舗の表彰を決定 ・一膳飯屋 八起 ・潮若丸 ・コスナサイクル ・みやま橋本呉服店 小田原店 ・I L B A C I O ・箱根甘酒茶屋 ・高杉商店
10 / 6	役 員 会	商工会議所 オンライン	15	1. 先進地視察研修会について 2. 役員忘年会について 3. 部会員新年会について 4. 商業部会 会議運営について 5. その他
12 / 15	役 員 会	ミナカ小田原 ス カ イ ダイニング	15	1. 部会員新年懇親会について 2. 部会員親睦事業について 3. その他
2 / 13	事 業 委 員 会	商工会議所	5	1. 令和6年度事業委員会事業計画（案） について 2. 定時総会講師選定について 3. 小田原箱根大博覧会について 4. その他
2 / 15	会 員 委 員 会	かまなり	5	1. 部会員新年懇親会の振り返りについて 2. 令和6年度会員委員会事業計画（案） について 3. その他
2 / 16	まちづくり委員会	商工会議所	5	1. 令和6年度まちづくり委員会事業計画 （案）について 2. その他
2 / 20	役 員 会	商工会議所 オンライン	9	1. 令和5年度会議・事業報告について 2. 令和6年度事業計画（案）について

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. 令和6年度定時総会・講演会の開催について 4. その他

イ 工業ものづくり部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 14	会 計 監 査	(有)新玉製作所	1	会計監査を実施
4 / 17	役 員 会	商工会議所	14	1. 定時総会打ち合わせについて 2. 県・市・町への要望について 3. その他
5 / 29	定 時 総 会	だるま料理店	26	1. 令和4年度事業報告並びに収支決算承認について（監査報告） 2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認について 3. 令和5年度役員構成（案）について 4. 部会運営規定改正について 5. その他
7 / 10	役 員 会	商工会議所	15	1. 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件 2. 神奈川県優良産業人表彰推薦の件 3. 講演会について 4. 年度内事業について 5. その他
11 / 29	テクニカルショウ ヨコハマ2024 共 同 出 展 事 前 打 ち 合 わ せ	商工会議所	5	1. テクニカルショウヨコハマ2024概要について 2. 出展者展示レイアウトについて 3. その他
2 / 15	役 員 会	商工会議所	17	1. 令和5年度事業進捗の件 2. 令和6年度事業計画（案）ならびに事業予算（案）について 3. 部会運営規定の改正について 4. 小田原・箱根大博覧会2024実行委員の選任について 5. 県・市・町への要望について 6. その他（確認事項）

ウ 観光飲食部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 15	役 員 会	料亭 門松	17	1. 令和4年度事業報告・決算について 2. 令和5年度事業計画（案）について 3. 定時総会について 4. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・政策に関する要望事項について 5. 令和5年度小田原箱根商工会議所優良小売店舗表彰推薦について 6. 小田原市・神奈川県従業員表彰について 7. 小田原箱根大博覧会2023について
6 / 19	定 時 総 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	35	1. 令和4年度事業報告・収支決算について 2. 令和5年度事業計画（案）・収支予算（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2023について
7 / 20	優良小売店舗表彰 審 査 会	商工会議所	5	以下7店舗の表彰を決定 ・一膳飯屋 八起 ・潮若丸 ・コスナサイクル ・みやま橋本呉服店 小田原店 ・I L B A C I O ・箱根甘酒茶屋 ・高杉商店
9 / 15	役 員 会	富士屋ホテル	18	1. 小田原箱根大博覧会進捗状況について 2. 高付加価値化補助金 採択について 3. その他
2 / 9	役 員 会	グリル木の実	16	1. 令和5年度事業遂行状況について 2. 令和6年度事業計画（案）検討について 3. その他

エ 建設・不動産部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 25	議 員 会 議	商工会議所 オンライン	6	1. 行政に対する要望について 2. 小田原市優良産業勤労者表彰ならびに神奈川県優良産業人表彰について 3. 部会規約について 4. その他
5 / 15	役 員 会	商工会議所	10	1. 令和5年度定時総会について 2. 県・市・町への要望について 3. 小田原箱根大博覧会について 4. その他

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6 / 15	定 時 総 会	だるま料理店	28	1. 令和4年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 令和5年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 3. 令和5年度役員構成(案)の件 4. 部会運営規約改正の件 5. その他
7 / 11	役 員 会	商工会議所	11	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 小田原箱根大博覧会2023のりもの・たてもの おしごとフェア開催について 4. 白糸川橋梁記念碑設置プロジェクトについて 5. 県下商工会議所不動産業議員交流会について
12 / 1	役 員 会	商工会議所	10	1. 県下商工会議所不動産業議員交流会経過報告について 2. 新年懇親会について
2 / 7	役 員 会	商工会議所	11	1. 令和5年度事業進捗ならびに令和6年度事業計画(案)について 2. 部会員親睦交流会について 3. 定時総会の日程について 4. 小田原箱根大博覧会2024について (1) 実行委員の推薦 (2) 部会企画について 5. 行政への要望について 6. 次回役員会の日程について 7. その他

オ 金融庶業部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 9	役 員 会	商工会議所 オンライン	15	1. 令和5年度事業について 2. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・政策に関する要望事項について 3. 小田原箱根大博覧会2023について 4. その他
6 / 15	定 時 総 会	商工会議所	38	1. 令和4年度事業報告承認の件 2. 令和5年度事業計画の件 3. その他

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7 / 7	役 員 会	商工会議所 オンライン	7	1. 小田原市優良産業勤労者表彰推薦について 2. 神奈川県優良産業人表彰推薦について 3. その他
11 / 13	役 員 会	商工会議所 オンライン	13	1. 新年懇談（新会員歓迎）会について 2. その他
2 / 9	正 副 部 会 長 会 議	商工会議所 オンライン	4	1. 令和5年度 金融庶業部会 会議・事業報告について 2. 令和6年度 金融庶業部会 会議・事業計画（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2024実行委員推薦について 4. その他

カ 交通運輸部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 12	正 副 部 会 長 会 議	商工会議所	5	1. 令和5年度事業実施方針について 2. 総会について 3. 視察研修会について 4. 行政（県・市・町）への要望について 5. その他
6 / 20	定 時 総 会 (はんだるクラブ合同)	だるま料理店	11	(部会議案) 1. 令和4年度会議・事業報告承認の件 2. 令和5年度事業計画承認の件 3. 行政への要望について 4. その他 (はんだるクラブ議案) 1. 令和4年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件 3. その他
10 / 3	役 員 会	商工会議所	8	1. 視察会について 2. 小田原市優良産業勤労者表彰について 3. 神奈川県優良産業人表彰について 4. 小田原箱根大博覧会2023事業について 5. その他
2 / 16	正 副 会 長 会 議	日本料理 四季亭	7	1. 令和5年度 交通運輸部会 会議・事業報告について

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				2. 令和6年度 交通運輸部会 会議・事業計画（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2024実行委員推薦について 4. 行政への要望について 5. その他

(7) その他の会議

ア 一般会議

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/22	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	8	1. 令和4年度年間行事实施状況について 2. 令和5年度年間行事予定について 3. その他
1/24	エ ネ ル ギ ー 等 公 民 連 携 懇 談 会	商工会議所	14	1. 脱炭素先行地域の計画について 2. 小田原市のエネルギー計画に関するアクションプランについて 3. その他
1/25	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	7	1. 西湘地区就職面接会について 2. ジョブスタディについて 3. 小田原箱根合同企業説明会について 4. その他

イ 小田原箱根大博覧会会議

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/9	第1回実行委員会	商工会議所 オンライン	10	1. 大博覧会2022事業報告、収支決算について 2. 大博覧会2023実行委員会副委員長の選出について 3. 大博覧会2023企画概要について 4. その他
6/27	第2回実行委員会	商工会議所 オンライン	10	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
7/18	第3回実行委員会	商工会議所 オンライン	8	1. 大博覧会事業企画（予算）について 2. その他
3/26	2023 第4回実行委員会 2024 第1回実行委員会 合同委員会	商工会議所 オンライン	14	1. 大博覧会2023事業報告、収支決算について 2. 大博覧会2024実行委員会副委員長の選出について 3. 大博覧会2024企画概要について 4. その他

(8) 委員会

ア 会員増強委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6 / 12	委 員 会	商工会議所	9	1. 副委員長選任について 2. 現在の会員状況について 3. 今後の会員増強活動について 4. その他
8 / 21	委 員 会	じんりき厨房 WABITO	6	1. 現在の会員状況について（報告） 2. 会員増強功労者表彰について 3. 今後の会員増強活動について 4. その他

イ 防災委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 24	委 員 会	おだわら 市 民 交 流 セ ン タ ー U M E C O	14	1. 副委員長選任について 2. 防災委員会事業報告について 3. 防災委員会事業計画について
7 / 21	企 業 の た め の 災 害 対 応 セ ミ ナ ー	商工会議所	38	「大型台風やゲリラ豪雨への対応・ 企業が準備しておくべき備え」 講師：藤田千晴氏
7 / 28	災害時支援協定締結 3 商 工 会 議 所 情 報 交 換 会	日 光 商 工 会 議 所 日光事務所	6	1. 「ともだちのまちネットワーク」に ついて 2. その他
11 / 14	正 副 委 員 長 会 議	商工会議所	3	1. 次回の委員会について 2. BCPについて 3. 「ともだちのまちネットワーク」に ついて
12 / 8	委 員 会	商工会議所	7	小田原市防災部防災対策課担当者から 「連携協定締結に際しての自治会からの要 望や締結する際の課題や問題点について」 1. 令和5年度防災委員会事業報告 2. 「ともだちのまちネットワーク」に ついて 3. 防災に関するアンケート項目の検討に ついて
2 / 29	第 1 回ともだちの まちネットワーク	商工会議所 鈴廣かまぼこ 報 徳 会 館	25	日光商工会議所・掛川商工会議所・小田原 箱根商工会議所の役職員（25名）が参加。 勉強会・交流会を実施。

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
3 / 1 ～31	災 害 時 に お け る 協 力 に 関 す る 会 員 向 け ア ン ケ ー ト 調 査	会 員 事 業 所	208	防災委員会より小田原市内会員事業所にアンケート調査を送信し、208事業所より回答を頂く。

ウ 地域経済循環委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7 / 4	委 員 会	商工会議所	9	1. 副委員長の選任について 2. 委員会の役割と進め方について 3. 地域経済好循環条例について

エ DX推進委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6 / 26	委 員 会	商工会議所 オンライン	11	1. 副委員長の選任について 2. 委員会の役割と進め方について 3. その他 小田原市のデジタル化によるまちづくりについて小田原市企画部より説明
9 / 22	委 員 会	商工会議所 オンライン	10	1. 今後の事業について 2. その他 小田原市の取り組むDXに関する具体的な動向について小田原市企画部デジタルイノベーション課より説明
2 / 15	委 員 会	商工会議所 オンライン	9	1. 副委員長の選任について 2. 令和5年度事業について 3. 令和6年度事業について 4. その他

(9) 創業・事業承継に関する会議・事業

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 11	起 業 ス ク ー ル 運 営 会 議	お だ わ ら イノベーション ラ ボ	8	おだわら起業スクールカリキュラムの打ち合わせ
5 / 27	起 業 ス ク ー ル 第 1 回	商工会議所	38	経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション
6 / 3	起 業 ス ク ー ル 第 2 回	商工会議所	39	マーケティング
6 / 17	起 業 ス ク ー ル 第 3 回	商工会議所	35	収支計画書の作成
7 / 1	起 業 ス ク ー ル 第 4 回	商工会議所	35	ビジネス展開
7 / 8	起 業 ス ク ー ル 第 5 回	商工会議所	33	ビジネス展開、個別相談
7 / 22	起 業 ス ク ー ル 第 6 回	A R U Y O O D A W A R A	33	ビジネスプランの発表会
9 / 2	個 別 相 談 会 ・ 卒 業 生 交 流 会	商工会議所	22	おだわら起業スクールの過年度も含めた卒業生を対象に、創業前後の課題解決のための個別相談会と交流会を実施
9 / 15	起 業 ス ク ー ル 運 営 会 議	お だ わ ら イノベーション ラ ボ	6	次年度おだわら起業スクールカリキュラムについて
11 / 15	小田原箱根事業承継 マ ッ チ ン グ 事 業 ～ 樺をつなぐ～連絡会	商工会議所	8	各提携機関の事業承継に関する取り組みの報告と今後の展開について情報交換
2 / 4	プレ創業セミナー	お だ わ ら イノベーション ラ ボ	10	創業に必要なマーケティング知識を得るため、講義とワークショップを行った。
3 / 18	起 業 ス ク ー ル 運 営 会 議	商工会議所	7	次年度カリキュラム内容について
3 / 25	小田原箱根事業承継 マ ッ チ ン グ 事 業 ～ 樺をつなぐ～連絡会	商工会議所	7	各提携機関の事業承継に関する取り組みの報告と今後の展開について情報交換

(10) リカレントスクール

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8 / 4	リカレントスクール 第 1 回	商工会議所	9	企業経営とは何かについて学ぶ

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8 / 25	リカレントスクール 第 2 回	商工会議所	8	自社を定性面・定量面から知る
9 / 15	リカレントスクール 第 3 回	商工会議所	9	自社の財務を理解し、数字の活かし方を学ぶ
9 / 29	リカレントスクール 第 4 回	商工会議所	6	経営戦略の立案の仕方について学ぶ
10 / 10	リカレントスクール 第 5 回	商工会議所	6	仕事の取組みの基本的なスキルについて学ぶ
10 / 24	リカレントスクール 第 6 回	商工会議所	6	長期経営計画の立て方（１）
11 / 7	リカレントスクール 第 7 回	商工会議所	5	長期経営計画の立て方（２）
11 / 21	リカレントスクール 第 8 回	商工会議所	8	長期経営計画の発表
2 / 22	リカレントスクール アフターフォロー 懇 談 会	商工会議所	9	長期経営計画策定後の近況報告と交流

(1) タスクフォース

ア 気候変動

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 20	委 員 会	商工会議所 オンライン	6	1. 事業開始にあたって 2. 本年度の取組について 3. その他
5 / 22	情 報 交 換 会	田 む ら 銀 か つ 亭	10	1. 本年度募集について 2. その他
6 / 28	委 員 会	商工会議所 オンライン	4	1. 顕彰事業について 2. その他
8 / 28	委 員 会	商工会議所 オンライン	8	1. 顕彰事業について 2. その他
10 / 25	顕 彰 事 業 表 彰	湯本富士屋 ホ テ ル	270	会員表彰式内で顕彰事業（第２回小田原箱根気候変動アワード）の表彰を行った。
1 / 15	情 報 交 換 会	豊 陣	19	（一社）SWiTCHより佐座氏、小河氏を招き 情報交換・意見交換を行った。

イ スポーツによるまちづくり

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
10/30	委 員 会	商工会議所	10	1. タスクフォースの方針について（委員長所信） 2. ベルマーレフットサルクラブとの包括連携協定における事業について 3. その他
12/8	委 員 会	おだわらいノバージョン ラ ボ オンライン	6	1. スポーツコミッションについて 2. 参加者からの情報発信 3. その他

ウ ECHO

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
10/18	委 員 会	商工会議所	5	1. タスクフォース委員長選任について 2. タスクフォース名称について 3. タスクフォース事業について 4. 情報交換 5. その他
12/5	委 員 会	商工会議所	6	1. 小田原市気候変動対策推進計画に関するアクションプランについて 2. ECHOタスクフォースに不足するリソースについて 3. 会員事業所への啓発方法について 4. その他
1/24	委 員 会	商工会議所	5	1. 脱炭素先行地域の計画について 2. 小田原市のエネルギー計画に関するアクションプランについて 3. その他

(12) 省エネお助け隊に関する会議・事業

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 月	省 エ ネ 診 断 事 業	—	—	省エネ診断・支援実績 9 社

(13) 副業人材（人財）活用事業

ア 広報戦略プロジェクト

プロデューサー 金澤達也氏

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4/13	第 1 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・今年度の活動方針について
5/8	第 2 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・昨年度と今年度の取り組み内容について ・レクチャー

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 22	第 3 回 打ち合わせ	商工会議所	4	・今年度の目的について ・今年度の活動方針 ・その他確認事項
5 / 31	第 4 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・今年度のK G I、K P I の設定
6 / 9	第 5 回 打ち合わせ	商工会議所	4	・今年度のK G I、K P I の設定 ・役割や今後の進め方について ・ネタ進行管理表の今年度活用方法 ・タスクの見直し ・その他確認事項
6 / 15	第 6 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・今年度のK P I 見直し ・ネタ進行管理表の運用について ・新規タスクの設定 ・各自宿題の進捗、編集会議にあたり ネタの集め方など
6 / 23	第 7 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・編集会議 ・編集会議振り返り、タスク表調整
6 / 28	第 8 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・編集会議の振り返り ・ネタ進行管理表の運用について ・情報の一元化について ・次回の編集会議に向けて、宿題の進捗
7 / 6	第 9 回 打ち合わせ	商工会議所	3	・今年度のK G I、K P I 設定 ・今年度の運用内容 ・その他確認事項
7 / 13	第10回 打ち合わせ	商工会議所	4	・アクセス解析等、各業務のO J T ・ネタ進行管理表の運用について ・タスクの確認 ・キックオフ、全員広報に向けて
7 / 19	第11回 打ち合わせ	商工会議所	6	・編集会議 ・振り返り ・HP分科会
7 / 26	第12回 打ち合わせ	商工会議所	4	・各業務のO J T ・ネタ進行管理表の進捗確認 ・タスクの進捗確認 ・編集会議の振り返り ・キックオフ、全員広報に向けて
8 / 2	第13回 打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、 タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・シフトテックとの打ち合わせ内容の フィードバック

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				・会議所広報としての全体的な広報戦略・理念について ・キックオフ、全員広報に向けて ・その他確認事項
8 / 7	第14回打ち合わせ	商工会議所	4	・HP改修分科会 ・商工通信分科会 ・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・キックオフ、全員広報に向けて ・その他確認事項
8 / 14	第15回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP改修、商工通信分科会内容の全体共有 ・メールマガジン改修について ・キックオフ、全員広報に向けて ・その他確認事項
8 / 25	第16回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP改修、商工通信改修、メールマガジン改修の進捗確認 ・編集会議
8 / 30	第17回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP改修、メールマガジン改修の進捗確認 ・編集会議の振り返り ・キックオフ、全員広報用資料内容のプレスト ・その他確認事項
9 / 6	第18回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP、メールマガジン、商工通信改修の進捗確認 ・編集会議の振り返り ・キックオフ、全員広報用資料内容の

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				ブレスト ・その他確認事項
9 / 15	第19回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP、メールマガジン、商工通信改修の進捗確認 ・インスタグラムアカウントについて ・キックオフ、全員広報用資料内容のブレスト ・その他確認事項
9 / 20	第20回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・キックオフ、全員広報に向けての資料作成、ブレスト ・その他確認事項 ・HP、メールマガジン改修の分科会
9 / 26	第21回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP、メールマガジン改修の進捗確認 ・キックオフ、全員広報に向けての資料作成、ブレスト ・その他確認事項 ・編集会議
10 / 16	第22回打ち合わせ	商工会議所	4	・目標数値、アクセス解析（HP・SNS）、タスク表の進捗確認 ・ネタ進行管理、情報の一元化の進捗確認 ・HP、メールマガジン改修の進捗確認 ・キックオフ、全員広報に向けての資料作成、ブレスト ・その他確認事項
10 / 10	第23回打ち合わせ	商工会議所	4	・会頭、専務理事、事務局長へ事前プレゼン ・事前プレゼンの振り返り ・キックオフ資料の確認
10 / 16	第24回打ち合わせ	オンライン	4	・事前プレゼン内容の反映確認 ・キックオフ資料最終確認 ・キックオフ当日のタイムスケジュールや準備

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				・ トーン&マナー、マニュアル確認
10/18	第 2 5 回打ち合わせ	商工会議所	4	・ 事前確認 ・ キックオフプレゼン参加 ・ キックオフ後のスケジュールについて
10/27	第 2 6 回打ち合わせ	商工会議所	4	・ キックオフの振り返り ・ 今後の方向性について ・ 残タスク整理 ・ 分科会進捗確認
11/7	第 2 7 回打ち合わせ	商工会議所	4	・ キックオフの振り返り事項の確認 ・ 自走に向けてのタスク等進捗確認 ・ 残タスク、H P 修正内容確認
12/19	第 2 8 回打ち合わせ	商工会議所	4	・ キックオフの振り返り事項の確認 ・ 自走に向けてのタスク等進捗確認 ・ 会議所や体制の役割や職務分掌について

イ 人事制度改革プロジェクト

プロデューサー 木村亮氏

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6/5	第 1 回 打 合 せ	商工会議所	3	・ ゴールとスケジュールの確認 ・ 小田原箱根商工会議所の目的、役割、体制等の確認 ・ 現行人事制度（評価制度）の確認
6/29	第 2 回 打 合 せ	商工会議所	3	・ 小田原箱根商工会議所の目的、役割、体制等の確認 ・ 現行人事制度（評価制度、教育制度、報酬制度）の確認 ・ スケジュールと今後の進め方確認 ・ 職員面談設定
7/12	第 3 回 打 合 せ	商工会議所	7	・ 現状と課題のヒアリング、理想の状態について ・ 職員面談
7/20	第 4 回 打 合 せ	商工会議所	7	・ 現状と課題のヒアリング、理想の状態について ・ 職員面談
8/3	第 5 回 打 合 せ	商工会議所	7	・ 現状と課題のヒアリング、理想の状態について ・ 職員面談
8/28	第 6 回 打 合 せ	商工会議所	5	・ 職員面談 ・ 職員ヒアリングの振り返りと今後の進め方、スケジュールについて

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
9 / 6	第 7 回 打 合 せ	商工会議所	3	・ヒアリング結果総括の報告と議論、現状制度の詳細確認
9 / 20	第 8 回 打 合 せ	商工会議所	3	・現状分析の報告と今後の進め方について議論、管理職対象ワークショップの提案
10 / 2	第 9 回 打 合 せ	商工会議所	4	・鈴木会頭への中間活動報告
10 / 18	第 1 0 回 打 合 せ	商工会議所	3	・現状分析サマリーレポートの一部更新 管理職対象ワークショップの詳細検討
10 / 31	第 1 1 回 打 合 せ	商工会議所	7	・管理職対象ワークショップ 「理想の商工会議所・人財像・組織像」
11 / 2	第 1 2 回 打 合 せ	商工会議所	3	・管理職対象ワークショップの概要共有と 職員の考える「商工会議所の理想の姿」 の言語化
11 / 16	第 1 3 回 打 合 せ	商工会議所	3	・理想の姿についての議論と会頭への第二 回中間報告準備
12 / 12	第 1 4 回 打 合 せ	商工会議所	3	・目指す「商工会議所の理想の姿」の言語 化の整理と会頭への第二回中間報告準備
12 / 26	第 1 5 回 打 合 せ	商工会議所	4	・現状整理と理想の姿の言語化の整理と、 会頭への第二回中間報告準備 ・会頭への第二回中間報告
1 / 11	第 1 6 回 打 合 せ	商工会議所	3	・現状整理、理想の姿の言語化を踏まえた、 今後の進め方について議論 ・ワークショップの進め方検討
1 / 30	第 1 7 回 打 合 せ	商工会議所	3	・新人事制度の具体的な運用方法について、 ツール案を用いながら議論
2 / 1	第 1 8 回 打 合 せ	商工会議所	14	・一般職員・係長対象VALUEワークショップ ・管理職対象VALUEワークショップ
2 / 14	第 1 9 回 打 合 せ	商工会議所	5	・VALUEワークショップ後の整理、新人事 制度運用ツールについての議論
2 / 21	第 2 0 回 打 合 せ	商工会議所	5	・VALUEの表現、新人事制度運用ツールの ブラッシュアップ、正副会頭会議説明資 料の確認
2 / 27	第 2 1 回 打 合 せ	商工会議所	4	・VALUEの表現最終化、新人事制度運用 ツールのブラッシュアップ、正副会頭会 議説明資料の確認 ・会頭へ第三回中間報告
3 / 13	第 2 2 回 打 合 せ	商工会議所	5	・新人事制度運用ツールについて議論 管理職説明会準備、正副会頭会議準備
3 / 25	第 2 3 回 打 合 せ	商工会議所	7	・管理職対象説明会とディスカッション

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
3／28	第 2 4 回 打 合 せ	商工会議所	3	・管理職説明会の振り返り、職員説明会の進め方、次年度の運用スケジュールと課題について議論

ウ 美食のまち

プロデューサー 藤本千穂氏

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8／9	第 1 回 打 合 せ	商工会議所	6	「美食のまち小田原推進事業」の今後について、副業人材アドバイザーと小田原市・商工会議所にて意見交換を行った。
8／25	第 2 回 美食のまち プロジェクトメンバー 打 ち 合 わ せ	小 田 原 市 生 涯 学 習 セ ン タ ー け や き	15	小田原市の農水産物を食し、食材を理解しどのように活用・プロデュースすることで、価値が生まれるか検討を行った。
9／21	第 3 回 美食のまち プロジェクトメンバー 打 ち 合 わ せ	小 田 原 市 役 所	14	1. キャッチフレーズについて 2. プロジェクト全体の整理・共有 3. 日本一の朝食について
11／8	第 4 回 美食のまち プロジェクトメンバー 打 ち 合 わ せ	小 田 原 市 生 涯 学 習 セ ン タ ー け や き	12	1. 市民サポーターについて 2. ロゴマークについて 3. インスタグラムの運用について 4. 日本一の朝食について
12／25	第 2 回 打 合 せ	商工会議所	8	「美食のまち小田原推進事業」の今後について、副業人材アドバイザーと商工会議所等にて意見交換を行った。
1／10	美食のまちおだわら 推進計画策定チーム	商工会議所	15	「美食のまち小田原推進事業」の今後について、小田原市・民間事業者・副業人材アドバイザーと商工会議所等にて意見交換を行った。
1／26	美食のまちおだわら 推進計画策定チーム	商工会議所	14	1. 美食のまち小田原推進計画について 2. 美食のまち小田原推進協議会プロジェクトチームについて 3. 2028年以降（計画終了後）の運営体制について
2／7	美食のまちおだわら 推進計画策定チーム	小 田 原 市 役 所	14	1. 2月6日美食のまち小田原推進協議会開催報告 2. 美食のまち小田原推進計画について 3. その他
2／19	美食のまちおだわら 推進計画策定チーム	商工会議所	15	1. 美食のまち小田原推進計画について 2. 施策体系について 3. 今後の推進体制について 4. その他

エ デジタルマーケティング戦略プロジェクト

プロデューサー 山本修平氏

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
1 / 9	第 1 回 打 合 せ	オンライン	8	・進め方の合意 ・既存システム面事前確認準備
1 / 22	第 2 回 打 合 せ	オンライン	8	・効果的なDMシナリオの特定
2 / 5	第 3 回 打 合 せ	イノベーション ラ ボ	4	・システム面の評価 ・サンネット㈱との打合せ
2 / 27	第 4 回 打 合 せ	オンライン	8	・会頭中間報告 ・実現できるシナリオの特定
3 / 11	第 5 回 打 合 せ	オンライン	7	・新システム（代替案）の机上検討と評価
3 / 25	第 6 回 打 合 せ	オンライン	7	・実現手段の机上評価の見直し ・ラフスケジュール案の作成 ・ユースケースの深堀

(14) 教育旅行に関する会議・事業

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
3 / 25	西さがみ教育旅行 誘致推進協議会	箱 根 支 部	12	1. 事業報告（令和3年度以降） 2. 収支決算報告・監査報告（令和3年度以降） 3. 今後の西さがみ教育旅行誘致推進協議会活動について

6. 事業

(1) 各種事業活動

ア 一般事業

月 日	事業名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 5	合 同 入 社 式	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	107	1. 入社式 2. 新入社員セミナー
5 / 18	会 員 大 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	132	1. 会頭所信と活動計画の発表 2. 令和5年度重点施策の実現に向けて (1)「小田原市地域経済振興戦略ビジョン」と「小田原市地域経済好循環推進条例」について 説明者：小田原市経済部長 武井好博氏 (2)「小田原箱根事業承継マッチング事業～襷をつなぐ～ オープンネーム事業承継マッチングプラットフォームとの連携について」 説明者：小田原箱根商工会議所 経営支援部長 井上 経 (3)「湘南ベルマーレフットサルクラブとの連携について」 説明者：株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ 代表取締役社長 佐藤伸也氏 説明者：小田原箱根商工会議所 会頭 鈴木悌介 3. 湘南ベルマーレフットサルクラブとの包括連携協定の締結 4. 会員交流会
5 / 19	就 職 情 報 交 換 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	—	参加学校10校、参加事業所22社
5 / 22 ～ 6 / 22	会 員 満 足 度 調 査 ア ン ケ ー ト	会員事業所	—	会員事業所向けに会員満足度調査アンケートを実施
6 / 13	合 同 企 業 説 明 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	27	会員事業所36社が参加
7 / 2	保 護 者 の た め の 就 活 セ ミ ナ ー	おだわら 市民交流 センター UMECO	20	テーマ：若者世代の就職活動について 講 師：㈱リクルート就職みらい研究所 主任研究員 杉村希世子氏

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
7 / 3 ～ 7 / 31	企 業 従 事 者 健 康 診 断	小 田 原 卸 商業団地・ 仙石原文化 セ ン タ ー	641	企業従事者労働安全衛生規則法定検診及び 特別検診
7 / 8 ～ 10 / 31	企 業 従 事 者 健 康 診 断	小田原箱根 健 診 クリニック	386	企業従事者労働安全衛生規則法定検診及び 特別検診
8 / 26	第 5 9 回 小 田 原 珠 算 競 技 大 会	商工会議所	41	第 5 9 回小田原珠算競技大会を開催。
10 / 4	労 働 講 座	お だ わ ら 市 民 交 流 セ ン タ ー U M E C O	23	テーマ：「今、知っておきたい労務の知識」 講 師：大谷真氏（社会保険労務士）
10 / 5	会 員 親 睦 チャリティー ゴルフコンペ	小田原湯本 カントリー 倶 楽 部	59	優勝 阿部正弘（株阿部製作所） 2 位 坂 東 憲（株柴橋商会） 3 位 峠 千秋（株峠製作所） 湘南ベルマーレフットサルクラブとの連携 事業。参加者からチャリティーを募り、湘 南ベルマーレフットサルクラブの観戦チ ケットやグッズなどをゆりかご園に寄贈し た。
10 / 18	合同入社式同期会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	29	1. フォローアップ研修 2. 交流会
10 / 25	会 員 表 彰 式	湯本富士屋 ホ テ ル	270	1. 会員表彰式 優良従業員表彰 53事業所270名 優良産業人表彰 3名 優良小売店舗表彰 7店 会員増強功労者表彰 4名 功労役員・議員特別表彰 1名 2. 祝賀会・抽選会
1 / 9	新 年 会 員 賀 詞 交 歓 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	266	会員の招福と賀詞交歓会
1 / 25	議 員 例 会	商工会議所	43	テーマ：「副業人材の活用について」 講 師：(株)みらいワークス 代表取締役社長 岡本祥治氏
1 / 25	議 員 新 年 会	だるま料理店	30	

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
2 / 15	政労使フォーラム	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	60	テーマ：「副業・兼業がもたらす新しい働き方」 講 師：成蹊大学 法学部 教授 原昌登氏
2 / 20 ～21	西湘地区就職面接会	ハローワーク 小 田 原	37	16社が参加
2 / 29	第1回ともだちのまち ネ ッ ト ワ ー ク	商工会議所 鈴廣かまぼこ 報 徳 会 館	25	日光商工会議所・掛川商工会議所・小田原箱根商工会議所の役職員（25名）が参加。 勉強会・交流会を実施。
3 / 8	合 同 企 業 説 明 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	39	会員事業所35社が参加
3 / 12	ジョブスタディ	おだわら 市 民 交 流 セ ン タ ー U M E C O	68	市内高校2年生を対象に採用担当者からの アドバイスの第1部と、企業人事担当者との 交流会を開催。

イ 小田原箱根大博覧会事業

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
8 / 17 23・29	ものづくり体験教室	商工会議所	15	工業ものづくり部会の企画により、伝統工芸と現代ものづくりのなりわいを知っていただくため、3コースの体験教室を実施した。 ①木工作体験&木はどこで使われる？館内ツアー（協力：小田原林青会） ②寄木コースターづくり体験（協力：(株)露木木工所） ③はじめての金属工作～オリジナル・クリップを作ろう～（協力：(有)川田製作所）
9 / 8	箱根リゾートカップ ゴルフ女子コンペ	箱 根 湖 畔 ゴ ル フ コ ー ス	—	【荒天のため中止】 観光飲食部会の企画により、ゴルフ女子をターゲットとしてゴルフを通じて箱根のゴルフ場をPR、並びに箱根への再来訪を促進
9 / 19 ～ 12 / 17	な り わ い 体 験	市内・町内 各 所	177	産業の紹介（仕事の説明・事業所見学等）と体験を組み合わせることにより、来街者と地元住民へ小田原箱根の産業のPRをし、産業観光の振興にもつなげることを目的に実施した。

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
10／14	箱 根 ネ イ チャー フ ェ ス タ	箱 根 園	約500	観光飲食部会の企画により、芦ノ湖を望む ロケーションに包まれて、来場するすべ ての人たちが、箱根の自然の素晴らしさを心 と体で感じながら楽しめるアウトドアイベ ントとして開催した。
10／15	小 田 原 の 歴 史 ・ な り わ い ・ 伝 統 継 承 ツ アー	市 内 各 所	50	青年部の企画により、市内の事業所をバス で周り、子供たちに地域の産業を体験でき る場を提供した。
10／24	講 演 会 (北条氏誕生500年 と小田原の発展)	商工会議所	32	女性会の企画により、令和5年は小田原北 条氏が誕生して500年という節目の年であ ることから、北条氏五代の歴史とその後の 小田原の発展についての解説と講演を実施。
11／14	事 業 者 向 け 経 営 相 談 会	商工会議所	18	金融庶業部会の企画により、9士業（弁護 士、社会保険労務士、税理士、行政書士、 土地家屋調査士、宅地建物取引士、不動産 鑑定士、中小企業診断士、司法書士）によ る事業所向け無料経営相談会を実施。
11／18	まちづくり・のりもの おしごとフェア	ダイナシティ ウェスト広場	約1,000	建設・不動産部会、交通運輸部会の企画に より、建設重機の試乗体験、地域交通運輸 業者の「働くのりもの」や警察車両等の 「安全なのりもの」の展示・試乗体験、企 画ブースの展開等により、建設業、不動産 業や交通運輸業のなりわいを周知するとと もに、将来の担い手である子供たちに各業 界と触れ合う機会を提供した。
11／28 ・30	箱根宮ノ下商店会 さんぽツアー	宮ノ下周辺	46	観光飲食部会、商業部会の企画により、地 域性を活かした「箱根ならではの」をテー マに、宮ノ下商店会と連携して食と宿にス ポットライトを当てる内容で実施した。
12／7 ・12	小 田 原 な り わ い ま ち 歩 き ツ アー	板橋・南町 周 辺	42	観光飲食部会、商業部会の企画により、地 域性を活かした「小田原ならではの」の歴 史的資源・観光資源を対外的に発信し、地 域の方々と参加者との交流を図り、再来訪 してもらう仕組み、ツアー内で経済効果を生 み出す仕組みについてテストマーケティング となるモニターツアーとして意味合いも 持たせて事業を行った。
12／8	箱 根 頂 上 決 戦 ゴ ル フ 大 会	箱 根 カントリー 倶 楽 部	23	観光飲食部会の企画により、ゴルフ女子を ターゲットとした企画に加えて、県内商工 会議所青年部・マスター会を中心に箱根頂

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				上決戦と題し、ゴルフ大会を開催。箱根のゴルフ場をPR、並びに箱根への再来訪を促進した。
12／9	箱 根 E X P O ～ ド ラ イ ブ イ ン シ ア タ ー & な り わ い 体 験 パ ー ク ～	箱根町社会 福祉協議会	266	青年部の企画により、箱根町社会福祉協議会（旧箱根町立湯本中学校）のグラウンドを利用し、なりわいの体験とドライブインシアターを組み合わせ子どもたちに地域の産業を体験できる場を提供した。
12／12 ～ 1／31	金 時 山 ス タ ンプ ラ リ ー	仙石原地区	発行枚数 5,000枚	観光飲食部会の企画により、仙石原商店街の店舗をめぐり、観光資源や事業者のPRをした。 仙石原商店会・仙石原飲食店組合・仙石原金時飲食店組合にて実施した。

ウ 箱根支部事業

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
4／20	商店個別巡回指導	湯本地区	10	商店を個別に巡回指導
5／30	商店個別巡回指導	強羅地区	10	商店を個別に巡回指導
6／6	公的融資相談会	箱根支部	8	日本政策金融公庫・神奈川県信用保証協会による融資相談会を開催
7／31	商店個別巡回指導	芦ノ湖地区	7	商店を個別に巡回指導
9／6	公的融資相談会	箱根支部	12	日本政策金融公庫・神奈川県信用保証協会による融資相談会を開催
9／22	商店個別巡回指導	湯本地区	12	商店を個別に巡回指導
10／2	Googleビジネス プロフィール 登録・活用セミナー	箱根町役場	12	箱根DMOと共催。Googleビジネスプロフィールの登録方法や活用方法について説明
10／27	商店個別巡回指導	仙石原地区	8	商店を個別に巡回指導
11／27	商店個別巡回指導	宮ノ下地区	10	商店を個別に巡回指導
12／11	商店個別巡回指導	強羅地区	8	商店を個別に巡回指導
2／6 ～8	Feel NIPPON 2024春	東京ビッグ サイト	2	東京ビッグサイトにて、箱根ジオパーク特産品をPR
2／9	外国人材雇用促進の ためのマッチング会 in HAKONE	湯本富士屋 ホテル	62	第1部 海外人材への理解を深める 講 師：株式会社一の湯 小川尊也氏 第2部 宿泊業における特定技能の活用 講 師：株式会社DMC天童温泉 山口敦史氏 第3部 登録支援機関とのマッチング会
3／18	商店個別巡回指導	芦ノ湖地区	10	商店を個別に巡回指導

エ 部会事業

(ア)商業部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
5 / 23	講 演 会	商工会議所 オンライン	20	テーマ：経営に活かす！ヒット商品とサービスの教え 講 師：商品ジャーナリスト 北村森氏
11 / 1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	8	部会推薦により8名受賞 志村正道（小田原中央青果㈱） 渡辺浩司（㈱小田原魚市場） 府川桂子（㈱小田原魚市場） 土屋光秀（㈱古川） 飯塚泰久（スズヒロシーフーズ㈱） 川口好一（㈱小田原百貨店） 府川トヨ子（資マルク洋服店） 大森郁枝（㈱花政）
11 / 24	神 奈 川 県 優 良 小 売 店 舗 表 彰 式	神奈川県庁	2	2店舗受賞 コスナサイクル 箱根甘酒茶屋
11 / 28 ・ 30	小田原箱根大博覧会 箱根宮ノ下商店会 さんぽツアー	宮ノ下周辺	46	観光飲食部会、商業部会の企画により、「箱根ならではの」をテーマに、宮ノ下商店会と連携して食と宿にスポットライトを当てる内容で実施した。
11 / 30 ～ 12 / 1	役 員 先 進 地 視 察 研 修 会	愛 知 県 豊 川 方 面	9	地元ブランドショップ「豊穰屋」 千歳通商店街 等を視察
12 / 7 ・ 12	小田原箱根大博覧会 小田原なりわい まち歩きツアー	板橋・南町 周 辺	42	観光飲食部会、商業部会の企画により、地域性を活かした「小田原ならではの」の歴史的資源・観光資源を対外的に発信し、地域の方々と参加者との交流を図り、再来訪してもらう仕組み、ツアー内で経済効果を生み出す仕組みについてテストマーケティングとなるモニターツアーとして意味合いも持たせて事業を行った。
12 / 9	小 田 原 市 主 要 商店街流動客調査	小 田 原 駅 周 辺 各 所	—	小田原駅周辺各所に12時～18時で流動客調査を実施
1 / 31	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	神奈川県立 音 楽 堂	2	部会推薦により2名受賞 林真理子（㈱小田原百貨店） 木山真弓（㈱小田原魚市場）
2 / 2	部 会 員 新 年 懇 親 会	商工会議所	52	部会員新年懇親会を開催 マジシャン「Mr. トモック」によるマジックショー、福引き抽選を実施

(イ)工業ものづくり部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
8 / 17	小田原箱根大博覧会 「ものづくり 体験教室」	商工会議所	3	木工作体験&木はどこで使われる?館内ツアーを小田原林青会協力により開催
8 / 23	小田原箱根大博覧会 「ものづくり 体験教室」	商工会議所	8	寄木コースターづくり体験を(株)露木木工所協力により開催。
8 / 29	小田原箱根大博覧会 「ものづくり 体験教室」	商工会議所	4	金属加工を学ぶオリジナルクリップ作り体験を(有)川田製作所協力により開催
9 / 5	ものづくりの仕事の しくみと生産性向上 セミナー	商工会議所	8	ポリテクセンター関東との共催セミナーを開催
9 / 25	見える D X 推進 セミナー	商工会議所	30	演 題:旭鉄工の D X と儲かるカーボン ニュートラル 講 師:旭鉄工(株) 代表取締役社長 木村哲也氏
11 / 1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	11	部会推薦により11名表彰 廣瀬恵子 (Meiji Seikaファルマテック(株)) 上原栄成 (ライオン(株)小田原工場) 鷺津 透 (ライオン(株)小田原工場) 石川桂子 (花王(株)小田原事業場) 川口尚美 (株)古川) 廣石仁志 (株)鈴廣蒲鉾本店) 鍵和田浩 (極東精機(株)) 川瀬圭司 (小田原ガス(株)) 津田博一 (相日防災(株)) 野口雅紀 (第一三共ケミカルファーマ(株) 小田原工場) 山本 仁 (株)山本産業)
12 / 6	忘 年 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	35	会員相互の親睦を図る忘年会を開催
1 月	ものづくり企業 ガイド発行	—	500部	ビジネスマッチングに寄与することを目的 に当所会員の中小企業の技術紹介を行うガ イドブックを発行
1 / 31	神 奈 川 県 優良産業人表彰	神奈川県立 音 楽 堂	2	部会推薦により2名受賞 高槻 勲 (ライオン(株)小田原工場) 大川 肇 (大川木工所)

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
2 / 7 ～ 9	テクニカルショウ ヨコハマ 2024 共 同 出 展	パシフィコ 横 浜	7 社	共同出展を行い、管内製造業のPRを行った。
2 / 26	管 内 視 察 研 修 会	㈱グッドファーム 日本インジェクタ㈱	6	障害者等の農業分野における活躍を通し、社会参画を促す「農福連携」や「地産地消」に注目し、障害者の持続的な就労の場の確保や、共生社会の実現などを目指し(有)川田製作所が設立した「㈱グッドファーム」と、高度に自動化された組立ラインと、専用加工機による高精度の内径研磨機や溶接機による部品加工設備を用いて、ガソリンエンジンの主要部品であるインジェクタを製造している「日本インジェクタ㈱」を視察。

(ウ)観光飲食部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
9 / 8	小田原箱根大博覧会 箱根リゾートカップ ゴルフ女子コンペ	箱 根 湖 畔 ゴルフコース	—	【荒天のため中止】 ゴルフ女子をターゲットとしてゴルフを通じて箱根のゴルフ場をPR、並びに箱根への再来訪を促進
9 / 15	視 察 会	富士屋ホテル	18	改修工事後のリニューアルした宮ノ下富士屋ホテルを見学
10 / 14	小田原箱根大博覧会 箱 根 ネ イ チ ャ ー フ ェ ス タ	箱 根 園	約500	芦ノ湖を望むロケーションに包まれて、来場するすべての人たちが、箱根の自然の素晴らしさを心と体で感じながら楽しめるアウトドアイベントとして開催した。
11 / 1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	4	部会推薦により4名受賞 田村 元（鈴廣かまぼこ㈱） 山田幸弘（㈱しいの食品） 志村益男（㈱東華軒） 高梨佳枝（(有)だるま料理店）
11 / 28 ・ 30	小田原箱根大博覧会 箱根宮ノ下商店会 さんぽツアー	宮ノ下周辺	46	観光飲食部会、商業部会の企画により、地域性を活かした「箱根ならではの」をテーマに、宮ノ下商店会と連携して食と宿にスポットライトを当てる内容で実施した。
12 / 7 ・ 12	小田原箱根大博覧会 小田原なりわい まち歩きツアー	板橋・南町 周 辺	42	観光飲食部会、商業部会の企画により、地域性を活かした「小田原ならではの」の歴史的資源・観光資源を対外的に発信し、地域

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				の方々と参加者との交流を図り、再来訪してもらう仕組み、ツアー内で経済効果を生み出す仕組みについてテストマーケティングとなるモニターツアーとして意味合いも持たせて事業を行った。
12／9	小田原箱根大博覧会 ゴ ル フ 大 会 箱 根 頂 上 決 戦	箱 根 カントリー 倶 楽 部	23	ゴルフ女子をターゲットとした企画に加えて、県内商工会議所青年部・マスター会を中心に箱根頂上決戦と題し、ゴルフ大会を開催。箱根のゴルフ場をPR、並びに箱根への再来訪を促進した。
12／12 ～ 1／31	小田原箱根大博覧会 金 時 山 ス タ ンプ ラ リ ー	仙石原地区	発行枚数 5,000枚	仙石原商店街の店舗をめぐり、観光資源や事業者のPRをした。 仙石原商店会・仙石原飲食店組合・仙石原金時飲食店組合にて実施した。
1／31	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	神奈川県立 音 楽 堂	1	部会推薦により1名受賞 今野勝則（㈲ちゃいなハウス）

(エ)建設・不動産部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
4／21	親 睦 ゴ ル フ 大 会	大 箱 根 カントリー ク ラ ブ	16	1 位 小田善三（㈱ゆうシステム） 2 位 北村純平（太陽建機レンタル㈱小田原支店） 3 位 鈴木達之（司建設㈱）
8／5	部 会 員 親 睦 花 火 鑑 賞 会	酒 匂 川 ス ポ ー ツ 広 場	41	酒匂川花火大会の鑑賞会を開催
9／1	白糸川橋梁 記念碑 設置プロジェクト	白糸川橋梁 付 近	1	白糸川橋梁記念碑設置実行委員会に参画。 「白糸川橋梁」の土木学会選奨土木遺産記念碑を設置し除幕式を実施。
9／1 ～ 3	関 東 大 震 災 1 0 0 年 事 業 パ ネ ル 展	おだわら 市 民 交 流 セ ン タ ー U M E C O	—	小田原市、（一社）湘南建設業協会との共催により、「宿場の街道から近代の都市基盤へ」をテーマにパネル展を実施
11／1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技 能 者 表 彰 式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	4	部会推薦により4名受賞 秋山 匠（㈲匠企画） 工藤友之（㈱秋山設計） 藤生安子（㈱東海ビルメンテナンス） 前三盛朋枝（㈱東海ビルメンテナンス）

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
11／18	小田原箱根大博覧会 まちづくり・のりもの おしごとフェア	ダイナシティ ウェスト広場	約1,000	建設重機の試乗体験、地域交通運輸業者の「働くのりもの」や警察車両等の「安全なのりもの」の展示・試乗体験、企画ブースの展開等により、建設業、不動産業や交通運輸業のなりわいを周知するとともに、将来の担い手である子供たちに各業界と触れ合う機会を提供した。
1／31	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	神奈川県立 音 楽 堂	1	部会推薦により1名受賞 久保寺吉和（譲原建設㈱）
2／21	神 奈 川 県 下 商 工 会 議 所 不動産業議員交流会	商工会議所 ミナカ小田原 箱 根 湯 本 天 成 園	42	神奈川県内商工会議所の不動産業関係議員の交流事業を実施 講演（1） テーマ：100年と100回～関東大震災と箱根駅伝から都市基盤をよむ～ 講 師：一般社団法人 湘南建設業協会 専務理事 山崎仁氏 講演（2） テーマ：写真事業から「ミナカ小田原」「豊洲 千客万来」へ ～万葉倶楽部と官民連携事業～ 講 師：万葉倶楽部株式会社 取締役副社長 高橋眞己氏 親睦交流会
3／5	親 睦 ゴ ル フ 大 会	小田原湯本 カントリー ク ラ ブ	9	1位 宮島尚之（㈱フジタ） 2位 岩渕博之（㈱ミスミ電気） 3位 小川和夫（㈲ケーオーハウジング）
3／19	部 会 員 親 睦 交 流 会	だるま料理店	24	部会員親睦交流事業を実施

（オ）金融庶業部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
6／15	講 演 会 懇 親 会	商工会議所 グリン木の実	講演会 35 懇親会 30	特別講演 テーマ：元NHKアナウンサーが伝授 ～人に好かれる魅力的な話し方～ 講 師：オフィス・まきの 代表 元NHKニュースキャスター 牧野光子氏
7／12	親睦ボウリング大会	小田原コロナ キャット ボ ウ ル	48	団体 優 勝 税理士法人エナリAチーム 準優勝 ㈱みずほ銀行小田原支店 第3位 税理士法人エナリBチーム

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				個人 優 勝 嶋崎和則 (税理士法人エナリ) 準優勝 嶋崎英美 (税理士法人エナリ) 第3位 富永裕樹 (小田原第一信用組合)
9/20	資産形成と物価高 対 策 セ ミ ナ ー	商工会議所 オンライン	30	テーマ：資産形成と物価高対策セミナー ～独立系ファイナンシャルプラン ナーが物価高に打ち勝つ金融知識 を伝授！～ 講 師：㈱KANATTA代表 ファイナンシャルプランナー 塚越菜々子氏
9/27	資産形成と物価高 対 策 セ ミ ナ ー (個 別 相 談 会)	商工会議所	8	講 師：㈱KANATTA代表 ファイナンシャルプランナー 塚越菜々子氏
11/1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	3	部会推薦により3名受賞 山田泰廣(山田針灸院) 十時祥宏(医療法人小林病院介護老人保健 施設 水之尾) 岩下祐三(税理士法人エナリ)
11/14	小田原箱根大博覧会 事業者向け経営相談会	商工会議所	18	9士業(弁護士、社会保険労務士、税理士、 行政書士、土地家屋調査士、宅地建物取引 士、不動産鑑定士、中小企業診断士、司法 書士)による事業所向け無料経営相談会を 実施。
1/31	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	神奈川県立 音 楽 堂	1	部会推薦により1名受賞 藤田さとみ(さがみ信用金庫)
2/7	講 演 会 親 睦 会	ミナカ小田原 コンベンション ホ ー ル	52	特別講演 テーマ：コロナ禍を経て伝えたいこと 講 師：式町水晶氏

(カ)交通運輸部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
7/11	ボウリング大会	小田原コロナ キャット ボ ウ ル	28	団体 優 勝 箱根登山鉄道㈱ 準優勝 ㈱エムアイジャパン 第3位 箱根登山バス㈱ 個人 優 勝 細野知寛 (㈱まるだい運輸倉庫) 準優勝 池田真佑子(箱根観光船㈱)

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				第3位 北村栄章（箱根登山鉄道㈱）
9／12	は ん ど る ク ラ ブ コ ン ペ	箱 根 湖 畔 ゴルフコース	9	優 勝 秋 山 実 （有）小田原ドライビングスクール） 準優勝 水上秀博（箱根登山鉄道㈱） 第3位 菊川哲也（有）菊川運送）
11／1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	3	部会推薦により5名受賞 島川博幸（箱根登山鉄道㈱） 土方邦生（小田原栄興自動車㈱） 笠間優治（㈱まるだい運輸倉庫） 岩田文也（相原興業㈱） 竹本真奈美（相原興業㈱）
11／18	小田原箱根大博覧会 まちづくり・のりもの おしごとフェア	ダイナシティ ウエスト広場	約1,000	建設重機の試乗体験、地域交通運輸業者の 「働くのりもの」や警察車両等の「安全な のりもの」の展示・試乗体験、企画ブース の展開等により、建設業、不動産業や交通 運輸業のなりわいを周知するとともに、将 来の担い手である子供たちに各業界と触れ 合う機会を提供した。
11／20 ～21	視 察 研 修 会	栃 木 方 面	13	宇都宮LRT等を視察
1／31	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	神奈川県立 音 楽 堂	1	部会推薦により1名受賞 坂内 進（㈱まるだい運輸倉庫）
2／16	講 演 会 並 び に 新 年 懇 談 会	日本料理 四 季 亭	26	テーマ：管内の事故情勢および交通暗線に ついて 講 師：小田原警察署交通第一課長 大貫良将氏 テーマ：管内の犯罪情勢について 講 師：小田原警察署防犯少年係係長 北川信也氏

(2) 意見活動

令和5年度 小田原市予算・政策に関する要望について
(小田原市へ9月5日提出)

【企業支援】

項 目	理 由
1. 継続的な商業支援策の展開について	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響が続くものの景気は緩やかに回復するものと見込まれています。しかしながら、物価高などにより消費抑制の懸念があるため、引き続き、消費喚起策や事業者への支援は必要であると考えます。 つきましては、需要の前倒しの可能性があるプレミアム付商品券とは異なり、需要の乱高下を防ぐためのデジタルを活用した段階的なポイント還元事業と合わせて年々利用比率が上昇しているキャッシュレス決済を事業者が導入しやすくなるような施策など、継続的な支援を実施していただきますよう、要望いたします。
2. 創業支援事業ならびに事業承継への支援について	当所では、地域のステークホルダーと連携し創業支援事業ならびに事業承継への支援を強化しております。代表的な事業としては、おだわら起業スクール、小田原箱根リカレントスクール、オープンネームでの事業承継支援「relay」との連携などを実施しておりますが、運営には事業経費が必要になります。現状としても、小田原市から補助を受けて実施をしておりますが、地域経済の拡大・維持のために引き続き予算措置をいただきたく要望いたします。

【気候変動・防災】

項 目	理 由
3. 富士山溶岩流への対応を含めた避難計画の見直しと自然災害に対する事業所への配慮について	神奈川、静岡、山梨の3県と関係市町村などからなる富士山火山防災対策協議会は「逃げ遅れゼロ」をめざし、2023年3月29日に富士山の噴火に対する新たな避難計画を策定しました。溶岩流からの避難は噴火後に開始することとし、渋滞抑制のため自家用車を使用しない避難手段（徒歩、自転車、バイク、船舶等）をとることが示されました。降灰については、自宅など屋内退避を原則とするされています。 今後は県の指針を基に個別の避難計画を検討していくことになると認識していますが、地元の特性を考慮した避難計画の策定を要望するとともに、それに伴い企業が取るべき対応策も併せてお示しいただきますよう要望いたします。

項 目	理 由
4. 防災連携協定の更なる推進について	小田原市では、小田原市自治会総連合及び小田原箱根商工会議所の三者間において、平常時の災害への備えにより、災害発生時において相互に連携を滞りなく行えるよう、包括的な連携協定を締結しております。 この締結により市内各所で防災連携協定の締結が進んでおりますが、未だ数多くの地域で協定を締結していない空白地域が存在しております。災害発生時には市内全域が被災することも予想されることから、協定の空白地域の解消に向け三者間において連携を強化するとともに、協定締結をより一層推進していただくよう要望いたします。
5. エネルギー政策・脱炭素の取組について	小田原市におかれましては、二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、2030ロードマップにて、2030年までに2022年比で再生可能エネルギー導入量5倍といった目標を設定されていることや環境省の「脱炭素先行地域」へ東京電力パワーグリッド株式会社小田原支社と共同提案し、選定されるなど2050年の脱炭素社会の実現を見据えた様々な取組を推進されているところかと存じます。しかしながらそれらの取組についての進捗状況や目標達成に向けて市内の事業者や市民がどのように関わるのかといった情報があまり周知されていないように感じております。 当所では、地域のエネルギー事業者、金融機関、建設事業者およびエネルギー関連専門家にて定期的に情報交換を行う「小田原箱根エネルギーコンソーシアム拡大会合」を実施しております。今後同会合へ担当職員を派遣頂き、エネルギー施策の進捗状況の確認や意見交換等を実施し、官民連携して2050年の脱炭素社会実現に向けた取組を確実に実現できる体制の構築を要望いたします。

【地場産業振興】

項 目	理 由
6. 工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、工芸技術所の更なる機能強化についての働きかけについて	専門的な知識と機械を所有する工芸技術所は、ものづくりに必要な機器の貸出や、技術指導、若手工芸技術者の交流の場の提供、創業予定者又は後継者等を対象に所内に共同で利用できるスペースを提供しています。令和2年4月にまとめられた「小田原地方木製品製造業経営課題等把握事業報告書」にも工芸技術所について、機械貸し出しへの感謝、工芸技術所の永続を望む声が多数あることも触れられております。 つきましては、木工業のランドマーク的存在である工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、小田原・箱根の木工業の発展

項 目	理 由
	に大いに寄与する工芸技術所の更なる機能強化を県に働き掛けてくださいますよう要望いたします。
7. 中小企業等販路開拓事業補助金の継続と小田原地場産品の積極的な海外プロモーションについて	市では、令和4年度から、中小企業等販路開拓事業補助金を創設し、商談に繋がる展示会や見本市への出展に対し助成するとともに、海外展開に向けたマインドの醸成を含め、世界に向け、小田原地場産品のプロモーションを積極的に企画していただいております。 つきましては、小田原地場産品の振興に有益となる当補助金制度の末永い継続をお願いするとともに、世界に向けたプロモーションも今後とも積極的に企画していただけますよう要望いたします。

【スポーツ振興】

項 目	理 由
8. スポーツによるまちづくり・地域活性化について	当所では、小田原市体育協会、小田原市観光協会と連携し、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していくスポーツコミッションのあり方について調査・研究をしてまいりました。その調査結果から、早期のスポーツコミッション設立については課題が多く、まずは小田原市体育協会の既存事業の拡充や小田原アリーナなどの市有スポーツ施設を使って行われている大会等の主催団体等と連携した事業に参画しながら将来的にはスポーツ関連プラットフォームとしてのスポーツコミッションの設立を目指すことにしております。また、小田原市におかれましては既存スポーツ施設の適切な管理運営や新たなスポーツ施設の整備に向け、公民連携の視点も踏まえた「小田原市スポーツ施設整備基本計画策定支援業務委託に係る公募型プロポーザル」を実施され、令和7年3月31日までにスポーツ施設に関するモデルプランの策定をされると伺っております。 つきましては、今後スポーツコミッションの設立に向けた事業の推進というソフト面とスポーツ施設の整備というハード面を一体として捉え、民間からの意見も踏まえた官民連携によるスポーツによるまちづくり・地域活性化を推進して頂きますよう要望いたします。

【まちづくり】

項 目	理 由
9. 伊豆湘南道路の早期具現化について	市では昭和56年に発足した小田原真鶴道路建設促進協議会、令和3年7月に名称改称された「伊豆湘南道路神奈川県西湘地区建設促進協議会」などを通じて、伊豆湘南道路の早期事業化に向けた活

項 目	理 由
	動を行っており、当所も平成10年発足当時から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会に参加し、ともに要望活動を行っております。 県は、経済面・観光面・防災面などで重要な要衝となり得る伊豆湘南道路の整備計画の早期具現化に向けて、有識者を構成員とした委員会や県境周辺の住民・道路利用者のアンケート調査を積極的に実施していることを認識しております。 令和5年3月24日に開催された委員会でも、「高規格道路のミッシングリンク」を解消することで観光・防災・医療・産業などの多面的な役割を持つ高規格道路として計画することとしています。 つきましては、国に対し県とともに早期具現化を働きかけるよう要望いたします。
10. 小田原にふさわしい都市整備について	小田原駅周辺においては、いくつかの再開発案件があり整備が進むことが期待されていますが、中心市街地に人口を密集化するだけでなく、郊外にはゆとりをもった過密ではない小田原らしいまちづくりも目指すべきと考えます。 中心市街地に住もうと思う方は東京・横浜など都市的サービスと機能を求める方が多く、郊外に住もうと思う方は田園的機能を求める方が多いと考えられます。 そのような中、強制的に中心市街地に誘導するのではなく、小田原にふさわしい都市整備を進めるべきと考えます。 さらには、今後マイカーに頼らない交通システム整備や交通結節点となる国府津・鴨宮地区の交通ネットワークの整備も必要と考えられることから、以下のとおり要望いたします。 (1) 小田原駅周辺で予定されている少年院跡地、小田原駅東口・西口、旧市民会館などの再開発について、小田原市のまちづくりの取り組みの目指す姿を令和5年度に示されるとのことですが、具体的な在り方を討議する場を開かれた形で設けていただきますよう、要望いたします。 (2) 市街化調整区域においては都市計画法34条の運用などで良好な居住環境整備制度の創設を要望します。 また、中心市街地に限らず、小田原市立地適正化計画において都市機能誘導区域に設定されている国府津・鴨宮地区なども市街地再開発・優良建築物等整備事業の対象地区とすることや高さ制限の緩和などを活用して豊かなまちづくりができるよう要望いたします。 (3) 中心市街地や交通結節点と都市機能・住居拠点との交通ネットワーク整備支援を要望いたします。

項 目	理 由
11. 伊豆湘南道路におけるアクセス道路の整備について	県西部の南側は、東名や新東名高速道路のある北側に比べ国道135号線のみで、高規格道路のミッシングリンクとされる地域であります。 ここに伊豆湘南道路という観光・防災・医療・産業などの多目的な役割を持つ道路が計画され、早期実現に向けた取り組みを行っています。 しかしながら、さらにこの道路の役割をこの地域に活かしていくためには、同時にアクセス道路の整備が必要であり、伊豆湘南道路、西湘バイパス、小田原厚木道路などにどのようなインターチェンジを配置し、アクセス道路として重要な小田原湯河原広域農道や足柄幹線林道などの周辺道路網をどのようにネットワークしていくかを明らかにする必要があります。 そこで、このようなアクセス道路計画の作成を県が主導的に行っていただけるよう、県に対し働きかけをしていただくことを要望いたします。 また、小田原湯河原広域農道、足柄幹線林道などの重要路線については早期整備を県に強く働きかけていただくよう要望いたします。
12. 海を活かしたまちづくりについて	早川エリア周辺は「地域特性を生かしたまちづくり」として「水産市場の再整備」「美食のまち」の事業化を見据え「エリアブランディング構想策定事業」を実施することが公表されております。 当エリアは当地域の観光において重要な地域と考えておりますので、構想策定にあたっては、当所をはじめ、商業者や観光事業者の視点や意見を広く取り入れていただくよう要望いたします。また、各施設やエリアを点として捉えるのではなく、面的に全体を加味した構想を策定いただきますよう併せて要望いたします。
13. 小田原地下街の民間移管について	小田原地下街の経営体制については、当所より民間事業者への移管する方針と伺っており、平成31年度小田原市予算・政策に関する要望にて、今後の経営移管のスケジュールをお示しいただきたく要望させていただいた際には、今後中心市街地を取り巻く環境が変化していく中、将来的な検討事項の一つと認識されている、とのご回答を頂いております。要望から5年が経過し、その期間中には新型コロナウイルスの影響やミナカ小田原の開業など中心市街地の人流に大きな影響を与える事象がございました。また、今後小田原駅東口、西口ともに大型の再開発案件があり、ますます中心市街地を取り巻く環境は変化していくと考えております。 これらの変化を踏まえ、小田原地下街の民間事業者への経営移管につきましましては、時間軸も含めたスケジュールをあらためてお示し

項 目	理 由
	していただきたく要望いたします。

【建設関連】

項 目	理 由
14. 小田原市における大型工事、建設設計業務の発注、公募型プロポーザル、入札時資料について	小田原市の大型工事、建設設計業務の発注、公募型プロポーザル、入札時資料について、「小田原市地域経済好循環推進条例」が令和5年4月1日より施行されたことも踏まえて、あらためて下記のとおり要望いたします。 (1) 大型工事、建設設計業務の発注について 市は、令和4年4月1日付で「小田原市市内事業者優先発注に係る実施方針」を定めており、全ての公共調達において、地域経済の好循環に資するため、市内事業者でできるものはできる限り市内事業者に発注するよう努めておられることと認識しております。 つきましては、地域経済の活性化と地元企業育成のためにも市内業者の対応が難しい大型事業であっても、分離・分割発注を行うなど地元企業ができうる限り受注できますよう、引き続き取り組んでくださいますよう要望いたします。 (2) 公募型プロポーザルの地元加点の一層の充実について 市では、令和4年4月施行の「小田原市市内事業者優先発注に係る実施方針」に基づき、各所管課が実施するプロポーザル方式の手続きを定めたガイドラインも同日付で改訂し、市内業者の受注機会確保に向けた内容を明記していただいていること認識しております。 つきましては、地元企業の更なる受注機会の確保と市内事業者の育成を更に強く推進するためにも、プロポーザルの公平性、透明性及び客観性を担保しつつも、地元加点の一層の充実を図られることを要望いたします。 (3) 入札時資料について 入札時資料については、受注者を含めた入札参加業者に対して、意図した内容が的確に伝わる資料作りが求められます。 つきましては、正確で精緻な資料の作成を一層心がけていただき、作業内容のミスマッチの防止に努めていただきますよう要望いたします。

項 目	理 由
15. P F I / P P P など民間提案の手法を活用した官民一体の取り組みの一層の推進について	公共施設等の整備等に関する事業について、民間事業者の側から公共施設等の管理者等に対し提案できる制度が P F I 法において設けられております。 P F I のみならず P P P などを活用した官民連携手法は、市にとっては公共施設等の有効活用やコストの削減が期待でき、事業者にとっては事業機会の確保、地域への主体的な貢献に繋がるなど、今後の地域経済の持続的な発展に資するものと考えます。 つきましては、より多くの事業において提案を受けることができる環境整備を積極的に推進していただきますよう、要望いたします。 また、P P P の一種である包括管理業務において、市保有の公共施設に係る保守管理業務を包括的に委託することによる、公共施設の管理における業務水準の向上と維持修繕工事の優先度付けのための点検データの集積を目的として、公共施設包括管理業務委託プロポーザルを実施されております。 選考時には提案事業者の地域貢献や市内事業者の活用等も重視されていたこと認識しておりますので、今後も他業務において包括管理を検討しているようであれば、事前に地元企業及び協同組合等の意見収集を行ったうえで、地域でお金を回す地域循環を十分配慮いただき、地元企業や協同組合ができる限り受注できるように工夫していただきますよう引き続き要望します。

【デジタル】

項 目	理 由
16. デジタルに関する要望	小田原市では、小田原市 D X 推進計画を策定し、民間の力を取り入れたデジタル技術の活用により地域経済の好循環を目指していることと存じます。 このような中、デジタル化によるまちづくりを推進するため「デジタル化推進本部」、公民連携のため「デジタルイノベーション協議会」を設置されていますが、今後、小田原市においてデジタルによる「変革」を進めるにあたり、民間の知恵を活用いただきたく、以下の 2 点について要望いたします。 (1) デジタルイノベーション協議会との連携の深化について デジタルイノベーション協議会は、会員間の連携促進をはじめ、意見交換、検討、提案、要望などを役割として定義されておりますが、それだけの役割に留まらず、この枠組みを活かして、今後、市において政策を具現化する前の段階において協議会会員に照会をか

項 目	理 由
	けるなど、民間等の知見を積極的に引き出すように進めていただきたい。 (2) デジタル技術を活かした地域経済循環について 小田原市においては、令和5年4月より「地域経済好循環推進条例」を施行されておりますが、例えば当所が令和4年12月に提案した「デジタル地域通貨」は、まさにデジタル技術により地域内経済循環に資する施策になり得ると考えます。 つきましては、このような住民の利便性向上、事業者のDX推進、地域経済循環に繋がるような施策を早急に立ち上げていただきたい。

令和5年度 箱根町予算・政策に関する要望について
(箱根町へ8月7日提出)

項 目	理 由
1. 箱根寄木細工の更なる魅力発信の取り組みについて	町は伝統工芸品、箱根寄木細工に係るホームページ及び紹介動画の作成を進め、持続可能なブランド化に向け取り組んでおられます。 町内では、一例として畑宿において、寄木会館をランドマークとした寄木細工のブランド化の活性化を図る取り組みもなされ、寄木細工の魅力を官民連携で広く発信していく機運は高まっているものと認識しております。 つきましては、そういった取り組みに対する手厚い支援をお願いするとともに、2023年3月に横浜エフエム放送(株)と地域経済活性化等を目的とした包括連携協定を結んでおられますので、これを機に関係を密にとって更なる箱根寄木細工の振興・地域の活性化に繋げていかれますよう要望いたします。
2. 箱根湯本滝通り道幅拡張について	湯本の滝通りには、多くの観光客の乗用車やシャトルバスが通行しており、渋滞の発生や歩行者の安全性などについて問題がある状況となっております。 箱根町では道幅拡張のための土地の取得や、協議会を設立するなど対策を進めていただいておりますが、この問題につきまして、早期の解決を要望いたします。 また、その進捗状況につきまして、定期的にご周知いただきます

項 目	理 由
	ことを併せて要望いたします。
3. 伊豆湘南道路の早期具現化及びそのアクセス道路の整備について	町では令和3年度から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会にオブザーバーとして参加され、伊豆湘南道路の情報共有や早期実現に向けた機運の醸成などを図っていると認識しております。 県は、経済面・観光面・防災面などで重要な要衝となり得る伊豆湘南道路の整備計画の早期具現化に向けて、有識者を構成員とした委員会や県境周辺の住民・道路利用者のアンケート調査を積極的に実施していることを認識しております。 令和5年3月24日に開催された委員会でも、意見聴取の結果として、この道路に期待することは95%が災害等に強い道路、92%が移動時間の短縮を挙げており、そのためには「高規格道路のミッシングリンク」を解消することで観光・防災・医療・産業などの多面的な役割を持つ高規格道路として計画することとしています。 つきましては、国に対し県とともに早期具現化を働きかけるよう要望いたします。 また、箱根に伊豆湘南道路の多面的な役割が果たせるよう、アクセス道路の整備が不可欠であろうと認識しておりますので、アクセス道路計画を県が主導的に行うよう働きかけしていただくことを要望いたします。
4. 防災生活幹線道路の整備について	足柄幹線林道は、林業活動における林業振興型及び「一般交通の用に供するその他の場所」に該当する市町村道的な役割である地域振興型の両方を兼ね備えた併用型道路として認識しております。 特に、生活道路及び災害時の重要な役割を担っていることはいまでもありませんが、いずれにせよ常に交通の安全性を認識し、管理していただいていることは、十分に認識しております。 つきましては、以下のとおり要望いたします。 (1) 今後の整備・補修の必要性及び計画などご教示いただけるよう、県への働きかけを要望いたします。 (2) 冬季の閉鎖期間におきましては、どのような基準で閉鎖するのか明確ではありませんのでご教示くださいますよう、要望いたします。 (3) 有事の際には、防災生活幹線道路としての役割を担う事ができるよう安全な道路として整備をしていただきたく、県への働きかけを引き続き要望いたします。

項 目	理 由
5. 公共工事に係る地元業者受注機会の確保及び地元業者育成について	町では公共工事に係る地元業者の優先発注に格段の配慮をいただいていることは認識しております。 引き続き、地域経済の活性化と地元企業育成のために以下のとおり要望いたします。 (1) 大型案件等の対応につきましては、第二次的事業者ではなく、分離・分割発注など発注方式の工夫により地元業者の受注機会の確保を図っていただきますよう要望いたします。 (2) 道路や建築等公共工事の事業量の拡大を要望いたします。 (3) 特殊技術及び工法等を必要とする工事におきまして、地元企業のスキルアップの一環として、勉強会・見学会などの開催をしていただくことにより、地元企業の育成にご協力いただきますよう要望いたします。
6. 神奈川県西空き家バンク連絡会事業への参画について	日本全国で表面化している空き家への対策について、県西地域においては、(公社)神奈川県宅地建物取引業協会小田原支部が小田原市・真鶴町・湯河原町と連携して神奈川県西空き家バンク連絡会を構成し、空き家対策に取り組んでおります。 その取り組みの一つである、空き家バンクポータルサイト「かながわ県西空き家バンク 家さがみ」も稼働して、その成果は出てきております。 つきましては、神奈川県西空き家バンク連絡会の事業に参画していただきますよう要望いたします。

令和５年度神奈川県予算・政策に関する要望
(神奈川県商工会議所連合会を通じて神奈川県に１０月３０日提出)

I 中小企業・小規模事業者支援及び地域活性化施策の充実・強化

我が国の中小企業・小規模事業者は、全企業数の99.7%を占め、雇用の約7割を担い、地域に密着した経営を行っております。そのため、地域経済の活性化と県内経済の発展・成長のためには、中小企業・小規模事業者の活力強化、持続的発展が不可欠です。

そのためには、現下の原油・原材料・物価高騰の困難な状況乗り越え、生産性向上につながるDX推進や、新たなビジネスの創出、ビジネスモデルの転換など事業再構築に挑戦し続けることが必要であり、こうした挑戦を積極的に後押ししていくことが求められています。

また、観光は関連する産業の裾野が広く、需要拡大や雇用創出など、地域経済の活性化に大いに寄与します。訪日客数は、コロナ禍前の約7割の水準まで回復し、令和5年8月には中国の日本向け団体旅行が解禁されたことから、更なる増加が期待されるところです。今後、国内観光需要と併せて本格的な回復軌道に乗せるために、内外の観光客にとって魅力ある観光地域づくりが求められています。

さらに、少子高齢化を背景として、コロナ禍後の需要回復に伴う人手不足が深刻な状況となっています。従来の産業人材のマッチングに加え、女性活躍の推進や外国人材の積極的な受け入れ、リスクリングによる産業人材の育成による労働力確保が求められています。

加えて、化石燃料等の資源に乏しい我が国において、カーボンニュートラルへの挑戦は、我が国の行く末を左右する大きな課題であり、企業の取り組みの強化が求められています。

そこで、県におかれては、本要望に盛り込んだ項目について、積極的かつ強力な後押しをお願いします。

【重点要望】

- 1 原油・原材料・物価高騰の影響に直面する事業者への支援
 - (1) 原油・原材料・物価高騰の影響を強く受けた事業者への支援
 - (2) コストアップ分の適正な価格転嫁のための環境整備
 - (3) 中小企業・小規模事業者の売上回復に向けた支援
- 2 生産性向上につながるDX推進への支援
 - (1) DX環境構築に向けた支援
 - (2) DX人材育成に向けた支援
- 3 創業・起業、新たなビジネスの創出、ビジネスモデルの転換、事業再構築への支援
- 4 多様な人材の確保・育成のための支援
 - (1) 人材確保のための支援の充実・強化
 - (2) 女性および外国人材の活躍推進と労働参画の加速化
 - (3) 産業人材育成のための研修機会の充実・強化
- 5 地域経済の活性化につながる観光施策の積極的展開
 - (1) ビヨンドコロナの社会に即した観光地域づくりの推進
 - (2) 2027年国際園芸博覧会の成功に向けた機運の醸成
- 6 2050年カーボンニュートラルに向けた対応への支援

7 物流2024年問題への対応

【要望項目】

- 8 災害発生時の事業継続力強化に向けた支援
- 9 神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画（第4期）の着実な推進と小規模企業に特化した支援策の充実・強化
- 10 商店街の活性化・活力向上に向けた支援
- 11 納得感のある最低賃金水準の決定と制度の抜本的見直し等の国への働きかけ
- 12 円滑な事業承継に向けた支援
- 13 公共事業費予算の確保と地域内企業への優先発注
- 14 地場産業の一層の振興に向けた支援策の充実・強化
- 15 産・学・公連携を推進する体制の充実・強化、知的財産の創造・活用の促進
- 16 企業誘致の一層の促進と支援策の充実・強化
- 17 特区制度の積極的活用による地域経済活性化施策の充実・強化
- 18 海洋ツーリズムの構築を目指す「相模湾からの経済活性化会議」への協力・支援
- 19 ALPS処理水の海洋放出に伴う風評被害防止の対応

II 産業活動の基盤となる道路・鉄道等の社会資本の整備・充実

中小企業・小規模事業者の産業活動が円滑に行われるためには、その基盤となる道路網や鉄道網等の社会資本の整備・充実、既存社会資本の再整備が欠かせないものとなっています。

道路は、社会経済の発展や災害時において大きな役割を果たしていますが、県内における道路整備状況は十分でなく、県内各所では広域交通による容量を超える流入や都市交通の集中による激しい交通渋滞が生じています。また、トラックドライバーの時間外労働時間の上限が規制される、いわゆる「2024年問題」への対応など、物流の効率化が求められていることから、幹線道路網のさらなる整備促進が不可欠です。交通渋滞の解消と未来に向けた交通網の整備は、社会経済を支える重要なインフラとして進めていく必要があります。

さらに、鉄道網の整備は道路網の整備と並んで、社会資本整備の基本であり、環境面の負荷も少なく、大量で高速の人・モノの移動を可能にする鉄道網の整備、ネットワーク化に関して今後も着実な推進が必要です。

県では法人二税の超過課税延長に伴う財源を活用し、県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備を推進するとしていますが、さらなる社会資本の整備・充実に向けて、次の項目について要望します。

【要望項目】

- 1 主要幹線道路網の整備及びネットワーク化の促進
 - (1) 首都圏中央連絡自動車道（神奈川県区間の高速横浜環状南線・横浜湘南道路）及びアクセス道路の整備促進
 - (2) 新東名高速道路、厚木秦野道路の早期建設とアクセス道路となる主要地方道の渋滞区間や危険箇所の改善

- 2 頻発・激甚化する大規模自然災害の予防・減災のための社会資本の再整備の促進
- 3 鉄道網の整備及びネットワーク化の促進
 - (1) リニア中央新幹線・神奈川県駅整備の促進
 - (2) 交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」（平成28年4月）対象プロジェクト路線（本県関係6路線）の早期実現
 - (3) 東海道新幹線新駅の設置促進とツインシティ構想の早期実現
 - (4) 相模線複線化の早期実現

Ⅲ 商工会議所の中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制の充実・強化

中小企業・小規模事業者が、経営の革新や改善、持続的発展を遂げていくには、何よりも身近に“良き相談相手”が必要です。この役割を担うのが、商工会議所等に配置されている「経営指導員」であり、地域振興事業費補助金として予算措置されています。

現在、県内14商工会議所では、この補助金等を活用し、約140名の経営指導員が、中小企業・小規模事業者のニーズに応え、年間約7万件を超える日常相談・指導を行うなど、経営支援の中核を担うとともに、商店街振興、観光振興等の支援にも関わり実績を上げています。

そうした中、その業務密度は年々高まり、特に、平成26年度の改正小規模支援法により業務はよりきめ細かなものとなり（経営発達支援）、事業者に寄り添った伴走型支援を実施しています。また、令和元年7月からは中小企業強靱化法に基づく中小企業・小規模事業者の事業継続力強化支援が新たに業務とされ、経営指導の現場は慢性的なマンパワー不足にあります。

さらに、令和3年11月には、「原油価格上昇に関する特別相談窓口」（令和4年2月からは「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」に拡充）を設置し、原油価格・原材料・物価高騰などの影響を受けた中小企業・小規模事業者の資金繰り等の相談に対応しています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症5類移行後の「ビヨンドコロナ」社会が到来し、厳しいコストプッシュ型ではあるものの、30年ぶりの物価上昇と賃上げ機運の高まりという「停滞から成長」への転換局面を迎え、企業の投資意欲は高まっています。中小企業・小規模事業者が、生産性向上など自己変革への挑戦を加速させ、持続的な成長を実現していくためには、切れ目ない支援強化が急務であり、商工会議所の伴走支援体制の拡充が必要です。

県においては、地域振興事業費補助金の担う役割を十分に考慮のうえ、経営指導員の経営支援がより積極的に展開できるよう、商工会議所の経営指導員体制の拡充に向け、同補助金の確保・充実に要望します。併せて、若手経営指導員をはじめ、県全体の経営指導レベルの向上を図るため、スーパーバイザーポストの新設についても要望します。

このほか、経営指導員による中小企業・小規模事業者に対する商工会議所の経営支援体制の充実・強化に向けて、平成23年度に設置したかながわ中小企業成長支援ステーションの商工会議所支援機能の強化や、地域連携推進事業費補助金の継続・充実、地域県政総合センターと商工会議所等のさらなる機関連携強化と体制整備などについても要望します。

【重点要望】

- 1 経営指導員の役割、多様化・増大する業務等に対応した「地域振興事業費補助金」の確保・充実
 - (1) 経営支援体制の充実・強化

(2) 経営指導員に対するスーパーバイザーポストの新設

【要望項目】

- 2 商工会議所の経営支援力の強化に向けた一層の支援（かながわ中小企業支援ステーションの商工会議所支援機能の強化）
- 3 「地域連携推進事業費補助金」の継続・充実
- 4 地域県政総合センターと商工会議所等とのさらなる機関連携強化と体制整備
- 5 経営発達支援計画の実行を促す支援策の継続・充実の国への働きかけと認定商工会議所向けの県支援策の創設
- 6 商工会議所会館整備への財政支援の継続・拡充

【個別要望】

項 目	理 由
1. 工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、工芸技術所の更なる機能強化について	県は、専門的な知識と機械を所有する工芸技術所は、ものづくりに必要な機器の貸出や、技術指導、若手工芸技術者の交流の場の提供、創業予定者又は後継者等を対象に所内に共同で利用できるスペースを提供しています。令和2年4月にまとめられた「小田原地方木製品製造業経営課題等把握事業報告書」にも工芸技術所について、機械貸し出しへの感謝、工芸技術所の永続を望む声が多数あることも触れられております。 つきましては、木工業のランドマーク的存在である工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援を引き続きお願いするとともに、小田原・箱根の木工業の発展のためにも、技術指導やデザイン指導など専門的な知識と機械を所有する工芸技術所の更なる機能強化も併せて要望いたします。
2. 富士山溶岩流への対応を含めた避難計画の見直しと自然災害に対する事業所への配慮について	神奈川、静岡、山梨の3県と関係市町村などからなる富士山火山防災対策協議会は「逃げ遅れゼロ」をめざし、2023年3月29日に富士山の噴火に対する新たな避難計画を策定しました。溶岩流からの避難は噴火後に開始することとし、渋滞抑制のため自家用車を使用しない避難手段（徒歩、自転車、バイク、船舶等）をとることが示されました。降灰については、自宅など屋内退避を原則とするされています。 今後は県の指針を基に個別の避難計画を検討していくことになると認識していますが、県内各地域の特性を考慮した避難計画の策定を要望するとともに、それに伴い企業が取るべき対応策も併せてお示しいただきますよう要望いたします。

項 目	理 由
3. 伊豆湘南道路の早期具現化及びそのアクセス道路の整備について	当所は平成10年発足当時から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会に参加し、また、昭和56年に発足した小田原真鶴道路建設促進協議会、令和3年7月に名称改称された「伊豆湘南道路神奈川県西湘地区建設促進協議会」などを通じ、伊豆湘南道路の早期事業化に向けた活動を行っております。 県は、経済面・観光面・防災面などで重要な要衝となり得る伊豆湘南道路の整備計画の早期具現化に向けて、有識者を構成員とした委員会や県境周辺の住民・道路利用者のアンケート調査を積極的に実施していることを認識しております。 令和5年3月24日に開催された委員会でも、意見聴取の結果として、この道路に期待することは意見徴収者の95%が災害等に強い道路、92%が移動時間の短縮を挙げており、そのためには「高規格道路のミッシングリンク」を解消することで観光・防災・医療・産業などの多面的な役割を持つ高規格道路として計画することとしています。 つきましては、国に対し早期具現化を働きかけるよう要望いたします。 また、この地域に伊豆湘南道路の多面的な役割が果たせるよう、アクセス道路の整備が不可欠であろうと認識しております。 沿道の道路網、インターチェンジなどの見直しも盛り込んだアクセス道路計画を県が主導的に行っていただけるよう要望いたします。
4. 小田原土木センターの機能強化について	県西地域における開発許可及び建築確認申請等の許認可業務について、審査体制の強化や業務効率化の観点から県西土木事務所（足柄上郡開成町）に集中させているとの方針は以前より伺っているところではございますが、実際に利用している事業者の視点から小田原土木センターを利便性の高い拠点としていただくために、以下のとおり要望いたします。 (1) 利便性の維持のため同センターにおける事前予約制の窓口や電話、メール等による相談対応は身近でタイムリーな相談機能を求めている事業者の要請に応えているとは言えないことから、同センターにおける許認可の窓口の常設化をあらためて強く要望いたします。 (2) 建築確認等の手続きは、「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」により、電子申請が可能となっています。同申請の電子化率は年々増加しており、国土交通省によると、令和4年度第一四半期で40%となっています。建築行政におけるDX化を推進し、同センターでも対応していた

項 目	理 由
	だきますよう要望いたします。 (3) 道路判定マップについて、県西土木事務所と同センターに備え付けられているものの更新状態が違ふことがあるため、常に最新の同一のものを同センターに備え付けていただきたい。また、道路判定を行った際は即時「e-かなマップ」へ反映していただきますよう要望いたします。
5. 平時における医療体制の整備について	新型コロナウイルスの感染拡大は、緊急時における医療体制の脆弱性を露呈いたしました。今後もどのような感染症が発生するか予測不可能な中、その発生を想定した十分な医療体制の整備、つまり、既存の医療施設に加え、それらを補完するため、感染症発生時に即稼働できる、一定以上数の感染症患者の収容と治療を可能とする臨時の医療施設を平時から整備しておくことが有効であると考えます。そこで、国、県、市町が協力し、施設建設のための用地の確保、予算措置と整備・運用の計画の策定を進めていただくことを要望いたします。 また、この施設を運用する場合に不足することが予想される医療従事者を緊急時に確保できるよう、例えば、自衛隊の予備役制度のような仕組みの構築の検討について、国への働きかけを併せて要望いたします。 なお、この臨時の施設は、感染症だけでなく、今後、多発、激甚化が予想される自然災害発災時の一時避難の仮設住宅としても有効に活用できると考えます。 非常時においても支障なく既存の医療が必要な患者に対応できる通常の医療体制を守りつつ、感染症患者や被災者に対応できる体制を整備することは、国民生活の安全安心を担保し、国家の強靱化に寄与する重要かつ必要な政策であると考えます。
6. 小田原海岸の海浜復活と保護の強化について	小田原とその周辺の海岸線は、高度経済成長の時代のダム、取水堰、高速道路の整備と並行する形で大きく後退しており、海浜の浸食とそれに由来する自然環境の変化は深刻な状況にあります。今後、多発かつ激甚化が予想される台風等の自然災害を鑑みる時、防災上、また、その発生時の交通手段の分断等、県民の生活や経済活動にも多大な被害が予想されます。 県においても、平成28年に相模灘沿岸保全基本計画に基づき、海岸保全ならびに浸食対策に取り組まれていることは承知しておりますが、堆積する土砂の量や海底の状況等、客観的なデータに基づく科学的な知見を取り入れ、計画を常に見直し、海浜の復活と保護により一層取り組んでいただくよう要望いたします。

項 目	理 由
7. 海を活かした防災への取り組みについて	大規模地震発生時には、建物の倒壊や高速道路の損壊により陸路での支援物資や人の輸配送が困難になることが予想されます。この課題を解消するために、国とも連携し、海を活かした防災の観点から小田原漁港や小田原海岸の海浜を活用した支援物資の輸配送について検討いただきますよう要望いたします。

令和5年度税制改正に関する要望
(牧島かれん衆議院議員へ11月16日提出)

中小企業の自己変革への挑戦を後押しする強力な税制支援を！

2023年11月
小田原箱根商工会議所
日本商工会議所

1. 事業承継税制の延長・恒久化

事業承継税制の特例措置は、地域経済を牽引する“地域貢献企業”の円滑な経営承継・事業継続や、若返りを契機とした生産性向上等に大いに寄与している。一方、3年以上続いたコロナ禍の影響で、承継が遅れているケースがあること、また、中小企業にとって円滑な経営承継は永続的な課題であり、提出期限や特例措置の期限に間に合わない中小企業も多いことから、提出期限の十分な延長と恒久化（一般措置の拡充）が必要である。

- 事業承継税制の特例措置における特例承継計画の提出期限の延長（2027年12月末まで）
- 事業承継税制の一般措置の特例措置並みの拡充（対象株式（2/3）の撤廃、猶予割合100％への引上げ、雇用維持要件の弾力化等）
- 事務負担や猶予取消しリスクの解消（提出書類の一本化・提出先のワンストップ化、5年経過後の報告不要化、書類の提出漏れ等に対する宥恕規定の明確化等）

2. 中小企業向け賃上げ促進税制の延長・拡充

“構造的・持続的な賃上げ”の実現に向け、業況が厳しい中でも賃上げに取り組む中小企業への支援強化を図るべき。

- 繰越控除措置（欠損金の繰越期間と同様10年間）を創設したうえで、延長すべき

3. 交際費課税特例の延長・拡充

中小企業にとって交際費は、販売促進や新規顧客との関係構築といった営業活動に不可欠な支出である。加えて、未だ続く法人需要の低迷と原材料・エネルギー価格や人件費の増大もあり、中小飲食店の経営環境は依然として大変厳しい。デフレからの脱却と中小飲食店の賃上げ原資の

確保に向けた後押しが必要。

- 交際費の範囲から除かれる飲食費の上限額（現行：1人あたり5千円以下）を2万円以下に上げたうえで、延長すべき

4. 少額減価償却資産特例の延長・拡充

- 現行制度は、中小企業のバックオフィス業務の生産性向上に大きく寄与しているものの、物価上昇に伴い、限度額を超えるケースが増加している。インボイス制度や電子帳簿保存法への対応を含め、中小企業の生産性向上を一層支援すべき。免税事業者の課税転換後の新たな税負担増の軽減
- 対象資産の限度額（30万円未満）および取得合計額の上限（300万円以下）を上げたうえで、延長すべき

5. 中小企業等の第三者承継やグループ化を後押しする税制の延長・拡充

- 経営資源集約化税制（中小企業事業再編投資損失準備金）の延長・拡充とともに、中堅・中小企業のグループ化を促進する税制を創設すべき

(3) 調査・研究

ア	件名	第50回・第51回景況調査
	実施期間	令和5年8月、令和6年2月
	内容の概要	管内商工業者の景況状況を把握するための資料とする (1) 景況感についての調査 (2) 経営状況についての調査 (3) 経営上の問題点についての調査
	調査発表	当所会報令和5年10月号同封物にて発表（第50回） 当所会報令和6年5月号同封物にて発表（第51回）
イ	件名	第79回小田原市主要商店街流動客調査
	実施期間	令和5年12月9日（土）
	内容の概要	小田原市中心部主要商店街及び小田原駅東西自由連絡通路の流動客の状況を把握し、商業施設及び中小商業の経営改善対策の資料とする (1) 市内主要地点における時間帯別流動状況の調査
	調査発表	調査の集計・分布結果を関係機関・団体等に配布する他、当所会報令和6年2月号同封物にて発表
ウ	件名	LOBO調査
	実施期間	毎月（7業種7団体）
	内容の概要	業況・売上・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの状況などを調査

(4) 広 報

ア 刊 行

(ア) 定 期 刊 行 ・ 会報「商工小田原箱根」発行

刊行期日 毎月1回20日発行／1月15日新春特別号

掲載内容 経済問題、諸制度、諸事業、経営指導など

発行部数 3,200部

配 付 先 会員、特定商工業者、関係諸団体、各地商工会議所等に配付

・ P R ペーパー「商工会議所通信」発行

刊行期日 毎月1回1日発行

掲載内容 セミナー、講習会、イベントなど

発行部数 500部

配 布 先 税務署、県、市等に配布

・ メールマガジン

刊行期日 毎月第2・第4月曜日配信

掲載内容 セミナー、講習会、イベントなど

配 信 数 1000件

配 信 先 会員に配信

イ 会頭記者会見 会頭による定例記者会見

令和5年5月11日、令和6年2月7日

(5) 証 明 ・ 鑑 定 ・ 検 査

ア 証 明

(ア) 貿易関係証明（該当国のみ）

国名	品名	食 料 品	食料品以外	合 計
タイ		0	4	4
中国		1	13	14
台湾		92	2	94
南アフリカ		1	0	1
アラブ首長国連邦（UAE）		1	0	1
バングラディシュ		0	1	1
米国		1	0	1
合 計		96	20	116

(イ) 衛生証明 17件

(ウ) サイン証明 0件

(エ) その他貿易関係証明書 1件

(オ) 国内取引関係証明 0件

(カ) 会員証明 0件

(キ) 特定退職金共済制度加入証明 44件

(6) 信用調査

ア 信用調査	他商工会議所より当地方業者に対する調査	なし
	当所より他商工会議所に対する調査	なし

(7) 各種行事

ア 一般行事

行 事 の 名 称	主 催 者	開催日	会 場 等	
小田原おでんサミット2023	小田原おでん会	4 / 1 ~ 2	小田原城二の丸広場	後援
からくり箱フェスタ2023	からくり創作研究会	4 / 1 ~ 3 / 31	小田原市内・箱根町内	後援
第17回西さがみ俳句大会	(株)神静民報社	6月~9月	公募・表彰	協賛
第26回「園児たちの夢の七夕2023」	お堀端商店街振興組合	6 / 30 ~ 7 / 9	お堀端通り	後援
第38回箱根馬子唄日本一全国大会	箱根馬子唄保存会	7 / 2	横浜市保土ヶ谷公会堂	後援
若年者雇用支援事業「保護者のための就活セミナー」	小田原市	7 / 2	おだわら市民交流 センターUMECO	共催
中小企業シンポジウム	神奈川県弁護士会	7 / 14	神奈川県弁護士会館 及びオンライン	後援
第19回外郎売の口上まつり	外郎売の口上研究会	8 / 20	小田原三の丸ホール	協賛
第60回小田原地方官公庁親睦野球大会	(株)神静民報社	8 / 26 ~ 10 / 14	上府中公園小田原球場 酒匂川スポーツ広場 その他	後援
令和5年度特定課題講座	神奈川県かながわ労働センター湘南支所	8 / 31	おだわら市民交流 センターUMECO	後援
関東大震災100年事業 箱根町防災シンポジウム	箱根町 箱根町建設業協会	9 / 7	湯本富士屋ホテル	後援
QCサークル関東支部神奈川地区行事	QCサークル関東支部神奈川地区	9月~11月	神奈川県内	後援
ODAWARAえっさホイおどり2023	ODAWARAえっさホイおどり実行委員会	9 / 16 ~ 17	小田原三の丸ホール ミナカ小田原 小田原駅周辺各所	後援
オール神奈川受・発注商談会2023	(公財) 神奈川産業振興センター	9 / 19 ~ 29	オンライン	後援
令和5年度労働講座	小田原市	10 / 4	おだわら市民交流 センターUMECO	共催

行 事 の 名 称 主 催 者	開催日	会 場 等	
第56氷彫刻技術コンクール小田原大会 (一社) 全日本司厨士協会関東総合地方本部 神奈川県本部小田原支部	10／9	お堀端通り	後援
第21回小田原おでん祭り 小田原おでん会	10／14～15	小田原城二の丸広場	後援
式町水晶メジャーデビュー5周年記念コンサート (株)式町水晶Music Office	10／14～15	小田原三の丸ホール	後援
おだわらハロウィン2023 小田原市商店街連合会	10／28	ハルネ小田原 うめまる広場	後援
おだわらデジコン城下町	11／3	ミナカ小田原 コンベンションホール	協賛
令和5年度女性活躍推進講演会 小田原市	2／2	オンライン	共催
外国人材雇用促進のためのマッチング会 i n HAKONE 観光庁	2／9	湯本富士屋ホテル	後援
第60回小田原梅まつり俳句大会 小田原俳句協会	2／10	おだわら市民交流 センターUMECO	協賛
小田原城アートNOW2024 小田原文化芸術協会	2／21～3／3	小田原三の丸ホール (展示室)	後援
芦ノ湖ルアー・フライ限定特別解禁釣り大会 芦ノ湖漁業協同組合	3／1	芦ノ湖	後援
箱根スイーツコレクション2024 小田急箱根ホールディングス	3／1～4／22	箱根エリアの美術館、 ホテル、飲食店等	後援
2024年問題を踏まえた運送事業者向けセミナー 東京海上日動火災保険(株)	3／4	みなとみらい ビジネススクエア	後援
第37回小田原尊徳マラソン大会 (公財) 小田原市体育協会	3／10	小田原アリーナ	協賛
令和5年度若年者雇用支援事業「ジョブスタディ」 小田原市	3／12	おだわら市民交流 センターUMECO	共催
小田原市脱炭素に関する事業者向け説明会 小田原市	3／19	小田原市生涯学習 センターけやき	後援
第1回木造建築推進シンポジウム 小田原木造建築推進協議会 (一社) 神奈川県建築士会小田原地方支部 小田原市	3／20	おだわら市民交流 センターUMECO	後援
小田原 星野富弘花の詩画展 小田原 星野富弘花の詩画展を開く会	3／27～4／8	小田原三の丸ホール	後援
第28回小田原かまぼこ桜まつり 小田原蒲鉾協同組合	3／30～31	小田原城二の丸広場	後援

イ 観光関係

行 事 の 名 称 主 催 者	開催日	会 場 等	
第59回小田原北條五代祭り (一社) 小田原市観光協会	5 / 3	小田原城址公園 小田原三の丸ホール 市内パレード	後援
第34回小田原酒匂川花火大会 (一社) 小田原市観光協会	8 / 5	酒匂川スポーツ広場	後援
第32回小田原ちょうちんまつり (一社) 小田原市観光協会	10 / 9	小田原城址公園 小田原市観光交流センター	後援
第39回一夜城祭り (一社) 小田原市観光協会	10 / 29	石垣山一夜城 小田原城二の丸広場	後援
第73回小田原城菊花展 (一社) 小田原市観光協会 小田原清香会	11 / 3 ~ 15	小田原城址公園本丸広場	後援
第54回小田原梅まつり (一社) 小田原市観光協会 曾我別所梅まつり観光協会	2 / 3 ~ 29	曾我梅林 小田原城址公園	後援

(8) 技術・技能の普及検定

ア 検 定

(ア) 珠 算

回 数	期日・会場	級別 人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級・ 10級	合計
228回	R5. 6. 25 商工会議所	受験者数	4	8	10	3	5	4	0	0	2	36
		合格者数	0	2	2	2	4	3	0	0	2	15
229回	R5. 10. 22 商工会議所	受験者数	6	8	14	5	3	2	0	2	2	42
		合格者数	2	2	6	2	0	1	0	2	2	17
230回	R6. 2. 11 商工会議所	受験者数	5	5	13	4	5	2	2	2	3	41
		合格者数	2	2	7	1	3	1	2	2	3	23
合計		受験者数	15	21	37	12	13	8	2	4	7	119
		合格者数	4	6	15	5	7	5	2	4	7	55

(イ) 簿 記

回 数	期日・会場	級別	1級	2級	3級	合計
		人数				
164回	R5. 6. 11 商工会議所	受 験 者 数	5	17	55	77
		合 格 者 数	1	2	17	20
165回	R5. 11. 19 商工会議所	受 験 者 数	4	22	75	101
		合 格 者 数	1	2	19	22
166回	R6. 2. 25 商工会議所	受 験 者 数		19	39	58
		合 格 者 数		5	12	17
合計		受 験 者 数	9	58	169	236
		合 格 者 数	2	9	48	59
		合 格 率	22. 2	15. 5	28. 4	25. 0

(ウ) 日商ネット試験

回数・期日	試 験 名	受験者数	合格者数
随 時	日商P C	5	4
	原価計算初級	2	2
	簿記初級	2	2
	リテールマーケティング	13	5

認定会場：P Cアカデミーオーシャン、パソコン教室 岸、パソコンくらぶ おぐぼそ

(9) 取引紹介（照会を含む）あっせん

ア 国内取引 9 6 件

イ 国外取引 なし

(10) 取引紛争のあっせん

ア 取引紛争のあっせん なし

イ 調 停 なし

ウ 仲 裁 なし

(11) 相談・指導・あっせん等

下請あっせん相談（相談機関・公益財団法人神奈川産業振興センター） 1 件

(12) 会員の増強対策

会員増強委員会で実施計画・目標数を設定し、役員・議員・会員挙げて会員増強運動を展開した
年度中増強実績 1 5 8 件

(13) 経営改善普及事業（経営支援部）

ア 巡回指導

業 種 別	対 象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製 造 業	85	156	0	1	0	9	5	8	3	1	0	183
建 設 業	69	91	0	1	0	7	8	11	1	0	1	120
小 売 業	125	229	0	1	0	16	13	7	2	0	0	268
卸 売 業	39	49	0	0	0	8	3	2	0	0	0	62
サービス業	325	591	1	2	0	41	25	12	11	1	1	685
そ の 他	13	21	0	0	0	0	2	1	1	0	0	25
計	656	1,137	1	5	0	81	56	41	18	2	2	1,343

イ 窓口指導

業 種 別	対 象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製 造 業	83	173	2	3	0	20	1	40	19	13	0	271
建 設 業	106	127	4	2	0	51	3	68	4	2	0	261
小 売 業	122	229	0	0	0	49	3	26	16	2	2	327
卸 売 業	41	87	1	1	0	16	0	9	2	1	1	118
サービス業	408	921	7	1	0	114	9	47	36	6	23	1,164
そ の 他	14	47	0	1	0	1	0	2	1	3	0	55
計	774	1,584	14	8	0	251	16	192	78	27	26	2,196

ウ 講習会の開催による指導

（ア） 集団指導

区 分	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境 対策	取引	その他	計
回 数	10	0	1	7	0	5	3	0	0	0	26
人 数	84	0	20	221	0	198	74	0	0	0	597

（イ） 個別指導

区 分	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境 対策	取引	その他	計
回 数	10	0	0	1	4	0	0	0	0	0	15
人 数	39	0	0	12	45	0	0	0	0	0	96

(ウ) 講習会開催状況表（青年部・女性会を除く）

月日	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 師		講演内容	種別
				職 業	氏 名		
4／6	商工会議所	25	新入社員安全衛生セミナー	労働安全コンサルタント	竹内春樹	安全衛生の基本の習得とグループワーク	労働
4／7	商工会議所	31	新入社員安全衛生セミナー	労働安全コンサルタント	竹内春樹	安全衛生の基本の習得とグループワーク	労働
5／27	商工会議所	38	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション	創業
6／3	商工会議所	37	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	マーケティング戦略、売上の具体化	創業
6／5	商工会議所 オンライン	50	中小企業・小規模事業者のためのインボイス制度講習会	税理士	川辺 聡	消費税インボイス（適格請求書等保存方式）制度導入に向けた対応、各種支援策等について教示	税務
6／17	商工会議所	35	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	会計の基礎、損益と収支の違い	創業
7／1	商工会議所	35	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	顧客を“引き寄せる”WEB活用資金調達のイロハ	創業
7／8	商工会議所	33	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	顧客満足度を“高める”WEB活用創業計画書作成	創業
7／22	A R U Y O ODAWARA	33	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	ビジネスプランの発表・講評	創業
8／4	商工会議所	9	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	「企業経営とは何か」を教示	経営革新
8／25	商工会議所	8	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	自社を定性面・定量面から知る方法について説明	経営革新

月日	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 師		講演内容	種別
				職 業	氏 名		
9 / 4	商工会議所 オンライン	60	中小企業・小規模事業者のためのインボイス制度講習会	税 理 士	川 辺 聡	消費税インボイス（適格請求書等保存方式）制度導入に向けた対応、各種支援策等について教示	税務
9 / 11	商工会議所	12	決算書の見方講習会 個人事業コース	税 理 士	黒 石 陽 子	個人事業主向けの決算書の見方の解説	税務
9 / 11	商工会議所	26	決算書の見方講習会 法人コース	税 理 士	黒 石 陽 子	法人事業主向けの決算書の見方の解説	税務
9 / 15	商工会議所	9	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	自社の財務と数字の活かし方について教示	経営 革新
9 / 26	商工会議所	20	「対 話 型 文 章 生成AI」 入 門 セ ミ ナ ー	伴走型経営支援 事務所WILL Partners代表	長 澤 秀 幸	対話型文章生成AIについて、中小企業の業務効率化における有効活用の方法について基礎知識から説明	情報 化
9 / 29	商工会議所	6	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	経営戦略の立案の仕方について教示	経営 革新
10 / 10	商工会議所	6	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	仕事の取組みの基本的なスキルについて教示	経営 革新
10 / 18	商工会議所	18	小 規 模 事 業 者 補 助 金 講 習 会	中小企業診断士	高 久 広	申請書類の書き方について教示	経営 革新
10 / 24	商工会議所	6	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	長期経営計画の立て方について教示	経営 革新
11 / 7	商工会議所	5	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	長期経営計画の立て方について教示	経営 革新
11 / 21	商工会議所	8	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	策定した長期経営計画を発表・講評	経営 革新
11 / 27	商工会議所	18	働 き 方 改 革 関 連 法 講 習 会	社会保険労務士	大 石 浩	働き方改革関連法などの労働法制について教示	労働
12 / 8	商工会議所	50	電子帳簿保存法 対 応 セ ミ ナ ー	税 理 士	塩 野 貴 之	電子帳簿保存法の概要と実務上のポイントなどを教示	税務
2 / 4	小田原イノベーション ラボ	10	小 田 原 箱 根 で 起業を目指す！ プレ創業セミナー	中小企業診断士 中小企業診断士	伊藤裕美子 天 満 正 俊	グループワークやディスカッションを通じて創業について考える	創業
2 / 22	商工会議所	9	ビジネスリカレント ス ク ー ル アフターフォロー 懇 談 会	中小企業診断士	佐々木文安	スクール卒業後の事業進捗や課題をディスカッションで共有した	経営 革新

エ 巡回・個別指導

月 日	時 間	参加人数	内 容	専門家・担当等	
				職 業	氏 名
4 / 13	9:00～ 17:20	5	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	香 川 哲
4 / 18	9:00～ 17:20	7	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	片 桐 新 悟
4 / 18	9:00～ 16:00	8	畑 宿 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	高 橋 進
4 / 19	9:00～ 17:20	6	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	古 木 直 人
4 / 19	10:00～ 16:00	8	桑 原 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	樋 口 裕 紀
4 / 20	10:00～ 15:00	10	湯 本 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	内 田 信 也
4 / 21	11:00～ 15:00	7	南 鴨 宮 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	飯 田 順 彦
4 / 21	13:00～ 17:00	7	本 町 ・ 栄 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	井 上 経
4 / 24	9:00～ 13:00	7	永 塚 ・ 曾 我 ・ 寿 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
4 / 25	9:00～ 17:20	4	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	片 桐 新 悟
4 / 26	9:00～ 17:20	4	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	古 木 直 人
5 / 1	9:30～ 12:30	7	浜 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
5 / 17	10:00～ 14:00	7	鬼 柳 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	樋 口 裕 紀
5 / 24	14:00～ 17:00	7	荻 窪 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	飯 田 順 彦
5 / 29	13:00～ 17:00	7	蓮 正 寺 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	井 上 経
5 / 30	13:00～ 16:00	10	強 羅 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	内 田 信 也
5 / 31	9:00～ 16:00	9	仙 石 原 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	高 橋 進
6 / 1	13:30～ 17:00	7	南 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	藤 田 遥
6 / 1	13:00～ 16:00	7	曾 我 ・ 永 塚 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
6 / 2	10:00～ 16:00	9	公的融資相談会（小田原）	商 工 会 議 所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小 田 原 市	

月 日	時 間	参加 人数	内 容	専門家・担当等	
				職 業	氏 名
6 / 6	10:00～ 16:00	8	公的融資相談会（箱根）	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会	
6 / 6	13:00～ 17:00	7	栄町2・3丁目地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
6 / 15	9:00～ 16:00	9	元箱根地区等巡回指導	商工会議所	高橋 進
6 / 20	14:00～ 17:00	7	扇町地区巡回指導	商工会議所	樋口 裕紀
6 / 21	13:30～ 16:30	9	本町地区等巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
6 / 30	13:30～ 17:00	7	江之浦地区等巡回指導	商工会議所	藤田 遥
7 / 3	9:00～ 14:00	7	曾我・鬼柳地区巡回指導	商工会議所	小林 大悟
7 / 13	14:00～ 17:00	7	栄町1丁目地区等 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
7 / 18	10:00～ 14:00	7	府川・飯田岡・蓮正寺地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
7 / 24	10:00～ 16:00	7	扇町地区等巡回指導	商工会議所	樋口 裕紀
7 / 26	13:00～ 16:00	6	畑宿地区等巡回指導	商工会議所	高橋 進
7 / 26	13:30～ 16:30	7	城山地区等巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
7 / 31	14:00～ 17:00	7	箱根・元箱根地区等 巡回指導	商工会議所	内田 信也
8 / 7	9:30～ 16:30	7	鬼柳地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
8 / 17	9:00～ 17:00	9	塔之澤・仙石原地区等 巡回指導	商工会議所	高橋 進
8 / 22	14:00～ 17:00	7	城内・栄町1丁目地区等 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
8 / 23	10:00～ 17:00	7	飯田岡・蓮正寺地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
8 / 31	10:00～ 12:00	7	本町地区等巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
9 / 2	13:30～ 16:30	12	起業スクール卒業生向け 個別相談会	税 理 士 税 理 士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊 正美 黒石 陽子 伊藤 裕美 天満 正俊 永 友 一朗

月 日	時 間	参加 人数	内 容	専門家・担当等	
				職 業	氏 名
9 / 6	10:00～ 16:00	12	公的融資相談会（箱根）	商 工 会 議 所 日本政策金融公庫 信用保証協会	
9 / 7	10:00～ 16:00	16	公的融資相談会（小田原）	商 工 会 議 所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小 田 原 市	
9 / 15	13:00～ 16:00	7	本 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	飯 田 順 彦
9 / 19	13:30～ 16:00	7	本 町 ・ 南 町 地 区 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
9 / 22	10:00～ 16:00	12	湯 本 地 区 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	内 田 信 也
9 / 28	10:00～ 16:00	12	南 町 ・ 栄 町 4 丁 目 地 区 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	樋 口 裕 紀
9 / 29	9:00～ 16:00	8	湯 本 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	高 橋 進
10 / 2	13:00～ 17:00	7	曾 我 ・ 千 代 ・ 永 塚 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
10 / 12	14:00～ 17:00	7	堀 之 内 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	藤 田 遥
10 / 26	14:00～ 17:15	9	中 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	藤 田 遥
10 / 27	12:00～ 16:00	8	仙 石 原 地 区 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	内 田 信 也
10 / 27	13:00～ 16:00	7	本 町 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	飯 田 順 彦
11 / 2	12:30～ 16:30	7	曾 我 ・ 千 代 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	小 林 大 悟
11 / 8	15:00～ 17:15	8	早 川 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	藤 田 遥
11 / 9	9:00～ 17:20	2	各 種 補 助 金 等 個 別 相 談 会	中 小 企 業 診 断 士	片 桐 新 悟
11 / 14	9:00～ 17:20	4	各 種 補 助 金 等 個 別 相 談 会	中 小 企 業 診 断 士	片 桐 新 悟
11 / 16	9:00～ 17:20	2	各 種 補 助 金 等 個 別 相 談 会	中 小 企 業 診 断 士	有 松 竜 文
11 / 17	13:00～ 17:00	7	栄 町 2 ・ 3 丁 目 地 区 等 巡 回 指 導	商 工 会 議 所	井 上 経
11 / 20	9:00～ 17:20	3	各 種 補 助 金 等 個 別 相 談 会	中 小 企 業 診 断 士	折 笠 勉

月 日	時 間	参加 人数	内 容	専門家・担当等	
				職 業	氏 名
11／21	12:00～ 16:00	10	宮ノ下地区巡回指導	商工会議所	内田 信也
11／22	9:00～ 17:20	2	各種補助金等個別相談会	中小企業診断士	天満 正俊
12／4	9:00～ 17:00	9	仙石原地区等巡回指導	商工会議所	高橋 進
12／7	11:00～ 16:00	7	酒匂・西酒匂地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
12／11	13:00～ 17:00	8	強羅地区巡回指導	商工会議所	内田 信也
12／21	8:30～ 12:30	7	曾我地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
12／21	13:00～ 16:00	7	飯泉・上新田地区等 巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
12／21	14:00～ 17:15	8	栄町1丁目地区 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
1／12	8:30～ 12:30	7	久野地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
1／19	10:00～ 14:00	7	栄町3丁目地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
1／22	13:00～ 17:00	10	板橋・南板橋地区等 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
1／23	9:00～ 17:00	10	箱根町箱根地区等 巡回指導	商工会議所	高橋 進
1／24	13:00～ 16:00	7	栢山地区巡回指導	商工会議所	樋口 裕紀
2／2	10:00～ 17:00	7	本町地区等地区等 巡回指導	商工会議所	井上 経
2／26	13:00～ 16:30	7	久野地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
2／27	16:30～ 17:15	2	南町・栄町1丁目地区 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
2／29	11:00～ 14:00	7	南町・栄町1丁目地区 巡回指導	商工会議所	藤田 遥
3／4	9:00～ 17:00	9	宮ノ下地区等 巡回指導	商工会議所	高橋 進
3／18	13:00～ 17:00	8	宮ノ下地区巡回指導	商工会議所	内田 信也
3／22	9:00～ 17:00	11	強羅地区等巡回指導	商工会議所	高橋 進

オ 金融のあっせん

単位：千円

金融機関名	あっせん延件数	貸付決定延件数	あっせん総額	貸付決定総額
日本政策金融公庫	12	12	42,140	34,400
小規模事業者 経営改善資金	61	61	457,000	457,000
神奈川県 の 資金	7	7	39,600	39,600
小田原市 の 資金	0	0	0	0
その他金融機関	0	0	0	0
計	80	80	538,740	531,000

カ 小規模企業専門相談員

(ア) 窓口指導（通信、通話等によるものを含む）

相談件数									
指導対象企業数	金融	税務	経理	経営	労働	取引	特許	法律	計
指導件数	0	0	0	0	0	0	15	13	28

(イ) 派遣（巡回）指導

相談件数									
指導対象企業数	金融	税務	経理	経営	労働	取引	特許	法律	計
指導件数	0	0	0	3	0	0	0	0	3

キ 社会保険、共済制度等に関する事務代行

(ア) 労働保険事務組合 委託事業者数 168事業所 対象従業員数 997名

(イ) 小規模企業共済制度 対象者数 238名

(ウ) 特定退職金共済制度 加入事業者数 260事業所 対象従業員数 1,571名

(エ) 中小企業倒産防止共済制度 加入件数 70件

(オ) 神奈川県民共済 加入者数 1,346名

(カ) 情報漏えい賠償責任保険制度 加入件数 15件

(キ) 休業補償プラン 加入件数 183件

(ク) 業務災害補償プラン 加入件数 389件

(ケ) 中小企業海外PL保険制度 加入件数 3件

(コ) ビジネス総合保険制度 加入件数 340件

(サ) 生命共済制度 加入事業者数 40事業所 対象従業員数 161名

7. 登 録

(1) 法定台帳

ア 作成年月日 令和5年4月1日

イ 登録業者数 1,900事業所

ウ 負担金賦課の許可 令和4年4月7日・神奈川県指令企支第1004号をもって次のとおり負担金の賦課について神奈川県知事より許可を得た。

負担金 1,500円（1業者）

エ 管理運用 特定商工業者より登録した法定台帳は、既登録業者分については内容の点検・修正を行い、新規登録業者分については法定台帳調査表の提出を求め随時補正を行い、地区別に収録し利用の便宜を計っている。管理運用に当っては常に善良な管理者の注意をもって対処している。

オ 利用の周知 当所会報への利用勧奨記事の掲載、一般広報（情報関係誌）への掲示などにより周知を図っている。

(2) 任意台帳

当所会員の所在を明らかにし、取引や事業面に利用するため、地区別に事業所名、営業種目等の事項につき台帳の整備を行い活用を図っている。

8. 会館・事務所等

(1) 会館

ア 土地

(ア) 所在地 小田原市本町4丁目2番39号

(イ) 面積 敷地面積 697.38㎡

(ウ) 所有状況 当所所有

イ 建物

(ア) 構造 鉄筋コンクリート地上6階

(イ) 延床面積 2,166.92㎡

(ウ) 事務室 115.64㎡

(エ) 入館団体機関

階層	入居団体名	面積(坪)
3	日本政策金融公庫	94.51
4	神奈川県信用保証協会小田原支店	51.30
4	公益財団法人神奈川産業振興センター	6.08
6	小田原市商店街連合会	10.90
6	アクサ生命保険株式会社	24.50
6	東京地方税理士会小田原支部	10.04

ウ 設備

(ア) 貸室 大会議室 198.28㎡ 収容人数117人

(2) 旧会館

ア 土 地

(ア) 所 在 地 小田原市城内1番21号

(イ) 面 積 敷地面積 992.00m²

(ウ) 所有状況 小田原市有地の借地

イ 建 物

(ア) 構 造 鉄筋コンクリート造地下1階・地上5階・塔屋1階

(イ) 延床面積 2,842.28m²

9. 関係団体への加入及び連携

(1) 日本商工会議所

ア 当所の地位 会員

イ 所属委員会名

観光委員会（副委員長）、中小企業委員会、情報化委員会

ウ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
4／20	昼食懇談会・第726回常議員会（オブザーバー）	オンライン	鈴木会頭 山本専務理事
7／19	夏季政策懇談会	オンライン	鈴木会頭
7／20	委員会	オンライン	鈴木会頭
9／19	委員会	オンライン	鈴木会頭
9／20	委員会	オンライン	鈴木会頭
9／20	第729回常議員会・第299回議員総会・ 昼食懇談会（オブザーバー）	オンライン	鈴木会頭
9／21	第137回通常会員総会	帝国ホテル	鈴木会頭
11／20	観光・インバウンド専門委員会	富山県高岡市	鈴木会頭
12／21	第732回常議員会（オブザーバー）	オンライン 東商渋谷ホール	鈴木会頭 山本専務理事
1／17	委員会	東商渋谷ホール	山本専務理事
1／17	第32期 役員・議員・委員長・共同委員長・副委員長商工会議所専務理事懇親会	東京會館	山本専務理事
3／22	第138回通常会員総会	オンライン	鈴木会頭

(2) 関東商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
6／1～2	総会・理事会	沼 津 市	鈴木会頭 山本専務理事
2／2～3	視察研修会	熊 本 市	山本専務理事

(3) 神奈川県商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
4 / 25～26	4 月専務理事会議	箱 根	山本専務理事
5 / 23	県連常任役員会及び5 月専務理事会議	横浜商工会議所	山本専務理事
6 / 21	事務局長会議	横浜商工会議所	古川事務局長
6 / 26	令和5 年度定時総会	ロイヤルホール ヨ コ ハ マ	鈴 木 会 頭 山本専務理事
7 / 25	7 月専務理事会議	横浜商工会議所	古川事務局長
9 / 14	事務局長会議	横浜商工会議所	古川事務局長
9 / 26～27	専務理事会議 県外視察	陸 前 高 田 気仙沼・南三陸	山本専務理事
10 / 24	10月専務理事会議	横浜商工会議所	山本専務理事
11 / 24	神奈川県優良小売店舗表彰式	神 奈 川 県 庁	古川事務局長
11 / 24	11月専務理事会議	横浜商工会議所	古川事務局長
11 / 30	第2 回中小企業相談部（所）長会議	横浜商工会議所	井 上 部 長
12 / 21～22	事務局長会議県外視察	水 戸 方 面	古川事務局長
1 / 23	1 月専務理事会議 神奈川県産業労働局幹部との懇談会	ローズホテル 横 浜	山本専務理事
1 / 31	神奈川県優良産業人表彰	神奈川県立音楽堂	山本専務理事
2 / 6	第3 回中小企業相談部（所）長会議	横浜商工会議所	井 上 部 長
3 / 1	2 月度専務理事会議	貸 し 会 議 室 ルームス錦糸町店	山本専務理事
3 / 6	第4 回中小企業相談部（所）長会議	オ ン ラ イ ン	井 上 部 長
3 / 15	事務局長会議	横浜商工会議所	古川事務局長
3 / 27	令和5 年度臨時総会	ロイヤルホール ヨ コ ハ マ	鈴 木 会 頭 山本専務理事

10. 研修

(1) 経営指導員・補助員研修

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
6 / 14	令和5 年度経営指導員等研修会① 「経営相談に役立つコミュニケーション力・アドバイス力 養成研修」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	飯 田 藤 田 田 中
6 / 30 ・ 7 / 7	中小企業支援担当者等研修専門課程Webマーケティング支 援の進め方	オ ン ラ イ ン	樋 口
7 / 4	令和5 年度経営指導員等研修会③ 「実践できるデータ活用」セミナー	神 奈 川 県 商工会議所連合会	井 上 樋 口

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
7 / 6 ・ 7 / 13	相談事例から学ぶ観光業者支援のポイント	オ ン ラ イ ン	内 田
7 / 24	令和5年度経営指導員等研修会⑤ 「2023 中小企業白書・小規模企業白書の概要」 「事業承継のいろはと進め方」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	井 上 内 田 小 林 藤 田 近 藤
8 / 10	令和5年度経営指導員等研修会⑥ 「中小企業のサイバーセキュリティ対策」 「課題設定研修～本当の課題はどこにあるかを見抜く～」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	樋 口 小 林
8 / 21 ・ 8 / 28	中小企業支援担当者等研修専門課程 「効果的な展示会・商談会支援の進め方」① (オンライン講座)	オ ン ラ イ ン	小 林
8 / 29	令和5年度経営指導員等研修会⑦ 「日ごろの働きかけにITをプラス！ デジタル化支援の現実論」 「具体的なITツールの活用方法」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	樋 口 飯 田
9 / 11	令和5年度経営指導員等研修会⑧ 「財務の基本と経営分析の進め方」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	近 藤 露 木 田 中
10 / 3	令和5年度経営指導員等研修会⑨ 「経営力再構築（伴走型支援）の進め方」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	井 上 飯 田 内 田 小 林
10 / 17	令和5年度経営指導員等研修会⑩ 「販路開拓支援の進め方、売上アップの最新ノウハウ、成功事例」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	飯 田 藤 田
11 / 14 ～ 12 / 9	中小企業支援担当者等研修 基礎研修「経営診断基礎（商業コース）(2)」	中 小 企 業 大 学 校 東 京 校	高 橋
11 / 27	令和5年度経営指導員等研修会⑪ 「経営計画作成支援の進め方」	神 奈 川 県 商工会議所連合会	井 上 藤 田 露 木

(2) 職員研修等

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
4 / 7	令和5年度総コンシステム年度更新説明会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部	大 川 長 田
4 / 26	T O A S 研 修 会「商 工 会 議 所 経 理 コ ー ス」	日本商工会議所	松 下
4 / 27 ～28	T O A S 研 修 会「会 員 管 理 コ ー ス」	日本商工会議所	松 下

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
5／15	desknet's NEOクラウド移行まるわかりセミナー	(株)ネオジャパン	松 下 山 口
6／8 ～9	令 和 5 年 度 新 人 ・ 若 手 研 修 会	神 奈 川 県 商工会議所連合会	岡 部
7／24 ～25	2 0 2 3 年 度 日 商 若 手 職 員 研 修 会	日本商工会議所	岡 部
8／2 ～4	2 0 2 3 年 度 商 工 会 議 所 経 理 担 当 職 員 研 修 会 (初 級)	日本商工会議所	山 口
8／24	健康経営申請のための直前対策セミナー	アクサ生命保険	岡 部
8／31 ～ 9／1	2 0 2 3 年 度 全 国 商 工 会 議 所 ・ 保 険 担 当 者 研 修 会	日本商工会議所	岡 部 平 井
9／26	労 働 保 険 事 務 組 合 連 合 会 神 奈 川 支 部 令和5年度「労働保険未手続事業一掃推進員」研修会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部	長 田
10／4 ～6	2 0 2 3 年 度 商 工 会 議 所 経 理 担 当 職 員 研 修 会 (中 級 ・ 管 理 職 向 け)	日本商工会議所	松 下 山 口
11／6	全国展開によるアクサシステム利用拡大に伴う説明会	アクサ生命保険	岡 部 平 井
11／8	2 0 2 3 年 度 商 工 会 議 所 貿 易 関 係 証 明 業 務 担 当 者 研 修 会	日本商工会議所	松 下 内 田 飯 田 小 林 山 口 長 田
11／20	貿 易 関 係 証 明 発 給 シ ス テ ム の 導 入 事 例 等 に 関 す る 説 明 会	日本商工会議所	松 下
11／27 ～28	商 工 会 議 所 会 員 増 強 研 修 会 (管 理 職 向 け)	日本商工会議所	内 田
12／1	生成AI(ChatGPT・GoogleBard等)の商工会議所 業務での活用に関するオンラインセミナー (生 成 A I 初 心 者 向 け)	日本商工会議所	古 川 松 下
12／13	幹 部 ・ 中 堅 社 員 研 修	神 奈 川 県 商工会議所連合会	小 林 大 川
2／2	労 働 保 険 事 務 組 合 会 代 表 者 ・ 担 当 者 研 修 会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部	長 田
3／22	労 働 保 険 事 務 組 合 会 令 和 5 年 度 年 度 更 新 説 明 会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部	長 田

11. 関係団体

小田原箱根商工会議所内に事務所を有し、事務代行を行っている団体は次の通り。

1. 小田原箱根商工会議所労働保険事務組合
2. 小田原市地場産業振興協議会
3. 箱根町商店連絡協議会
4. 小田原地区産業廃棄物対策協議会
5. 小田原市大型店連絡協議会
6. 西湘異業種研究会
7. 日本珠算連盟小田原支部
8. 西さがみ教育旅行誘致推進協議会
9. 県西地域経済懇話会

令和5年度

収支決算書

令和5年度収支決算書総括表

(単位＝円)

会 計 別	繰越金 (A)	収 入 (B)	支 出 (C)	収支残高 (A+B-C) = (D)	会計間の振替額 (支出は△印) (E)	差引収支 残 高 (D+E) = (F)	備 考
一 般 会 計	21,401,774	212,579,444	190,160,095	43,821,123	△ 28,705,720	15,115,403	収支剰余金 次年度へ繰越
会 館 管 理 特 別 会 計	10,022,722	34,591,689	34,826,883	9,787,528	△ 1,247,656	8,539,872	〃
共 済 事 業 特 別 会 計	7,314,512	28,372,043	28,058,921	7,627,634	△ 2,762,960	4,864,674	〃
特定退職金共済事業特別会計	2,017,389	316,285,914	317,408,903	894,400	△ 188,088	706,312	〃
運営資金積立金特別会計	121,953,438	1,186	0	121,954,624	15,000,000	136,954,624	〃
退職給与資金特別会計	14,706,654	2,830,266	5,593,199	11,943,721	7,904,424	19,848,145	〃
会館建設資金特別会計	219,451,773	4,242	0	219,456,015	10,000,000	229,456,015	〃
合 計	396,868,262	594,664,784	576,048,001	415,485,045	0	415,485,045	

- ・ (A) ……前年度からの繰越金
- ・ (B) ……収支決算書の収入の部の合計から前年度繰越額・他会計からの繰入金を除いた額
- ・ (C) ……収支決算書の支出の部の合計から他会計への繰出金・次年度への繰越金を除いた額
- ・ 差引収支残高と収支剰余金は同額となり次年度へ繰越

令和5年度 一般会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 会 費	82,012,000	76,120,000	5,892,000	
1 会 費	73,542,000	72,860,000	682,000	
2 特 別 会 費	3,260,000	3,260,000	0	役員特別会費
3 能登半島地震災害義援金に 係 る 特 別 会 費	5,210,000	0	5,210,000	
2 負 担 金	2,908,500	3,133,000	△ 224,500	
1 負 担 金	2,908,500	3,133,000	△ 224,500	特定商工業者負担金
3 事 業 収 入	34,820,013	25,330,000	9,490,013	
1 検 定 事 業 収 入	1,482,255	1,800,000	△ 317,745	珠算・簿記・PC検定
2 部 会 事 業 収 入	4,017,771	0	4,017,771	6部会事業収入
3 使 用 料 手 数 料	462,435	700,000	△ 237,565	事務機器使用料他
4 受 講 料 収 入	14,152,700	9,600,000	4,552,700	パソコン教室受講料
5 その他の事業収入	14,704,852	13,230,000	1,474,852	従業員健康診断、会報広告料、事業参加費他
4 交 付 金	91,728,345	91,714,700	13,645	
1 県 補 助 金	55,406,000	55,406,000	0	神奈川県
2 市 補 助 金	15,070,000	15,070,000	0	小田原市
3 町 補 助 金	1,341,000	1,341,000	0	箱根町
4 県 連 補 助 金	7,117,700	7,117,700	0	神奈川県商工会議所連合会
5 委 託 金	8,719,202	8,720,000	△ 798	日本商工会議所、事業環境変化、制度改正
6 負 担 金	907,218	900,000	7,218	流動客調査負担金、ジオパーク協議会
7 そ の 他 補 助 金	3,167,225	3,160,000	7,225	省エネお助け事業
5 雑 収 入	1,110,586	650,000	460,586	
1 雑 収 入	1,110,586	650,000	460,586	原産地証明書発行手数料他
6 繰 越 金	21,401,774	19,337,000	2,064,774	
1 繰 越 金	21,401,774	19,337,000	2,064,774	令和4年度より
合 計	233,981,218	216,284,700	17,696,518	

支出の部

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
1 事 業 費		157,641,813	149,102,700	8,539,113	
1 一 般 事 業 費		83,498,200	72,691,700	10,806,500	
1	商 工 振 興 費	37,044,548	38,741,700	△ 1,697,152	会員大会、会員表彰式、産業まつり、まちづくり、地域振興対策他
2	調 査 広 報 費	7,492,329	7,000,000	492,329	会報発行他
3	検 定 事 業 費	570,812	750,000	△ 179,188	珠算・簿記検定
4	部 会 事 業 費	10,305,985	6,080,000	4,225,985	6部会事業費
5	議 員 活 動 費	2,200,528	3,400,000	△ 1,199,472	議員総会、議員例会、石垣購読料他
6	会員福祉振興事業費	7,105,763	7,500,000	△ 394,237	従業員健康診断
7	パソコン教室運営費	13,568,235	9,220,000	4,348,235	パソコン教室運営費
8	能登半島地震復興に係る事業費	5,210,000	0	5,210,000	
2	法 定 台 帳 作 成 管 理 運 用 費	4,450,073	4,550,000	△ 99,927	
1	管 理 運 用 費	737,710	800,000	△ 62,290	管理費、印刷費、通信費、車輛1台維持費他
2	俸 給	2,880,000	2,880,000	0	職員1名
3	諸 手 当	332,260	330,000	2,260	通勤費他
4	福 利 厚 生 費	500,103	540,000	△ 39,897	法定・一般福利厚生費
3	経 営 支 援 事 業 費	68,615,731	70,361,000	△ 1,745,269	
1	指 導 事 業 費	9,701,640	11,068,000	△ 1,366,360	景気対策、講習会、金融指導、創業相談、専門家相談他
2	俸 給	29,010,100	28,954,000	56,100	職員10名
3	諸 手 当	8,680,810	8,735,000	△ 54,190	調整・通勤費他
4	賞 与	13,148,879	13,168,000	△ 19,121	年2回
5	福 利 厚 生 費	8,074,302	8,436,000	△ 361,698	法定・一般福利厚生費
4	会 議 費	1,077,809	1,500,000	△ 422,191	正副会頭会議、常議員会、委員会、タスクフォース他
2 管 理 費		30,604,602	34,153,000	△ 3,548,398	
1	給 与	12,440,125	12,458,000	△ 17,875	
1	俸 給	10,232,600	10,234,000	△ 1,400	役員1名、職員2名、パート1名
2	諸 手 当	1,104,795	1,079,000	25,795	調整・通勤費他
3	賞 与	1,102,730	1,145,000	△ 42,270	年2回
2	福 利 厚 生 費	1,713,996	1,070,000	643,996	法定・一般福利厚生費

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
	3 旅 費 交 通 費	525,995	500,000	25,995	役職員出張旅費
	4 事 務 費	10,790,706	14,375,000	△ 3,584,294	
	1 通 信 運 搬 費	885,957	1,400,000	△ 514,043	電話、FAX、郵送料他
	2 什 器 備 品 費	52,371	300,000	△ 247,629	記録用カメラ、車両緊急脱出器具
	3 修 繕 費	0	300,000	△ 300,000	
	4 消 耗 品 費	770,137	750,000	20,137	事務消耗品代
	5 印 刷 費	444,175	1,600,000	△ 1,155,825	印刷費
	6 車 輦 維 持 費	2,491,040	2,900,000	△ 408,960	車輛1台買替、維持費、保険料他
	7 電 算 機 事 務 費	1,301,968	1,550,000	△ 248,032	処理料、保守料他
	8 賃 借 料	80,730	200,000	△ 119,270	パソコン他リース料
	9 委 託 料	2,010,000	2,040,000	△ 30,000	副業人材(人財)活用事業
	10 事 務 諸 費	2,754,328	3,335,000	△ 580,672	支払手数料他
	5 渉 外 費	931,780	1,300,000	△ 368,220	
	1 一 般 渉 外 費	579,970	700,000	△ 120,030	慶弔費他
	2 役 員 渉 外 費	351,810	600,000	△ 248,190	役員・議員慶弔費他
	6 公 課 分 担 金	4,202,000	4,450,000	△ 248,000	
	1 公 課	546,000	650,000	△ 104,000	消費税他
	2 分 担 金	3,656,000	3,800,000	△ 144,000	日商、県連、関商連他
	3 繰 出 金	28,705,720	28,829,000	△ 123,280	
	1 運営資金会計繰出金	26,000,000	26,000,000	0	
	2 退職給与会計繰出金	2,705,720	2,829,000	△ 123,280	
4 リ ー ス 債 務 返 済 支 出	1,913,680	2,200,000	△ 286,320		
1 リース債務返済支出	1,913,680	2,200,000	△ 286,320	印刷機、パソコン他リース料	
5 予 備 費	0	2,000,000	△ 2,000,000		
1 予 備 費	0	2,000,000	△ 2,000,000		
6 繰 越 金	15,115,403	0	15,115,403		
1 繰 越 金	15,115,403	0	15,115,403	令和6年度へ	
合 計		233,981,218	216,284,700	17,696,518	

令和5年度 会館管理特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 貸 室 収 入	29,340,644	29,841,000	△ 500,356	
1 貸 室 使 用 料	24,154,044	24,154,000	44	入居6団体
2 会 議 室 使 用 料	850,580	1,000,000	△ 149,420	会議室使用料
3 そ の 他 付 帯 収 入	4,336,020	4,687,000	△ 350,980	入居団体より電気使用料、 携帯基地局設置料
2 共 益 費 収 入	4,941,696	4,941,000	696	
1 共 益 費 収 入	4,941,696	4,941,000	696	入居団体より
3 雑 収 入	309,349	323,000	△ 13,651	
1 雑 収 入	309,349	323,000	△ 13,651	自販機手数料、駐車場管理費他
4 繰 越 金	10,022,722	9,207,480	815,242	
1 繰 越 金	10,022,722	9,207,480	815,242	令和4年度より
合 計	44,614,411	44,312,480	301,931	

支出の部

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 維 持 費	17,444,465	18,652,000	△ 1,207,535	
1 保 守 料	3,254,350	3,325,000	△ 70,650	会館整備保守
2 委 託 費	633,600	634,000	△ 400	警備委託料
3 保 険 料	358,920	500,000	△ 141,080	火災共済、施設賠償責任保険
4 水 道 光 熱 費	6,189,695	6,845,000	△ 655,305	電気、水道
5 清 掃 料	5,557,200	5,568,000	△ 10,800	貸室・会議室等清掃他
6 修 繕 費	370,700	700,000	△ 329,300	2階会議室壁面雨漏り補修他
7 使 用 料	1,080,000	1,080,000	0	来館者用駐車場使用料

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
2 管 理 費		13,170,522	14,884,000	△ 1,713,478	
1 給 与		4,279,513	4,224,000	55,513	職員1名、パート1名、契約1名
2 諸 手 当		760,457	809,000	△ 48,543	調整・通勤費他
3 賞 与		1,281,359	1,254,000	27,359	年2回
4 福 利 厚 生 費		873,028	927,000	△ 53,972	法定・一般福利厚生費
5 旅 費 交 通 費		0	0	0	
6 通 信 運 搬 費		222,974	300,000	△ 77,026	電話料、郵送料、貸室Wi-Fi回線料
7 什 器 備 品 費		0	500,000	△ 500,000	
8 消 耗 品 費		196,358	500,000	△ 303,642	貸室用備品、トイレ用品他
9 公 課 分 担 金		5,240,300	5,670,000	△ 429,700	消費税、法人税、固定資産税
10 事 務 諸 費		316,533	700,000	△ 383,467	振込手数料他
3 繰 出 金		1,247,656	1,256,000	△ 8,344	
1 運営資金会計繰出金		1,000,000	1,000,000	0	
2 退職給与会計繰出金		247,656	256,000	△ 8,344	
4 リ ー ス 債 務 返 済 支 出		211,896	240,000	△ 28,104	
1 リース債務返済支出		211,896	240,000	△ 28,104	パソコン他リース料
5 積 立 預 金 支 出		4,000,000	4,000,000	0	
1 積 立 預 金 支 出		4,000,000	4,000,000	0	修繕積立金
6 繰 越 金		8,539,872	5,280,480	3,259,392	
1 繰 越 金		8,539,872	5,280,480	3,259,392	令和6年度へ
合 計		44,614,411	44,312,480	301,931	

令和5年度 共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 取 扱 手 数 料	26,213,556	24,525,000	1,688,556	
1 県 連 生 命 共 済	1,072,667	1,275,000	△ 202,333	
1 制度運営費収入	1,011,003	1,200,000	△ 188,997	40事業所161人
2 取 扱 手 数 料	61,664	75,000	△ 13,336	
2 県 民 共 済	1,987,869	2,000,000	△ 12,131	1,346件
3 経 営 者 共 済	545,093	600,000	△ 54,907	福祉共済協同組合
4 企 業・個 人 保 険	6,174,373	5,750,000	424,373	アクサ生命保険
5 日 商 保 険 制 度	9,479,575	8,500,000	979,575	業務災害補償、ビジネス総合保険他
6 火 災 共 済	782,479	750,000	32,479	181件
7 労 働 保 険 手 数 料	3,031,380	2,700,000	331,380	168事業所
8 汚 染 賦 課 金 手 数 料	574,002	550,000	24,002	
9 そ の 他 手 数 料	2,566,118	2,400,000	166,118	容器包装リサイクル、県民共済雑収他
2 交 付 金	2,141,600	1,950,000	191,600	
1 報 奨 金	2,141,600	1,950,000	191,600	労働保険事務組合
3 雑 収 入	16,887	10,000	6,887	
1 雑 収 入	16,887	10,000	6,887	預金利息他
4 繰 越 金	7,314,512	6,786,000	528,512	
1 繰 越 金	7,314,512	6,786,000	528,512	令和4年度より
合 計	35,686,555	33,271,000	2,415,555	

支出の部

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
1 事 業 費		771,841	1,800,000	△ 1,028,159	
	1 事 業 推 進 費	186,855	900,000	△ 713,145	広報費用他
	2 労働保険事業推進費	554,986	600,000	△ 45,014	電算処理料、郵送料他
	3 見 舞 金 等 給 付 金	30,000	300,000	△ 270,000	
2 管 理 費		27,000,868	28,402,000	△ 1,401,132	
	1 給 与	12,189,000	12,207,000	△ 18,000	
	1 俸 給	10,389,000	10,407,000	△ 18,000	職員3名、嘱託1名
	2 労働保険俸給	1,800,000	1,800,000	0	労働保険事務人件費
	2 諸 手 当	2,905,910	3,029,000	△ 123,090	調整・通勤費他
	3 賞 与	3,974,574	3,994,000	△ 19,426	年2回
	4 福 利 厚 生 費	3,315,542	3,258,000	57,542	法定・一般福利厚生費
	5 旅 費 交 通 費	6,200	50,000	△ 43,800	会議旅費
	6 通 信 運 搬 費	148,867	450,000	△ 301,133	電話料、郵送料
	7 印 刷 費	69,595	120,000	△ 50,405	コピー代
	8 消 耗 品 費	7,208	10,000	△ 2,792	事務消耗品代
	9 会 議 費	0	100,000	△ 100,000	
	10 車 輜 維 持 費	1,984,672	2,400,000	△ 415,328	1台、保険料、燃料費、リサイクル料他
	11 公 課 分 担 金	2,141,200	2,069,000	72,200	消費税、法人税
	12 事 務 諸 費	258,100	715,000	△ 456,900	振込手数料、掛金回収手数料他
3 繰 出 金		2,762,960	2,782,000	△ 19,040	
	1 運営資金会計繰出金	2,000,000	2,000,000	0	
	2 退職給与会計繰出金	762,960	782,000	△ 19,040	
4 リ ー ス 債 務 返 済 支 出		286,212	287,000	△ 788	
	1 リース債務返済支出	286,212	287,000	△ 788	パソコン他リース料
5 繰 越 金		4,864,674	0	4,864,674	
	1 繰 越 金	4,864,674	0	4,864,674	令和6年度へ
合 計		35,686,555	33,271,000	2,415,555	

令和5年度 特定退職金共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
1	共済事業掛金収入	140,367,200	144,552,000	△ 4,184,800	
	1 掛 金	140,367,200	144,552,000	△ 4,184,800	260事業所11,627口
2	共 済 事 業 事 務 費 収 入	7,041,240	7,227,000	△ 185,760	
	1 事 務 費 収 入	7,041,240	7,227,000	△ 185,760	
3	企 業 年 金 契 約 給 付 金 受 入	168,875,226	136,042,000	32,833,226	
	1 給 付 金 受 入	168,875,226	136,042,000	32,833,226	
4	雑 収 入	2,248	1,000	1,248	
	1 雑 収 入	2,248	1,000	1,248	預金利息他
5	繰 越 金	2,017,389	2,008,000	9,389	
	1 繰 越 金	2,017,389	2,008,000	9,389	令和4年度より
合 計		318,303,303	289,830,000	28,473,303	

支出の部

勘 定 科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目					
1 事 業 費		30,810	250,000	△ 219,190	
	1 事 業 推 進 費	30,810	250,000	△ 219,190	広報費用他
2 共 済 事 業 給 付 金		168,875,226	136,042,000	32,833,226	
	1 退 職 金	168,875,226	136,042,000	32,833,226	
3 管 理 費		8,135,667	8,801,000	△ 665,333	
	1 給 与	4,479,750	4,443,000	36,750	職員1名、パート1名
	2 諸 手 当	991,304	946,000	45,304	調整・通勤費他
	3 賞 与	1,034,774	1,022,000	12,774	年1回
	4 福 利 厚 生 費	1,078,213	1,039,000	39,213	法定・一般福利厚生費
	5 通 信 運 搬 費	12,600	100,000	△ 87,400	郵送料
	6 消 耗 品 費	1,800	50,000	△ 48,200	封筒代、コピー用紙代
	7 印 刷 費	104,350	30,000	74,350	コピー代
	8 公 課 分 担 金	2,100	30,000	△ 27,900	消費税
	9 事 務 諸 費	430,776	1,141,000	△ 710,224	振込手数料、掛金回収手数料他
4 積 立 金		140,367,200	144,552,000	△ 4,184,800	
	1 保 険 料 積 立 金	140,367,200	144,552,000	△ 4,184,800	
5 繰 出 金		188,088	185,000	3,088	
	1 退 職 給 与 会 計 繰 出 金	188,088	185,000	3,088	
6 繰 越 金		706,312	0	706,312	
	1 繰 越 金	706,312	0	706,312	令和6年度へ
合 計		318,303,303	289,830,000	28,473,303	

令和5年度 運営資金積立金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 雑 収 入	1,186	3,000	△ 1,814	
1 雑 収 入	1,186	3,000	△ 1,814	預金利息
2 繰 入 金	29,000,000	29,000,000	0	
1 一 般 会 計 繰 入 金	26,000,000	26,000,000	0	
2 会館管理会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
3 共済事業会計繰入金	2,000,000	2,000,000	0	
3 繰 越 金	121,953,438	121,950,000	3,438	
1 繰 越 金	121,953,438	121,950,000	3,438	令和4年度より
合 計	150,954,624	150,953,000	1,624	

支出の部

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 繰 出 金	14,000,000	14,000,000	0	
1 退職給与会計繰出金	4,000,000	4,000,000	0	
2 会館建設会計繰出金	10,000,000	10,000,000	0	
2 予 備 費	0	136,953,000	△ 136,953,000	
1 予 備 費	0	136,953,000	△ 136,953,000	
3 繰 越 金	136,954,624	0	136,954,624	
1 繰 越 金	136,954,624	0	136,954,624	令和6年度へ
合 計	150,954,624	150,953,000	1,624	

令和5年度 退職給与資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 退職共済金収入	2,830,118	0	2,830,118	
1 退職共済金収入	2,830,118	0	2,830,118	全国商工会議所共済会
2 雑 収 入	148	1,000	△ 852	
1 雑 収 入	148	1,000	△ 852	預金利息
3 繰 入 金	7,904,424	8,052,000	△ 147,576	
1 一般会計繰入金	2,705,720	2,829,000	△ 123,280	
2 会館管理会計繰入金	247,656	256,000	△ 8,344	
3 共済事業会計繰入金	762,960	782,000	△ 19,040	
4 特定退職金共済事業会計繰入金	188,088	185,000	3,088	
5 運営資金会計繰入金	4,000,000	4,000,000	0	
4 繰 越 金	14,706,654	14,706,000	654	
1 繰 越 金	14,706,654	14,706,000	654	令和4年度より
合 計	25,441,344	22,759,000	2,682,344	

支出の部

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 退職給与金	1,688,775	0	1,688,775	
1 退職給与金	1,688,775	0	1,688,775	職員2名
2 退職共済掛金	3,904,424	4,052,000	△ 147,576	
1 退職共済掛金	3,904,424	4,052,000	△ 147,576	全国商工会議所共済会
3 予 備 費	0	18,707,000	△ 18,707,000	
1 予 備 費	0	18,707,000	△ 18,707,000	
4 繰 越 金	19,848,145	0	19,848,145	
1 繰 越 金	19,848,145	0	19,848,145	令和6年度へ
合 計	25,441,344	22,759,000	2,682,344	

令和5年度 会館建設資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 雑 収 入	4,242	5,000	△ 758	
1 雑 収 入	4,242	5,000	△ 758	預金利息
2 繰 入 金	10,000,000	10,000,000	0	
1 運営資金会計繰入金	10,000,000	10,000,000	0	
3 繰 越 金	219,451,773	219,451,000	773	
1 繰 越 金	219,451,773	219,451,000	773	令和4年度より
合 計	229,456,015	229,456,000	15	

支出の部

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 繰 越 金	229,456,015	229,456,000	15	
1 繰 越 金	229,456,015	229,456,000	15	令和6年度へ
合 計	229,456,015	229,456,000	15	

貸借対照表

令和6年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
	円		円
流 動 資 産	478,583,323	流 動 負 債	63,098,278
現 金 及 び 預 金	420,023,872	未 払 金	50,927,307
未 収 金	58,001,315	前 受 金	12,145,996
前 払 金	558,136	預 り 金	24,975
固 定 資 産	2,386,471,399	固 定 負 債	1,865,750,762
(有形固定資産)	506,804,647	預 り 保 証 金	5,280,480
土 地	144,399,494	退 職 給 与 引 当 金	49,809,568
建 物	253,153,639	退 職 給 付 金 準 備 金	1,806,729,122
建 物 付 属 設 備	83,164,879	リ ー ス 債 務	3,931,592
構 築 物	2,972,520	負 債 計	1,928,849,040
車 両 運 搬 具	2,729,916		
什 器 備 品	16,452,607	〔正味財産の部〕	
リ ー ス 資 産	3,931,592	積 立 金	16,000,000
(無形固定資産)	3,701,500	修 繕 費 積 立 金	16,000,000
ソ フ ト ウ ェ ア	3,701,500	剰 余 金	920,205,682
(その他の固定資産)	1,875,965,252	固 定 財 産	504,720,637
投 資 有 価 証 券 ・ 出 資 金	3,376,562	一 般 会 計 収 支 剰 余 金	15,115,403
保 証 金	50,000	会 館 管 理 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	8,539,872
退 職 給 与 資 金 特 別 会 計 資 産	49,809,568	共 済 事 業 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	4,864,674
保 険 料 積 立 金	1,806,729,122	特 定 退 職 金 共 済 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	706,312
会 館 管 理 特 別 会 計 修 繕 費 積 立 預 金	16,000,000	運 営 資 金 積 立 金 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	136,954,624
		退 職 給 与 資 金 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	19,848,145
		会 館 建 設 資 金 特 別 会 計 収 支 剰 余 金	229,456,015
		正 味 財 産 計	936,205,682
合 計	2,865,054,722	合 計	2,865,054,722

〔注1〕固定資産の減価償却累計額 332,106,731円

特定退職金共済事業特別会計 貸借対照表

令和6年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
	円		円
流 動 資 産	12,378,012	流 動 負 債	11,671,700
現 金 及 び 預 金	745,774	未 払 金	2,100
未 収 金	11,632,238	前 受 金	11,669,600
固 定 資 産	1,806,729,122	固 定 負 債	1,806,729,122
保 険 料 積 立 金	1,806,729,122	退 職 給 付 金 準 備 金	1,806,729,122
		剰 余 金	706,312
		本 年 度 剰 余 金	706,312
合 計	1,819,107,134	合 計	1,819,107,134

〔注〕 保険年度(令和5年1月1日～令和5年12月31日)における保険料積立金等の状況

1. 保険年度 期首残高	1,840,710,552
2. 本年度払込	134,133,160 (共済掛金収入相当額)
3. 本年度取崩	△ 140,131,154 (共済給付金支払相当額)
4. 運用実績	10,464,267
5. 保険年度 期末残高	1,845,176,825
6. 保険年度 期末要支給残高	1,800,710,733
7. 差 引(5－6)	44,466,092

付 属 明 細 表(固 定 財 産 明 細 表)

令和6年3月31日現在

勘定科目	期首残高 (A)	当期増加額 (B)	当期減少額 (C)	当期減価 償却額 (D)	期末残高 (A+B-C-D)	備 考
一般会計						
I 固定資産						
車 両 運 搬 具	2	2,244,460	1	685,121	1,559,340	
什 器 備 品	294,385			154,684	139,701	
リ ー ス 資 産	3,307,575	1,522,272		1,913,680	2,916,167	
ソ フ ト ウ ェ ア	5,505,500			1,914,000	3,591,500	
投資有価証券・出資金	3,376,562				3,376,562	
保 証 金	50,000				50,000	
II 固定負債						
リ ー ス 債 務	3,307,575	1,522,272		1,913,680	2,916,167	
固定財産計(① = I - II)	9,226,449	2,244,460	1	2,753,805	8,717,103	
会館管理特別会計						
I 固定資産						
土 地	144,399,494				144,399,494	
建 物	260,592,750			7,439,111	253,153,639	
建 物 付 属 設 備	91,849,388			8,684,509	83,164,879	
構 築 物	3,407,521			435,001	2,972,520	
什 器 備 品	23,817,838			7,626,568	16,191,270	
リ ー ス 資 産	226,201	595,008		211,896	609,313	
ソ フ ト ウ ェ ア	170,000			60,000	110,000	
II 固定負債						
預 り 保 証 金	5,280,480				5,280,480	
リ ー ス 債 務	226,201	595,008		211,896	609,313	
固定財産計(② = I - II)	518,956,511	0	0	24,245,189	494,711,322	
共済事業特別会計						
I 固定資産						
車 両 運 搬 具	2	1,404,690	1	234,115	1,170,576	
什 器 備 品	195,094			73,458	121,636	
リ ー ス 資 産	692,324			286,212	406,112	
II 固定負債						
リ ー ス 債 務	692,324			286,212	406,112	
固定財産計(③ = I - II)	195,096	1,404,690	1	307,573	1,292,212	
特定退職金共済事業特別会計						
I 固定資産						
保 険 料 積 立 金	1,831,832,521	143,771,827	168,875,226		1,806,729,122	
II 固定負債						
退 職 給 付 金 準 備 金	1,831,832,521	143,771,827	168,875,226		1,806,729,122	
固定財産計(④ = I - II)	0	0	0	0	0	
退職給与資金特別会計						
I 固定資産						
退 職 給 与 積 立 金	48,685,060	1,124,508			49,809,568	
II 固定負債						
退 職 給 与 引 当 金	48,685,060	1,124,508			49,809,568	
固定財産計(⑤ = I - II)	0	0	0	0	0	
合 計 (① ～ ⑤)	528,378,056	3,649,150	2	27,306,567	504,720,637	

付 属 明 細 表(積 立 金 明 細 表)

令和6年3月31日現在

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	備 考
			目的使用	その他		
会館管理特別会計						
修 繕 費 積 立 預 金	12,000,000	4,000,000	0	0	16,000,000	
合 計	12,000,000	4,000,000	0	0	16,000,000	

1. 重要な会計方針

①資金の範囲

流動資産及び流動負債を資金の範囲としています。

②有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債権・・・移動平均法による原価法を採用しております。

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法を採用しております。

③有形固定資産の減価償却の方法

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備・構築物については定額法によっております。

④リース資産の処理方法

リース期間定額法によって減価償却を行っております。ただし、平成28年3月31日以前に契約したリース契約については、賃貸借取引に係る方法を採用しております。

⑤退職給与引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当該年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。

⑥消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

勘定科目	摘要	金額
〔資産の部〕		円
流動資産		円
現金及び預金	現金手許有高	58,214
	当座預金	14,870,855
	普通預金	194,825,425
	定期預金	210,269,378
		420,023,872
未収金	小田原市補助金他	58,001,315
前払金	ICカード保証料他	558,136
固定資産		
(有形固定資産)		
土地	697.38㎡(小田原市本町4-2-39)	144,399,494
建物	取得価額	243,989,363
	償却累計額	△ 19,315,820
		224,673,543
建物	取得価額	113,675,985
	償却累計額	△ 85,195,889
		28,480,096
建物付属設備	取得価額	234,659,535
	償却累計額	△ 151,494,656
		83,164,879
構築物	取得価額	4,350,022
	償却累計額	△ 1,377,502
		2,972,520
車両運搬具	乗用車4台	
	取得価額	5,918,859
	償却累計額	△ 3,188,943
		2,729,916
什器備品	事務機器、空調設備他	
	取得価額	67,362,116
	償却累計額	△ 50,909,509
		16,452,607
リース資産	コピー機、パソコン他	
	取得価額	18,687,504
	償却累計額	△ 14,755,912
		3,931,592
(無形固定資産)		
ソフトウェア	グループウェア他	
	取得価額	9,870,000
	償却累計額	△ 6,168,500
		3,701,500
(その他の固定資産)		
投資有価証券・出資金	アクサ保険ホールディングス(株) 株式	48,562
	サンネット(株) 株式	1,228,000
	FM小田原(株) 株式	2,000,000
	神奈川県福祉共済協同組合 出資金	100,000
		3,376,562
保証金	箱根支部借室保証金	50,000
退職給与積立金	全国商工会議所役職員退職年金共済	49,809,568
保険料積立金		1,806,729,122
会館管理特別会計修繕費積立預金		16,000,000
	資産の部合計	2,865,054,722
〔負債の部〕		
流動負債		
未払金	消費税他	50,927,307
前受金	特定退職金共済掛金他	12,145,996
預り金	労働保険料	24,975
固定負債		
預り保証金	貸室保証金	5,280,480
退職給与引当金		49,809,568
退職給付金準備金		1,806,729,122
リース債務	コピー機、パソコン他	3,931,592
	負債の部合計	1,928,849,040
	差引正味財産	936,205,682

監 査 依 頼 書

令和５年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録について監査願いたく、関係書類を添えて提出いたします。

令和６年６月４日

小田原箱根商工会議所

監 事 大田和俊彦 殿

監 事 古川 武法 殿

小田原箱根商工会議所

会 頭 鈴木 悌 介



監 査 報 告 書

令和5年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を監査したところ、その内容は適正であると認めます。

令和6年6月4日

小田原箱根商工会議所

会 頭 鈴木 悌 介 殿

小田原箱根商工会議所

監 事 大田和俊彦 

監 事 古川 武法 

